

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常な使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 Z830DR	
シリアルNo.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から3年
お客様 お名前・ご住所	様 TEL ()
販売店 店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 本体内蔵のバックアップ電池やディスプレイなどの付属品および消耗品の消耗による交換
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。



ドライブレコーダー付レーザー & レーダー探知機

Z830DR

12V車専用

ダウンロード対応

取扱説明書



このたびはユピテル製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本機で使用する専用ビューアソフトは、付属のmicroSDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページからダウンロードしてご利用ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)



安心してお使いいただくために、必ず1～2週間に一度、本機でSDカードのフォーマットを行ってください。(P.15)



事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源OFFしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。



電源ONの状態でカメラユニット用SDカードの抜き差しを行わないでください。カメラユニット用SDカード破損の原因となります。必ず電源OFF後、フロントカメラユニットの電源ランプが消灯したことを確認し、カメラユニット用SDカードの抜き差しを行ってください。

※ 本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」「SDカードアダプター」を「SDカード」と表記しています。

株式会社ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS2129-D

はじめに

基礎知識

取り付け

操作方法

待受について

警報について

設定について

専用ソフト

その他

はじめに	
安全上のご注意	6
使用上のご注意	11
もしも事故が起きたら・・・	14
SDカードをフォーマットする	15
基礎知識	
各部の名称と働きについて	16
1. 付属品のご確認	21
2. 別売品のお知らせ	23
3. 付属品・別売品の追加購入について	24
本機について	25
1. 測位可能な衛星の種類	25
2. GPSの測位機能について	25
3. 測位アナウンス	26
4. リラックスチャイム	26
5. 時報	26
6. 受信可能な電波	26
7. トンネル内の警報・警告について	27
8. 画面の明るさ調整(フレックスディマー)・・・	27
取締のミニ知識	28
1. スピード違反の取締方法	28
2. 取締レーダー波について	28
3. 取締レーダー波/レーザー光を受信しにくい場合	29
4. ステルス型取締について	29
オービス・取締系 & コンテンツデータ更新について	29
公開取締情報について	30
録画について	31
1. 常時録画	33
2. 駐車監視録画	33
3. イベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録、DMSわき見記録、DMS居眠り記録)	34
4. 駐車監視イベント記録(Gセンサー記録)・・・	36
上書きモードについて	37
駐車監視録画について	39
1. 駐車監視録画する	40
2. 駐車監視キャンセルエリアを登録/解除する・・・	42

DMS(ドライバーモニタリングシステム)について	43
1. キャリブレーション	44
2. わき見警告	45
3. 居眠り警告	45
取り付け	
取り付けについて	46
ディスプレイユニット取り付け	47
1. ダッシュボードに取り付ける①	48
2. ダッシュボードに取り付ける②	51
3. ダッシュボードに取り付ける③	52
4. フロントガラスと天井のすき間に取り付ける	53
カメラユニット取り付け	54
1. フロントカメラユニットを取り付ける	55
2. リアカメラユニットを取り付ける	57
3. リアカメラケーブルを接続する	59
4. カメラユニットケーブルを接続する	60
アンテナユニット取り付け	61
1. 純正ルームミラーに取り付ける	62
2. ダッシュボードに取り付ける	63
DMSユニット(わき見・居眠り運転警報器)取り付け	64
1. フロントガラスに取り付ける	66
2. 純正ルームミラーに取り付ける	67
3. DMS通信ケーブルを接続する	69
ジャンクションユニット取り付け	70
電源コードの配線	71
1. 電源直結コードによる配線	72
2. マルチバッテリー(OP-MB4000)による配線	73
3. 電源直結コードとOBDIIアダプターによる配線	76
4. マルチバッテリーとOBDIIアダプターによる配線	77
メンテナンス(ヒューズの交換)	78
1. 電源直結コードのヒューズを交換する	78
2. OBDIIアダプターのヒューズを交換する	79
3. マルチバッテリーのヒューズを交換する	80

アフターサービスについて

●保証書(裏表紙参照)
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間
お買い上げの日から3年間です。

●対象部分機器
本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき
「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき
保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- ・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- ・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- ・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

故障相談や取扱方法に関するお問い合わせ

ity.クラブやデータ更新に関するお問い合わせ



0120-998-036



0120-958-955

本機のアップデート情報や最新の取扱説明書、専用ビューアソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。
<https://www.yupiteru.co.jp/>

その他

203

操作方法

電源ON/OFFについて 81

1. 電源ONする 81
2. 電源OFFする 82

操作方法 83

1. ジャンプウィンドウについて 83
2. 音量の調整について 83
3. 待受変更について 83
4. 説明ポップアップについて 84
5. 公開取締情報の表示について 84
6. 警報音のミュートについて 84
7. 録画操作について 85
8. ワンタッチ記録について 85
9. 画面切替(ライブビュー)について 85

ディスプレイユニット用 SD カードの 取り外し / 装着のしかた 86

1. SDカードを本体から取り外す 86
2. SDカードを本体へ装着する 86

カメラユニット用 SD カードの 取り外し / 装着のしかた 87

1. SDカードをカメラユニットから取り外す 87
2. SDカードをカメラユニットへ装着する 87

登録について 88

マイエリアについて 90

マイキャンセルエリアについて 91

ピン登録について 92

ピン投稿について 93

1. ピンを投稿する 93
2. ピンを削除投稿する 96

ログ機能について 97

1. 走行データを記録する 97
2. 走行データをコピーする 98
3. 走行軌跡を確認する 98

カスタムについて 100

1. お好みの音源でお知らせする 100
2. お好みの画像を表示する 101
3. お好みの画像をオープニングで表示する 102

ディスプレイユニットで再生する 103

1. 再生モードを表示する 103

2. 録画ファイルを再生する 103

3. 録画を再開する 106

録画ファイルの保護について 107

録画ファイルの削除について 108

1. 個別に削除する 108
2. フォルダ別に削除する 109

待受について

待受画面について 110

待受画面の種類について 111

項目変更のしかた 117

1. 表示項目を変更する 117
2. 項目設定一覧 118

警報について

警報画面について 130

1. 警報画面について 130
2. メッセージウィンドウについて 132
3. ジングルについて 133
4. Wアラーム(ダブルアラーム)について 133
5. オートクワイアットについて 133

警報ボイスについて 134

1. GPSターゲット57識別について 134
2. 左右方位認識ボイスについて 137
3. オービスロケーションについて 137

レーザー式取締について 138

取締レーザー波について 139

1. レーダー波4識別(iDSP)について 139
2. 後方受信について 139
3. 接近テンポアップ(電子音選択時のみ)について 139

無線について 140

1. 無線14バンド受信機能 140
2. ベストパートナー6識別 142
3. 無線警報音について 142

設定について

設定変更のしかた	143
設定項目について	144
1. システム設定について	144
2. 警報設定について	148
3. 外部機器設定について	152
警報モードについて	156
マニュアル個別設定について	159
OBDについて	164
1. 満タンスタートをする	164
2. 満タン補正をする	165
3. 係数補正をする	166
WLAN設定(無線LAN)について	167
1. 新規登録(パスワード認証)	167
2. 自動登録(プッシュ認証)	168
3. My Yupiteru設定	169
データのダウンロードについて	170
1. 自動でデータをダウンロードする	170
2. 手動でデータをダウンロードする	172
Googleカレンダーの準備	174
1. Googleカレンダーを作成する	174
2. Googleカレンダーセキュリティを設定する	175
3. Googleカレンダー設定をする	176
Googleカレンダーへ登録する	178
1. 自動でGoogleカレンダーに 月間記録データを登録する	178
2. 手動でGoogleカレンダーに 月間記録データを登録する	179
ファームウェアの更新について	180

専用ソフト

専用ビューアソフトについて	181
1. 準備する	181
2. 専用ビューアソフトを起動する	181
3. 録画ファイルを再生する	181
4. 専用ビューアソフトを終了する	182
専用ビューアソフト	183

その他

録画ファイルの読み出しについて	185
動作一覧	187
こんなときは	188
故障かな?と思ったら	192
地図データ	199
仕様	200
カメラユニット用SDカード 対応一覧表	202
アフターサービスについて	203
保証書	裏表紙

●重要事項●



必ず1～2週間に一度、本機でカメラユニット用SDカードのフォーマットを行ってください。

なぜSDカードのフォーマットが必要なのか…

カメラユニット用SDカードはフォーマットせずに使い続けると、記録できない領域(=不良セクタ)が発生します。不良セクタには書き込みができないため、不良セクタが多くなると記録時間が短くなり、「記録できない」、「必要な録画ファイルが上書きされてしまう」といったことが起こる可能性があります。1～2週間に一度カメラユニット用SDカードをフォーマット(●P.15)することで、正常に動作することができますので必ず行ってください。

●大切なデータはバックアップしましょう。

フォーマットを行うと、「SDカード内にある録画ファイル(保護したファイル含む)」も全て削除されます。

必要に応じてパソコンにバックアップをしてからフォーマットすることをお勧めします。

●SDカードは消耗品です。

フォーマットしてもSDカードエラー(●P.188)が頻繁に起こる場合は、カメラユニット用SDカードの寿命が考えられますので買換えをお勧めします。

●SDカードの買換えは純正品をお勧めします。

どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。お買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店にSDカードをご注文ください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

- ⚠ **警告：**「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。
- ⚠ **注意：**「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

- ⚠ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・内部に異物が入った
- ・水に浸かった
- ・煙が出ている
- ・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

● P.203「アフターサービスについて」

- ⚠ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

- ⚠ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

絵表示について

- ⓘ 必ず実行していただく「強制」内容です。
- ⊘ してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- ➡ 関連するページを示します。

- ⊘ **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- ⊘ **本機を次のような場所に保管しないでください。**

変色や変形、故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

- ⊘ **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

- ⊘ **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。



- ⊘ **病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。**

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

⚠ 注意

- ⊘ **結露したまま使い続けしないでください。**故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

- ⊘ **濡れた手で操作しないでください。**感電の原因となります。



- ⊘ **落としたり、強いショックを与えないでください。**

破損、故障の原因となります。

●取り付けについて(共通)

⚠ 警告

- ⚠ **取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。**

誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

- ⚠ **粘着マット、粘着シートの貼り付け位置は、汚れ・ホコリを十分に落としてください。**

粘着力を弱め、本機が脱落する恐れがあります。

- ⚠ **本機は車外に取り付けしないでください。**本機は防水構造ではありません。

- ⚠ **SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。**

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

- ⊘ **各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。**

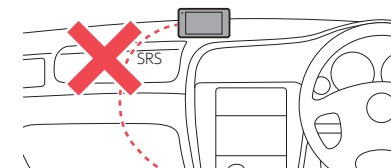
故障の原因となります。

- ⚠ **本機は精密機械です。**

静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

- ⚠ **エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。**

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注意

- ⚠ **取り付けは確実に行ってください。**本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

- ⚠ **突起部分などにご注意ください。**取り付けや取り外しの際、突起部分などでけがをする恐れがあります。

- ⚠ **接続部は確実に奥まで差し込んでください。**

動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。

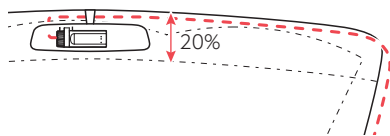
テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

●取り付けについて(フロントカメラユニット)

⚠ 警告

- ❗ フロントガラスの上部20%以内に
取り付けてください。

※ フロントガラスの下縁から15cm以内の
取り付けが可能になりました。上部に比べ
本機が高温になりやすいため、弊社は上部
20%への取り付けをお勧めします。



- ❗ 一部の運転支援システム装着車の場
合、取り付け位置によっては制御に
影響を及ぼす恐れがあります

取り付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

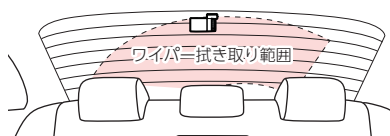
●取り付けについて(リアカメラユニット)

⚠ 警告

- ❗ リアガラスが可動する車両やリアガ
ラスにフィルムを貼っている車両の
場合、リアトレイなどに取り付けて
ください。

- ❗ リアワイパーが装着された車両の場合、
リアワイパーの拭き取り範囲内に取り
付けてください。

ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨
時等に、鮮明に記録できない可能性があります。



- ❗ 両面テープの貼り付け面がリアガラス
の電熱線と重ならないように取り付け
てください。

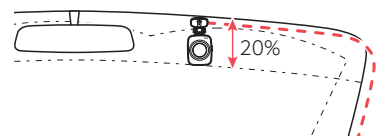
- ❗ 付属の両面テープで取り付ける前に
ディスプレイユニットで映像の確認を
してください。

誤った方法で取り付けた場合、映像が反転します。

●取り付けについて(DMSユニット)

⚠ 警告

- ❗ DMS フロントガラス取り付け用ブラ
ケットで取り付ける場合は、フロント
ガラスの上部20%以内に取り付けて
ください。



- ❗ 一部の運転支援システム装着車の場
合、取り付け位置によっては制御に
影響を及ぼす恐れがあります

取り付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

●電源コードについて

⚠ 警告

- ❗ 電源コードは確実に差し込んでくだ
さい。

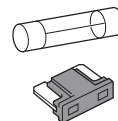
接触不良を起こして火災の原因となります。

- ❗ お手入れの際は、電源コードを抜い
てください。

感電の原因となります。

- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないで
ください。

指定以外のヒューズを使用
すると異常過熱や発火の原因
となります。ヒューズは必ず
同一の定格のものと交換して
ください。



- ❗ 指定された電源電圧車以外では使用
しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。また、ソ
ケットの極性にご注意ください。本機はマイナ
スアース車専用です。

- ❗ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、
加工しないでください。

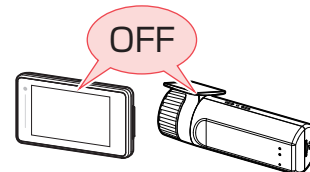
故障や感電の原因となります。



●SDカードについて

⚠ 警告

- ⚠ SDカードの出し入れは、本機の電源
OFFを確認してから行ってください。



- ⚠ SDカードは一方にしか入りません。
挿入方向をよくお確かめの上、挿入し
てください。

無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠ 警告

- ❗ 走行中は運転者による操作、画面の
注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第71条への違反と
なり処罰の対象となります。運転者が操作する
場合は、必ず安全な場所に停車してから操作し
てください。交通事故やけがの原因となります。

- ❗ 海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。

- ❗ 急発進したり急ブレーキをかけない
でください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・
落下等によるけがや事故、物的損害をこうむる
恐れがあります。

- ❗ 運転者は走行中に操作しないでくだ
さい。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因と
なります。必ず安全な場所に停車し、サイドブ
レーキを引いた状態で操作してください。

●本機のお手入れについて

⚠ 注意

- ❌ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ❌ ペンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。



●その他

⚠ 注意

- ❗ 長期間使用しないときは、電源OFFしてください。

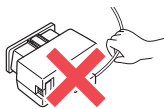
バッテリー上がりの原因となります。

●OBDIIアダプター（別売品）について

⚠ 注意

- ❗ OBDIIアダプターを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らずに、アダプター本体を持って抜いてください。

ケーブルを傷つけ、感電やショートによる発火の原因となります。



- ❗ お手入れの際は、OBDIIアダプターを抜いてください。

感電の原因となります。

本機は安全運転を促進するためのものです。本機を取り付けての違法行為（スピード違反など）に関し、当社では補償いたしかねます。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からスピードの出し過ぎに注意し、安全運転をお心がけください。
- 電波の透過率が低いガラス（金属コーティングの断熱ガラスなど）の場合、電波が受信しにくくなり、GPS 測位機能がはたらかない場合や、取締レーザー波の探知距離が短くなる場合があります。
- 一部の車種に採用されているUV、IRカットガラスのなかには、レーザー光の透過率が低く取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによりダッシュボードおよび車両の変色・変形（跡が残る）に関し、当社では補償いたしかねます。

■ レーダー / レーザーアラームに関する注意

- ・ 走行環境や測定条件などにより、取締レーザー波 / レーザー光の探知距離が変わることがあります。
- ・ 狙い撃ちの取締機（ステルス型取締機）は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・ レーダー波を使用しない速度取締（光電管式など）の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ レーザー式車両検知器 / 自動車先進運転支援システムの周辺では、取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。
- ・ 取締レーザー光以外でも以下の周辺では反応する場合がありますが、これは誤動作ではありませんのでご了承ください。（レーザー式車両検知器 / 自動車先進運転支援システムの一部）

■ GPS測位機能に関する注意

- ・ 本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- ・ 新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS警報できませんのであらかじめご了承ください。
- ・ GPS警報の左右方向識別ボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
- ・ 本機の警報はあらかじめ登録されたオービスや取締エリアなどのGPSターゲットとお客様が登録した位置のみ警報します。

■ 無線 14 バンド受信機能に関する注意

- ・ カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 本機は、受信した音声を聞くことができる交信音声受信機能（復調）を搭載しておりますが、デジタル方式や、デジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。また、各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- ・ カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー 6 識別は、はたらかしません。

■ 表示部に関する注意

- ・ 表示部を強く押ししたり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損だけが原因となります。
- ・ サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。

■ 撮影された映像について

- ・ 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

■ 取り付けに関する注意

- ・アンテナユニットは、GPS 衛星からの電波やレーダー波/レーザー光を受信しやすくなるため、障害物や遮へい物の無い視界の良い場所で道路に対して水平且つ矢印(▲)が進行方向を向くようにして取り付けてください。
- ・車載されている他の電装機器のアンテナの近くなど、他の電装機器の電波干渉によりGPS 衛星の電波を受信できない場合があります。本機を取り付ける場所は、他の電装機器との間隔を十分取ってください。
- ・水がかかったり、熱風があたる場所には取り付けないでください。
- ・本機あるいは電源コードが、ドアの開閉部などにあたったり、はさまれないようにしてください。
- ・ディスプレイユニットを道路に対して水平に、また進行方向に取り付けていないと、Gセンサー/ジャイロセンサーが正しく動作しないことがあります。
- ・取付位置によっては、本機のフレックスディマーを[照度センサー+衛星情報]にした場合にフレックスディマーが常時作動することがあります。その場合は、取付位置を変更するか、フレックスディマーの設定を[衛星情報]にご使用ください。
- ・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・ラジオアンテナ付近にリアカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。
- ・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ 制限速度に関する注意

- ・制限速度は普通自動車に対する表示となります。
- ・本機の制限速度は、本機購入時以降に制限速度が変更されたなどの理由により、実際の制限速度と異なる場合があります。運転する際は、スピードを出し過ぎず交通規則に従い走行してください。
- ・事故や天候、時間帯などで変化する制限速度には対応しておりません。状況に応じた制限速度で走行してください。

■ 真夏などの炎天下での注意

- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をフロント/リアガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障や両面テープはがれの原因となります。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

■ 録画についての注意

- ・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
- ・本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
- ・本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
- ・映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のフロント/リアガラスは常に清潔にしてください。
- ・録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。
- ・ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ずSDカードを保管してください。
- ・記録映像は全て正像になります。
- ・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
 - ※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※長期間使用しなかった場合。
 - ※パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

■ 画面表示に関する注意

- ・日付および時刻は、GPS 測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- ・時刻の表示は、24 時間表示です。12 時間表示に変更することはできません。
- ・走行速度やGPS ターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPS やG センサー、ジャイロセンサー、気圧センサー、マッピングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- ・渋滞や低速走行時(発進直後を含む)は、速度表示を正しく表示しないことがあります。
- ・液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
- ・太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

■ SDカードに関する注意

- ・付属のSDカードは、本機専用でご使用ください。
- ・SDカードリーダーライターは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みができなくなる可能性があります。
- ・SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・SDカードはNAND型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- ・SDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やSDカードエラーになり使用できない場合があります。
- ・SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- ・重要な記録データは、パソコンへ保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- ・SDカードは必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- ・本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。

■ DMSユニットの取り扱いに関する注意

- ・本機は運転者の顔の向きと、まぶたの開閉を検知し警告を行う装置です。
- ・装置に頼った運転は行わないでください。
- ・疲れや眠気を感じたら休憩を取るようになってください。
- ・周辺状況、個人差によりキャリブレーション範囲が低下する場合があります。
- ・安全運転のために、走行中は本機の位置調整を行わないでください。
- ・本機は精密電子機器のため、分解や改造は絶対に行わないでください。
- ・右左折時や駐車時の顔の動きを検知して、警告を行う場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 保証に関する注意

- ・本製品にはお買い上げ日から3年間の保証がついています。(ただし、電源コードなどの付属品ならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

■ DMSユニットのフィルタリング機能に関する注意

- ・本機はGPS で車速を測定し、車速が約10km/h 未満の場合、警告しないようにフィルタリングする機能を搭載しております。車速が約10km/h 以上になるとフィルタリングを解除します。
- ・ただし、本機の電源ON後GPSが補足されるまでの間や、GPSを受信できない場所ではフィルタリング機能は動かないため、車速に関わらず警告を行う場合があります。

■ 電源直結コードに関する注意

- ・電源直結コードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・電源直結コードには、ヒューズホルダーが接続されています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販品の新しいヒューズ(3A)と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、本機から電源直結コードを抜いて、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

■ OBDIIアダプター(別売品)で接続した場合

- ・取り付ける車両によっては表示できない待受画面の項目があります。
- ・イグニッションをOFFにしてから本機を電源OFFするまで、数秒から数十秒かかります。
- ・車検、点検等の後は、故障診断装置接続のため本機のOBDIIアダプターが抜けている場合があります。その際は再度OBDIIコネクターへ本機のOBDIIアダプターを挿し込んでください。

■ ドライブレコーダー搭載ステッカーに関する注意

- ・ステッカーを貼り付ける場所を決め、貼り付け面の汚れや、油分、ワックスをあらかじめ取り除いてください。凸凹面、ザラザラ面には接着できない場合があります。
- ・接着後、定着に約1日かかりますのでその間、洗車などは控えてください。
- ・保安基準上、フロントガラスおよび運転席、助手席のサイドガラスやレンズ類等には絶対に貼り付けられないでください。
- ・ステッカー素材は、屋外での使用を想定した素材を使用しておりますが、使用時間や条件により退色やヒビ割れ等の劣化が生じる場合があります。また、飛び石、風圧、事故やその他の不可抗力ではがれる場合もあります。
- ・再塗装や塗装面の傷んでいる場所に貼ると、ステッカーをはがす際に、塗装はがれたり、傷める場合があります。
- ・長期間の使用や貼り付け面の材質により、ステッカー-貼り付け面は退色具合の異なりで跡が残る場合があります。

もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

※LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。

SDカードの保管

・保管場所について・・・

SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。



〈静電気・ノイズ〉



〈水・湿気〉

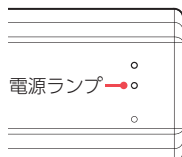
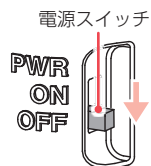


〈衝撃・曲げ・折り〉



〈腐食性ガス〉

1 ディスプレイユニット背面の電源スイッチをOFFにする

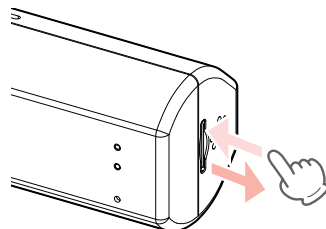


〈フロントカメラユニット〉

＜ディスプレイユニット＞

電源OFF後、フロントカメラユニットの電源ランプが消灯したことを確認してください。

2 カメラユニット用SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※ SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※ 取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートとの隙間などに入り込む可能性があります。

3 SDカードを保管する

バックアップ機能について
重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

SDカードをフォーマットする

必ず1～2週間に一度、本機でカメラユニット用SDカードをフォーマットしてください。定期的にフォーマットをしないと、エラーの原因になります。

※パソコンによるSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、本機で行ってください。

※SDカードフォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからSDカードフォーマットを行ってください。

SDカードのフォーマット手順

1 車両のエンジンをONする

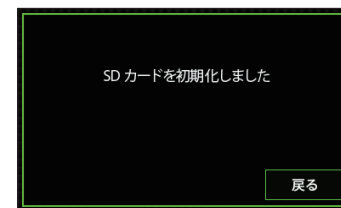
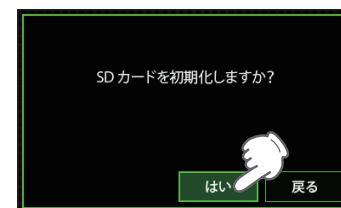
2 待受画面にタッチする



3 [SDカードフォーマット]にタッチする



4 [はい]にタッチする

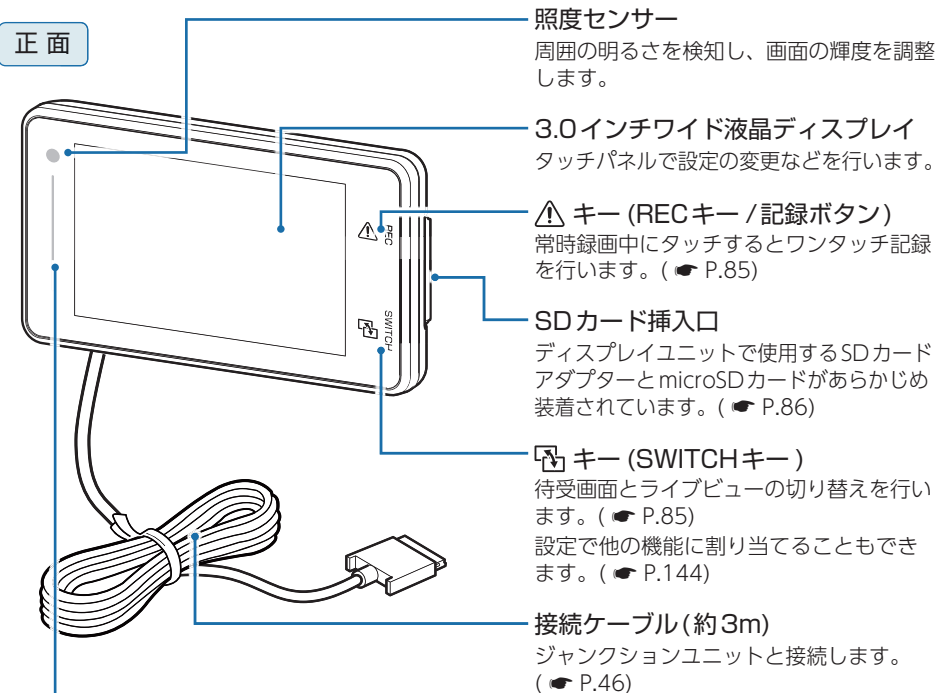


フォーマット完了後、『SDカードを初期化しました』と数秒表示して待受画面に戻ります。

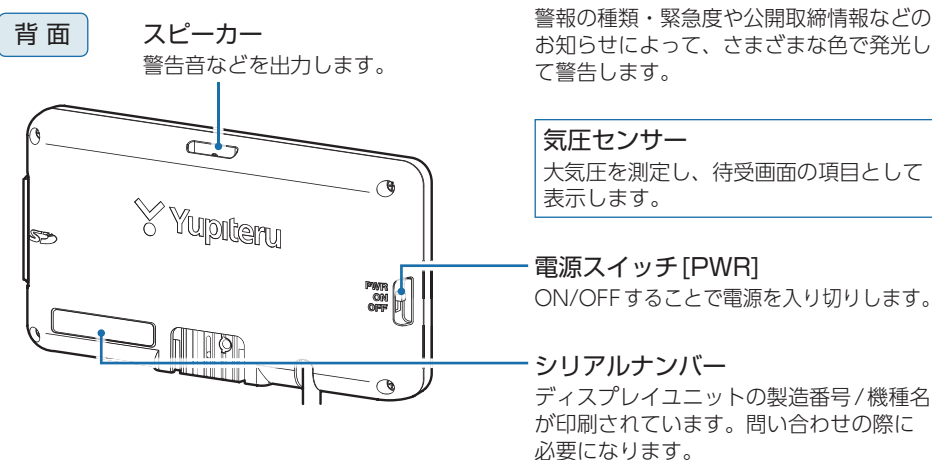
各部の名称と働きについて

■ ディスプレイユニット

正面

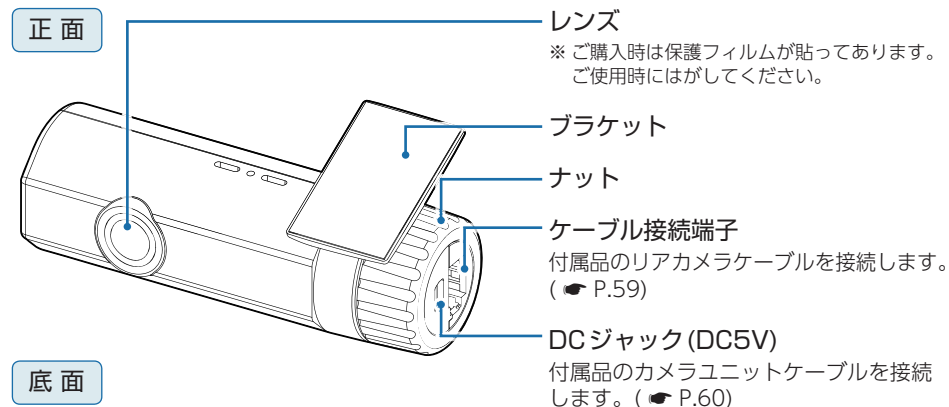


背面

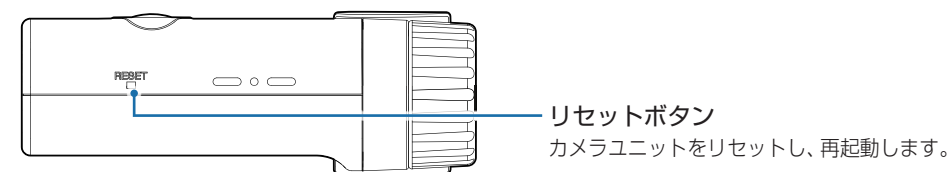


■ フロントカメラユニット

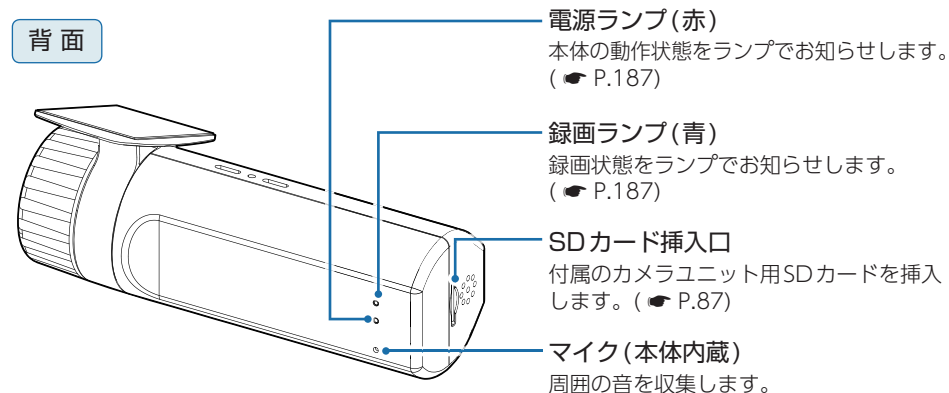
正面



底面

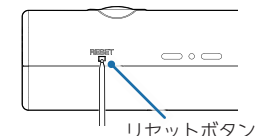


背面

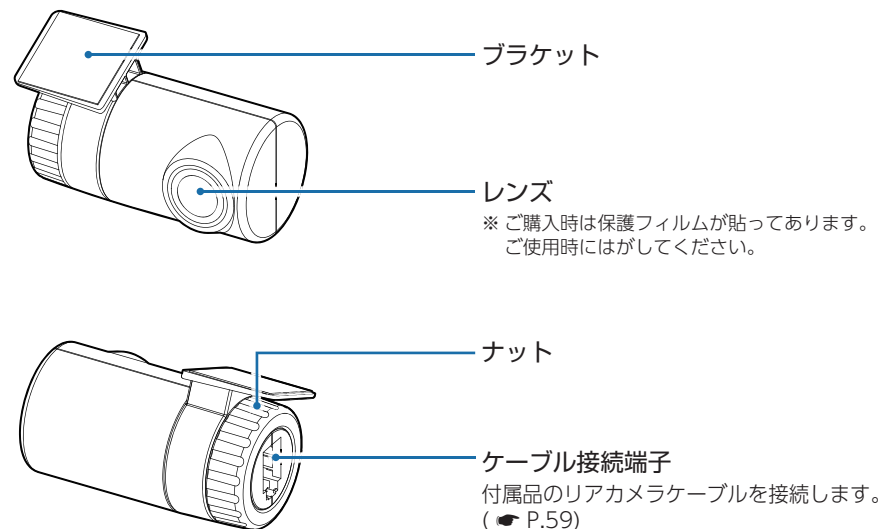


■ リセットボタンについて

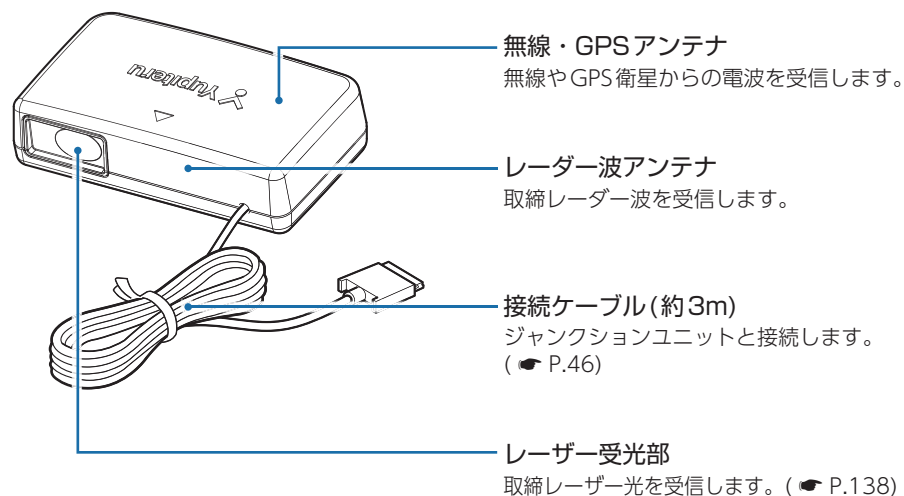
動作しなくなったり、誤作動を起こしたときはフロントカメラユニット下部のリセットボタンを押してシステムを再起動してください。
※リセットボタンを押してもSDカードに記録したデータは消えません。また、設定が初期化することはありません。



■ リアカメラユニット

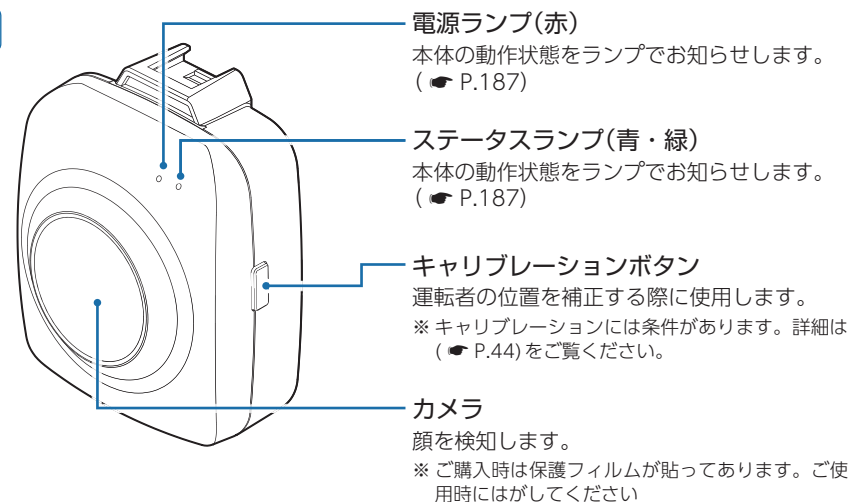


■ アンテナユニット

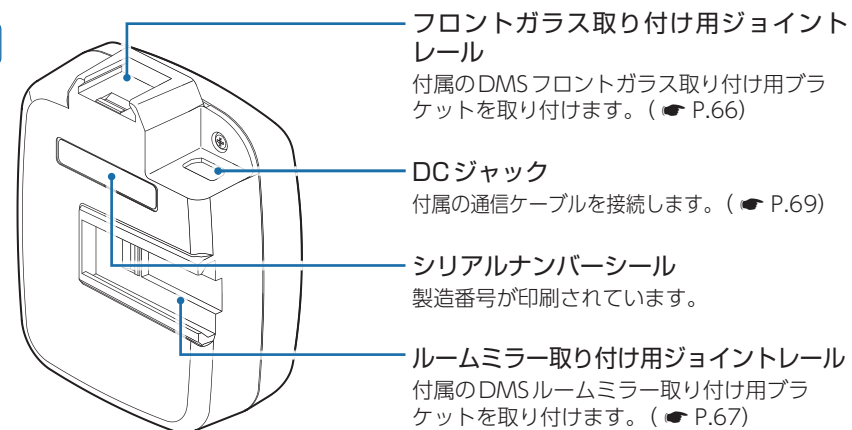


■ DMSユニット(わき見・居眠り運転警報器)

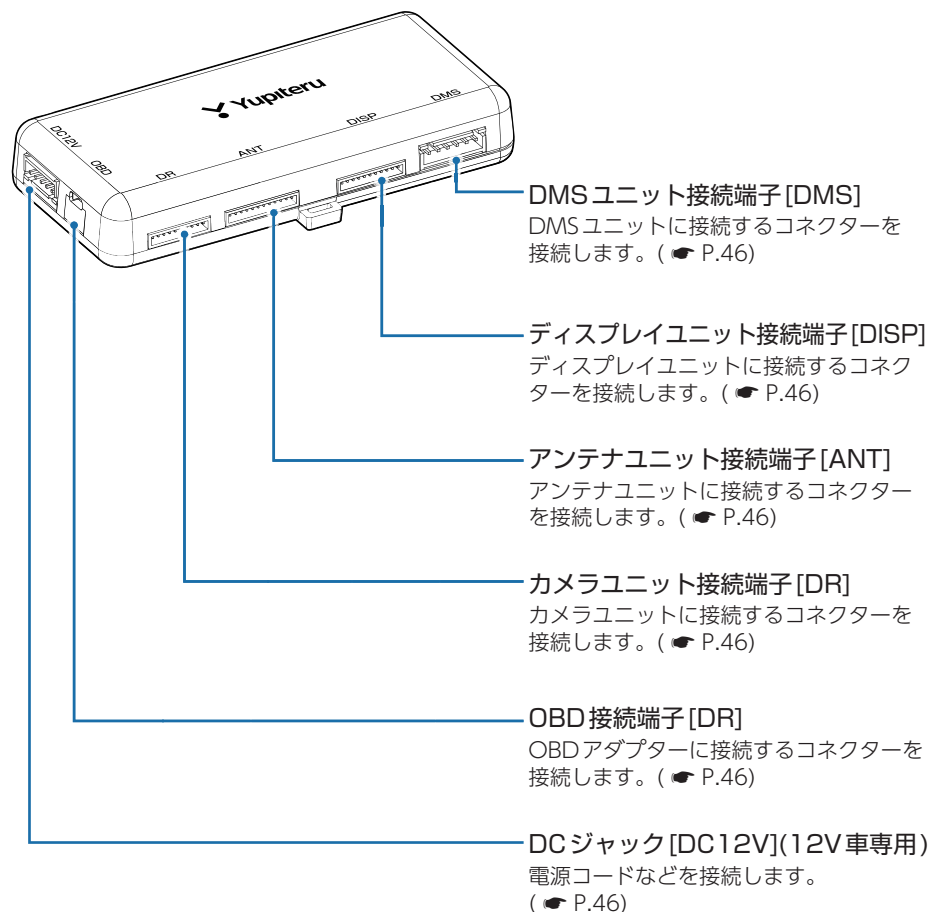
正面



背面



■ ジャンクションユニット



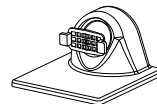
⚠ 注意

ジャンクションユニットのDCジャックはUSB端子ではありません。故障の原因となりますので、本体をパソコンなど他の機器のUSB端子と接続しないでください。

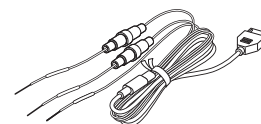
1. 付属品のご確認

製品には万全を期しておりますが、欠品等ございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

■ ダッシュボード取り付け用 ブラケット …………… 1



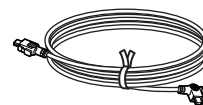
■ 電源直結コード(3A) (DC12V出力)約2m …………… 1



■ カメラユニットケーブル(約3m) …… 1



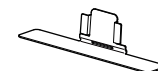
■ リアカメラケーブル(9m) …………… 1



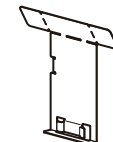
■ DMS通信ケーブル(4m) …………… 1



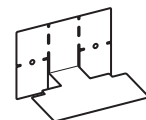
■ ダッシュボード取り付けステー …… 1



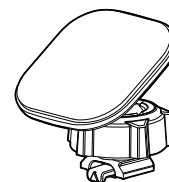
■ 宙吊り取り付けステー (ディスプレイユニット用) …… 1



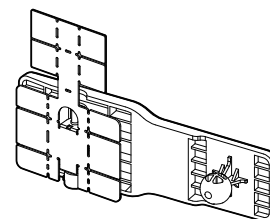
■ アンテナ用取り付けステー …… 1



■ DMSフロントガラス取り付け用 ブラケット …………… 1



■ DMSルームミラー取り付け用 ブラケット …………… 1

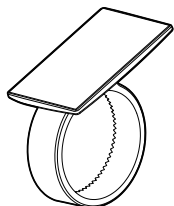


■ 六角レンチ1



■ カメラユニットブラケット2

・フロントカメラ用

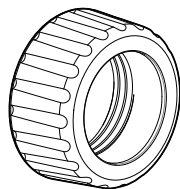


・リアカメラ用

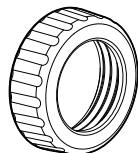


■ カメラユニットナット2

・フロントカメラ用

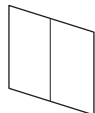


・リアカメラ用



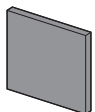
■ 粘着シート1

※ ディスプレイユニット用両面テープを使って取り付ける場合は使用しません。



■ 粘着マット1

※ ディスプレイユニット用両面テープを使って取り付ける場合は使用しません。



■ ディスプレイユニット用両面テープ2

※ ダッシュボード取り付け用ブラケットを使って取り付ける場合は使用しません。



(70mm × 12mm)

■ カメラユニット用両面テープ2

・フロントカメラ用



(38mm × 24mm)

・リアカメラ用



(20mm × 20mm)

■ アンテナ・ジャンクションユニット用両面テープ2



(35mm × 25mm)

■ ドライブレコーダー搭載ステッカー (130mm × 58mm)1

※ 保安基準上、フロントガラスおよび運転席、助手席のサイドガラスやレンズ類等には絶対に貼り付けしないでください。

■ ディスプレイユニット用SDカード

・SDカードアダプター1

・microSDカード1

※ ディスプレイユニットにあらかじめ装着されています。

■ カメラユニット用SDカード

・microSDカード (16GB)1

※ フロントカメラユニットにあらかじめ装着されています。

■ 取扱説明書・保証書 (本書)1

2. 別売品のお知らせ

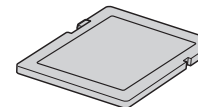
■ 無線LAN機能付SDカード OP-WLSD16 本体 7,000円+税

無線LAN機能が付いたSDカードです。

公開取締情報^{※1}やオービス・取締系&コンテンツデータ^{※2}、本体のファーム^{※1}などをパソコンを介さず更新することができます。(P.167)

※1：無料でご使用になれます。

※2：ity.クラブへのご入会が必要となります。(有料)



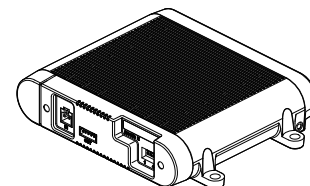
■ マルチバッテリー OP-MB4000^{※3} (12V車専用) 本体 23,000円+税

エンジンをOFFにすると、走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、駐車記録を行います。車両のバッテリーからの電源供給と違い、バッテリー上がりの心配がありません。

※ 約3時間の走行で満充電になります。

※ 最大約12時間の駐車に対応。

本体.....	1
入力コード.....	1
出力コード.....	1
面ファスナー.....	1



※3：別売品の接続ケーブル(OP-CB006)が必要になります。

■ 接続ケーブル OP-CB006(約4m) 本体 2,000円+税

ジャンクションユニットとマルチバッテリー (OP-MB4000) を接続します。

■ OBDIIアダプター



注意

- ・OBDIIアダプター使用時、車種によっては画面に表示できない情報があります。詳細については、販売店の店頭や弊社ホームページでOBDIIアダプター適応表をご確認ください。
- ・OBDIIアダプターには、適応表が指定されています。販売店の店頭や弊社ホームページでOBDIIアダプター適応表をご確認のうえからお求めください。

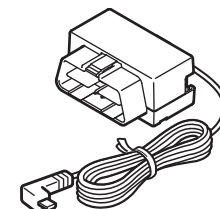
OBD12-MⅢ(約4m) 本体 6,000円+税

国産8社に対応(トヨタ(ハイブリッド車含む)、日産、ホンダ、三菱、ダイハツ、スバル、マツダ、スズキ)

OBD-HVTM(約4m) 本体 8,000円+税

トヨタハイブリッド車専用

- ・アクティブ機能対応
(車速感応ドアロック、エマージェンシーシグナル)



車両のOBDIIコネクタから車両情報を取得して待受画面に表示させたり、トンネル内など衛星情報が受信できない場所でも速度情報を取得できるので、より正確な警報を行うことができます。

本機は、OBD12-MⅢ、OBD12-MⅡ、OBD-HVTM、OBD12-MのOBDIIアダプターに対応しています。本書では、個別の機種名を表記せず、OBDIIアダプターと表記します。

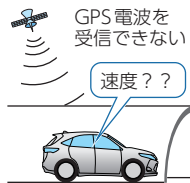
※ 適応車種については、店頭もしくは弊社ホームページのOBDIIアダプター適応表をご確認ください。

※ 適応車種であっても取り付けを推奨していない自動車メーカーもありますので、取り付けに関してはお客様のご判断で行ってください。

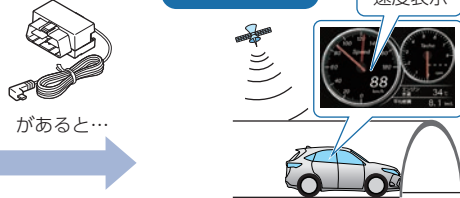
※ ディーラーに入庫する際は、OBDIIアダプターを車両から取り外してください。ディーラーによっては入庫を断られることがあります。

トンネル内などGPS電波を受信できない場所では…

アダプターなし



アダプターあり



3. 付属品・別売品の追加購入について

- ・ 付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用〇〇(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・ 弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

Yupiter スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

本機について

本書では、特にことわりのない場合、「GPS」「みちびき」「グロナス」「ひまわり」「GAGAN」「GALILEO」を総称して「GPS」と表記しています。

1. 測位可能な衛星の種類

本機では、最大84基の衛星を受信することができます。

※ 2019年2月19日現在稼働数より(一時使用禁止衛星を除く)

※ 今後打ち上げられる、下記の測位システム衛星にも受信対応。

■ GPS(Global Positioning System)

衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

■ 準天頂衛星「みちびき」

「みちびき」からの信号を受信することにより、GPSのみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、より正確な測位をします。

■ グロナス(Global Navigation Satellite System)

ロシアの衛星を利用し、地上での現在位置を計算するシステムです。

■ 運輸多目的衛星「ひまわり」

航空管制としての機能と気象観測の2つの機能を持つ静止衛星です。「ひまわり」からの信号を受信することにより、GPSの誤差を補正し、測位精度を向上します。

■ GAGAN(GPS Aided GEO Augmented Navigation)

インドの静止衛星型衛星航法補強システムです。

■ GALILEO(Global Navigation Satellite System)

EU(ヨーロッパ連合)の全地球航法衛星システムです。

2. GPSの測位機能について

GPSを利用して、取締レーダー波を発射しないループコイル、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締装置)にも警報します。

また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締や検問が行われていた場所など、57種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS57識別]

■ マップマッチングシステム

GPS・Gセンサー・ジャイロセンサーで、自車の進行状態を検知し全国地図と照合して、ルートのはずれを補正します。

※ トンネル内のマップマッチングシステムは、全国の高速道路ならびに国道のトンネルで、はたらきます。

※ 新しい道路などではマップマッチングしない場合もあります。

※ 状況によってはマップマッチングがはたらかない場合があります。



■ クイック測位対応

前回電源OFFした時刻と自車位置情報を基に、GPS衛星位置を予測し、現在の自車位置をすばやく測位することができます。



■ ジャイロセンサー&Gセンサー&気圧センサー&照度センサー

ジャイロセンサーで、自車の進行方向の変化を計測します
Gセンサーで、自車の加減速の変化を計測します。
気圧センサーで、気圧の変化による高度変化を計測します。
また、照度センサーで周囲の明るさを計測します。

4
センサー
ジャイロ
G (加減速)
気圧
照度

■ OBDII車速検知 (※別売品のOBDIIアダプターで接続)

GPS電波を受信できないトンネル内でも、正確な車速情報を得ることができます。



マップマッチングシステム、気圧センサー&Gセンサー&ジャイロセンサ、別売品のOBDIIアダプターを接続することによるOBDII車速検知により、GPS電波の受信状態が良くない場所でも、高精度な警報を行うことが可になります。
ただし次の場合、クイック測位は機能しません。

- ・最後に本機を電源OFFしてから6日間以上経過した場合。
- ・最後に本機を電源OFFした時と、次に電源ONした時のGPS衛星の状況が異なる場合。
- ・GPS電波の受信を妨げる遮へい物や妨害波がある(存在する)場所で本機を電源ONした場合。

3. 測位アナウンス

GPS測位時/非測位時に音声でお知らせします。

ビルの谷間などGPSの電波受信状態が良くない場合、『衛星を受信できません』『測位しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。電源ONにしてから、しばらくGPSを受信できない場合『衛星をサーチ中です』とお知らせします。

※ 測位アナウンスはON/OFFすることができます。(P.144)

4. リラックスチャイム

安全運転をしていただくために、休憩を促す機能です。初期値では電源ON後、2時間が経過するたびに『長時間運転しています 休憩しませんか?』とお知らせします。

※ リラックスチャイムはお知らせする時間を選択できます。(P.144)

5. 時報

毎時、正時に時刻をお知らせします。[〇〇時です]。

※ 時報はON/OFFすることができます。(P.144)

※ 24時間制でお知らせします。

6. 受信可能な電波

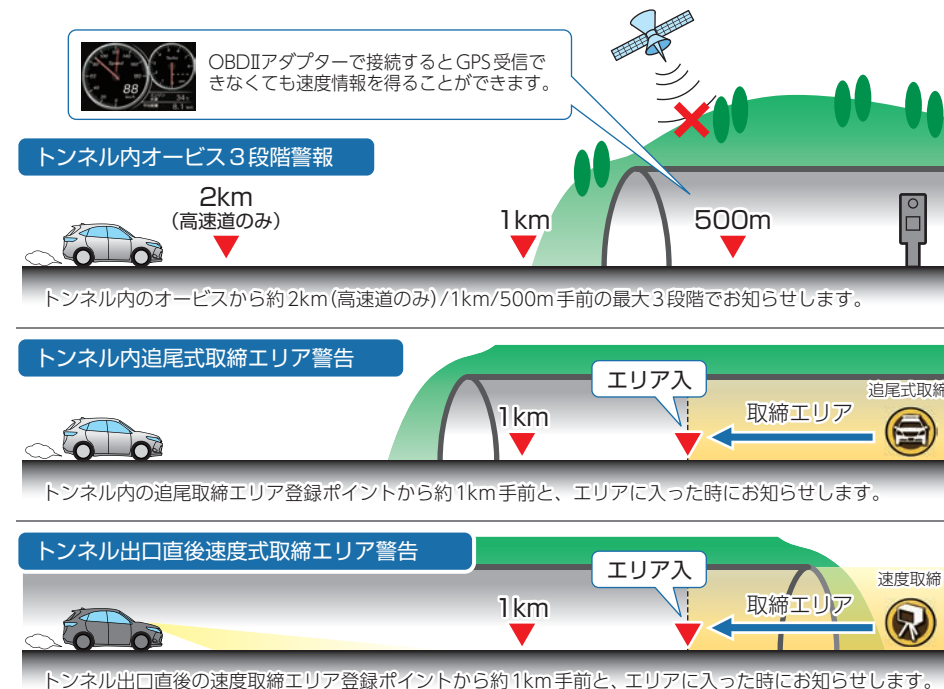
レーザー光、取締レーザー波のX・Kツインバンド、GPSの4バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、18バンド受信ができます。

$$\boxed{\text{レーザー光}} + \boxed{\text{GPS}} + \boxed{\text{Xバンド}} + \boxed{\text{Kバンド}} + \boxed{\text{無線14バンド}} = \boxed{18 \text{ BAND}}$$

7. トンネル内の警報・警告について

本機は、Gセンサー、ジャイロセンサーおよびマップマッチングシステムにより、GPSの電波を受信できないトンネル内のオービスや取締エリアをお知らせします。さらに別売品のOBDIIアダプターで接続した場合は、OBDII車速検知により高精度な警報を行います。

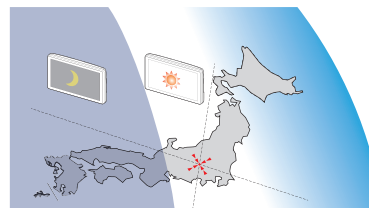
※ 走行状況によっては警報できない場合があります。



8. 画面の明るさ調整(フレックスディマー)

夜間やトンネルなど周囲が暗いときは、画面表示の明るさを抑え、眩しさを防ぎます。GPS情報等により、それぞれの地域および季節などに応じ自動的に画面表示の明るさを調整します。また、照度センサーを搭載しているため、トンネルなどの急激な照度の変化にも対応しています。

また、OBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を接続し、イルミ信号を取得すると、本機の設定がイルミ連動になり、トンネルなどの急激な明るさの変化にも対応できます。



※ OBD対応車両であってもイルミ信号を受信できない場合があります。あらかじめご了承ください。
※ 図は説明のためのイメージです。実際の画面の明るさとは異なります。

取締のミニ知識

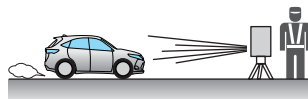
本書では取締方法について、以下を想定して説明しています。

1. スピード違反の取締方法

取締の方法や種類をよく理解して、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。スピード違反の取締は大きく分けて4つの方法があります。

■ レーザー光を使って算出する方法(レーザー方式)

レーザー光を対象の車両に向けて発射し、その反射光で速度を算出します。



■ レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

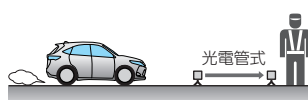
取締レーダー波を対象の車両に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。



※ 対象の車両が近くに来るまで、取締レーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。

■ 距離と時間で算出する方法(光電管・ループコイル式オービス)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。



※ この方式は、取締レーダー波を発射しておりません。GPS ターゲットとして登録されている場合のみ、警報することができます。

■ 追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車両を追走して速度を測ります。



※ 追尾方式等で取締レーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知することができません。

2. 取締レーダー波について

取締の方法や種類をよく理解して、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。取締レーダー波は大きく分けて3つの種類があります。

■ 定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。取締レーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



■ 自動速度取締機(新Hシステム、レーダー式オービス)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



■ 移動式

測定装置を車両に搭載して、移動しながら測定を行います。

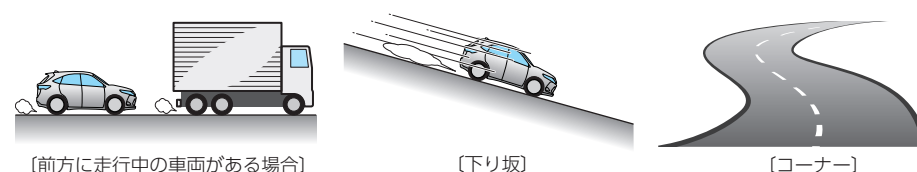


3. 取締レーダー波/レーザー光を受信しにくい場合

取締レーダー波/レーザー光の発射方法や周囲の環境、条件などにより受信しにくいことがあります。

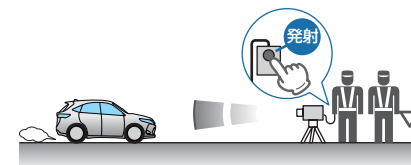
※ 対象の車両が近くに来るまで、取締レーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締ができるステルス型のスピード測定装置があります。

※ 前方に走行している車両(特に大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波やレーザー光が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、特にご注意ください。



4. ステルス型取締について

他の取締機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締機です。



※ ステルス型取締機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。また、取締には電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

※ 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。

※ ステルス型取締機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

オービス・取締系&コンテンツデータ更新について

パソコンでのダウンロード、SDカードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスで本機のオービス・取締系&コンテンツデータの更新を行っていただけます。

※ 本サービスは有料になります。詳しくは下記ホームページをご確認ください。

パソコンでのダウンロード、SDカードをお送りするお届けプランをご利用の際には、下記ホームページよりご利用の機種を選択のうえ、お申込み手続きを行ってください。

ity.クラブ/ POWERED BY Yupiteru <https://ity.yupiteru.co.jp/>

電話でのお問い合わせは下記のフリーコールにてお願いします。

◆ユピテル ity.クラブ窓口

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

フリーコール 0120-958-955

※ 本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。

公開取締情報について

走行中の市区町村に沿った、各都道府県警察署発表の公開取締情報を、画面上に表示することができます。全国地図と連動させた独自の分かりやすい案内機能です。本機には公開取締情報のデータが入っていますが、最新のデータに無料で更新することができます。詳しくは、弊社ホームページ (<https://www.yupiteru.co.jp/>) をご覧ください。

- ※ 公開取締情報を表示している場合でも、レーダー警報や無線警報など優先度の高い警報が優先されます。
- ※ GPSの日時情報により、日付の過ぎたものは表示されません。また、公開取締情報が発表されていない地域では表示されません。
- ※ 公開取締情報でのお知らせ以外でも各都道府県にて取締を実施しております。
- ※ 本機の公開取締情報が最新ではない場合、正しくお知らせすることができないことがあります。本機の公開取締情報を確認し、最新の情報に更新してください。
- ※ 本機の公開取締情報が最新ではない場合、正しくお知らせすることができないことがあります。本機の公開取締情報を「バージョン情報」(P.144) で確認し、最新の情報に更新してください。
- ※ 公開取締情報設定が「テロップ1周」[パネル]の場合、待受画面の左上にタッチすることで公開取締情報を再表示できます。(P.84)

■ 速度管理指針について

速度管理指針とは、交通事故発生状況等の交通実態や速度抑制の必要性などを基に各都道府県内における速度制限や交通取締の方針を示したものです。警察本部でまとめられた指針になります。

■ 速度取締り指針について

速度管理指針に示す方針のもと、各警察署管内の一般道路及び高速道路について、交通事故発生状況の分析や地域住民からの要望等を基に、速度取締を重点的に行う路線、時間帯等を明らかに示したものです。警察署単位でまとめられた指針になります。

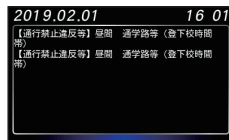
■ 取締情報の表示について

取締情報がある路線に侵入した場合、取締情報をテロップ、またはパネルで表示します。公開取締情報は赤背景、速度取締指針は青背景、その他の情報は背景色なしで表示します。

- ※ 公開取締情報の表示方法は変更できます。(P.148)
- ※ テロップ表示の場合、「情報種類と署轄名」⇒「道路名称」⇒「区間や大体の場所」⇒「規制速度」⇒「日時や時間」の順に表示します。
- ※ 取締エリアの場合は「取締ターゲット名」が表示されます。
- ※ パネル表示の場合、約10秒間情報を表示します。
- ※ パネル表示の画面をタッチすると待受画面に戻ります。
- ※ 待受画面左上にタッチすると取締情報を再表示することができます。



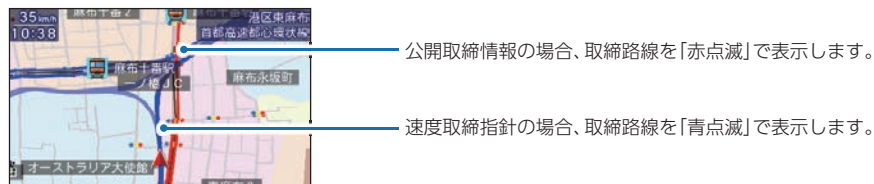
<テロップ表示>



<パネル表示>

■ 取締路線の表示について

※ 取締路線を表示するためには、待受画面をマップにしてください。



公開取締情報の場合、取締路線を「赤点滅」で表示します。

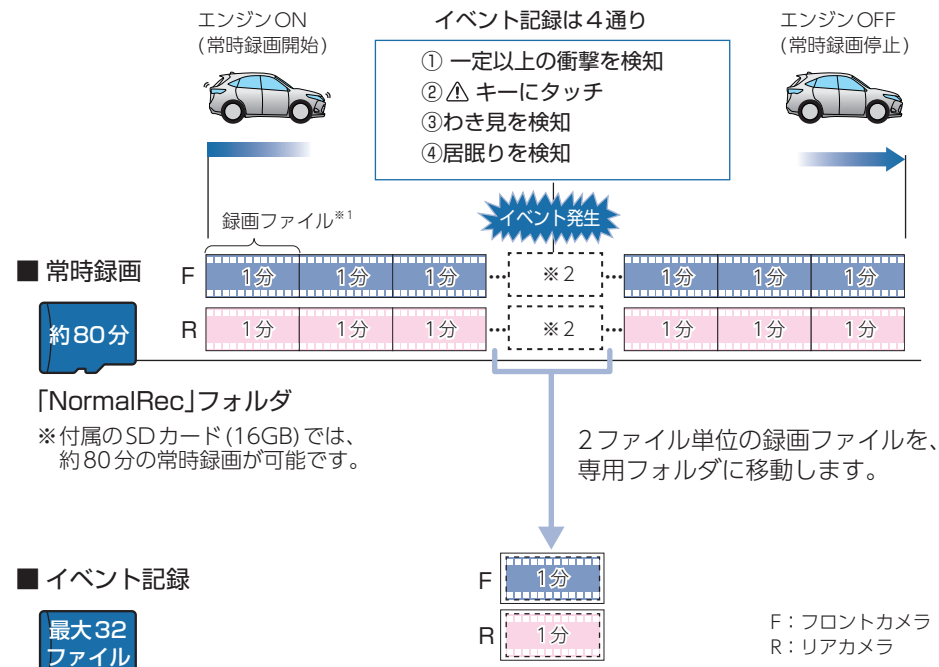
速度取締指針の場合、取締路線を「青点滅」で表示します。

録画について

本機は、エンジンキーに連動して録画を開始/停止します。記録方法は、エンジン始動(ACC ON)時に行う常時録画/イベント記録、エンジン停止(ACC OFF)時に行う駐車監視録画/駐車監視イベント記録があります。

※ 手動で録画を開始/停止することができます。(P.85)

※ 自動録画開始の設定で、自動録画のON/OFFができます。(P.152)

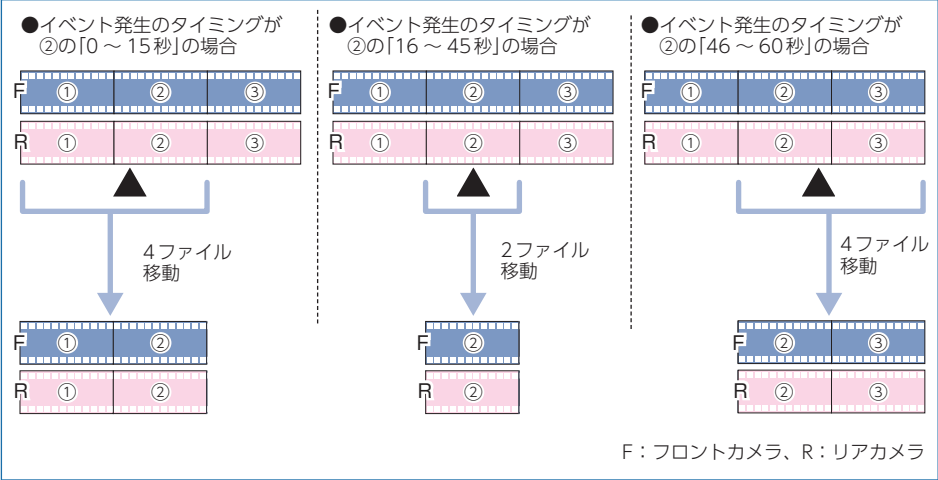


「Gsensor」フォルダ …………… Gセンサー記録
「EVSW」フォルダ …………… ワンタッチ記録
「Distracted」フォルダ …………… DMS わき見記録
「Fatigue」フォルダ …………… DMS 居眠り記録

※ 付属のSDカード(16GB)では、Gセンサー記録/ワンタッチ記録/DMS わき見記録/DMS 居眠り記録/駐車監視イベント記録を合わせて32ファイルのイベント記録が可能です。

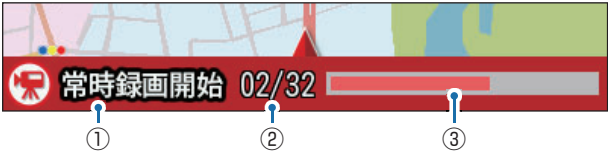
※ 1: 駐車監視録画中は30分の映像が1ファイルになります。(P.33)
駐車監視録画は「ParkRec」フォルダ、駐車監視イベント記録は「ParkEV」フォルダへ移動されます。(P.33、36)

※2：イベント発生タイミングによって移動するファイル数は異なります。



■ 録画時のテロップ表示について

録画動作 / 録画可能容量 / イベント記録ファイル数を数秒テロップ表示します。



No.	設定値	説 明
①	録画動作	録画動作を表示します。
		常時録画開始 常時録画開始時に表示します。
		常時録画停止 常時録画停止時に表示します。
		G センサー記録 G センサー記録時に表示します。
		ワンタッチ記録 ワンタッチ記録時に表示します。
		DMS わき見記録 DMS わき見記録時に表示します。
②	イベント記録 ファイル数	DMS 居眠り記録 DMS 居眠り記録時に表示します。
		現在のイベント記録ファイル数 / 最大記録ファイル数を表示します。
③	録画可能容量	常時録画の録画可能容量を表示します。 ※ 上書きモード「上書き禁止」設定時のみ表示されます。

1. 常時録画

エンジン始動 (ACC ON) からエンジン停止 (ACC OFF) までの映像をカメラユニット用SDカード (「NormalRec」フォルダ) に常時録画します。常時録画開始時に音が鳴り、テロップ表示し、カメラユニットの録画ランプ (青) が点灯します。

※ 音量 - (0) では、録画開始時に音は鳴りません。

・ 録画ファイル構成

1 ファイルあたり約 1 分で生成します。

・ 録画可能時間

初期値 (P.152) で、付属のカメラユニット用SDカード (16GB) に約 80 分の常時録画が可能です。SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。(P.202)

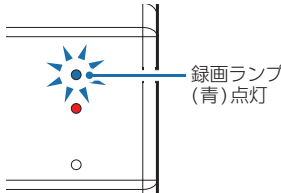
・ 上書きモード

初期値では、上書きモードが「全て上書き」のため、80分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(P.37)

エンジン
ON



<ディスプレイユニット>



<フロントカメラユニット>

2. 駐車監視録画

エンジン停止 (ACC OFF) からエンジン始動 (ACC ON)、またはDR設定の駐車監視で設定した時間や電圧までの映像をカメラユニット用SDカード (「ParkRec」) に常時録画します。駐車監視録画中は、録画コマ数が「1FPS(1コマ/秒)」に固定されます。ディスプレイユニットは画面OFFしカメラユニットの録画ランプ (青) が遅点滅します。

※ 駐車監視録画を行うには設定が必要になります。(P.40)

※ 録画開始時に音は鳴りません。

※ 駐車監視録画中は、録画コマ数が「1FPS(1コマ/秒)」に固定されます。そのため30分の映像が1ファイルになり、再生すると早送りの映像になります。

・ 録画ファイル構成

録画コマ数が「1FPS(1コマ/秒)」に固定され、1 ファイルあたり約 30 分で生成します。

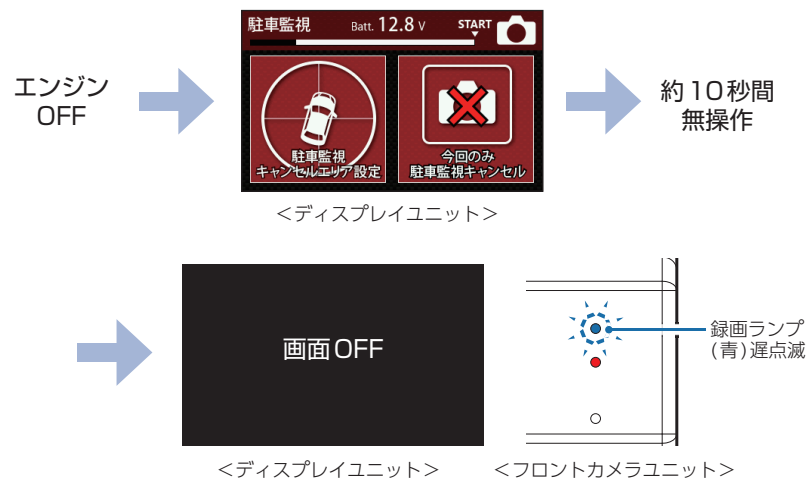
・ 録画可能時間

初期値 (P.152) で、付属のカメラユニット用SDカード (16GB) に約 40 時間の駐車監視録画が可能です。SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。(P.202)

・ 上書きモード

初期値では、上書きモードが「全て上書き」のため、40時間以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(P.37)

例：駐車監視エリア内の場合



3. イベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録、DMSわき見記録、DMS居眠り記録)

イベント記録には、Gセンサー記録/ワンタッチ記録/DMSわき見記録/DMS居眠り記録があります。イベント開始時に音が鳴り、イベント記録中はディスプレイユニットにイベント種類をテロップ表示し、マップ画面上にイベント記録が行われた場所をアイコン(📍)で表示します。フロントカメラユニットの録画ランプ(青)は早点滅します。

※ 音量一(0)では、録画開始時に音が鳴りません。

※ マップ画面上からイベント記録地点(アイコン)を消去(🗑️ P.144)することも可能です。

・録画ファイル構成

1ファイルあたり約1分で生成します。

・最大記録ファイル数

付属のカメラユニット用SDカード(16GB)に32ファイルのイベント記録が可能です。SDカードの容量によって最大記録ファイル数は異なります。(📖 P.202)

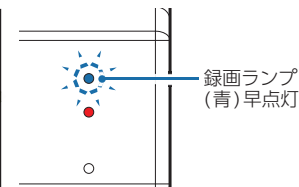
・上書きモード

初期値では上書きモードが「全て上書き」のため、記録ファイル数が32ファイルを超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(📖 P.37)

■ Gセンサー記録

Gセンサーが一定以上の衝撃を検知すると録画ファイルをカメラユニット用SDカードの「Gsensor」フォルダに移動します。

一定以上の衝撃を検知

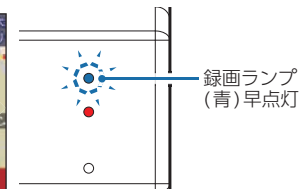


<ディスプレイユニット> <フロントカメラユニット>

■ ワンタッチ記録

常時録画中にディスプレイユニットの ⚠️ キーにタッチすると録画ファイルをカメラユニット用SDカードの「EVSW」フォルダに移動します。

⚠️ キーにタッチする



<ディスプレイユニット> <フロントカメラユニット>

⚠️ 注意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

■ DMSわき見記録

ドライバーモニタリング中(ステータスランプ：緑色)に、約3秒以上わき見をしたことを検知した場合に警告して録画ファイルをカメラユニット用SDカードの「Distracted」フォルダに移動します。

※ 時速10km/h以下では警告しません。

※ 正面を向くと警告は止まります。

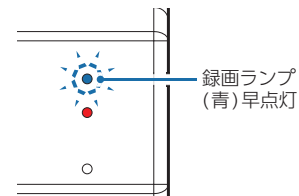
※ 誤動作が多いと感じた場合は本体の向きを調整し、再度キャリブレーションを行ってください。(📖 P.44)

※ DMS設定のわき見検知が「OFF」、またはDMSイベント記録のわき見検知が「OFF」の場合はDMSわき見記録は行いません。

わき見を検知



約3秒以上
わき見



<ディスプレイユニット> <フロントカメラユニット>

■ DMS居眠り記録

ドライバーモニタリング中(ステータスランプ：緑色)に、まぶたを閉じていることを検知した場合に警告して録画ファイルをカメラユニット用SDカードの[Fatigue]フォルダに移動します。

※ 時速10km/h以下では警告しません。

※ まぶたを開く(両目を1秒以上開ける)と警告は止まります

※ 誤動作が多いと感じた場合は本体の向きを調整し、再度キャリブレーションを行ってください。(P.44)

※ 片目だけ閉じた状態では警告しません。

※ DMS設定の居眠り検知が「OFF」、またはDMSイベント記録の居眠り検知が「OFF」の場合はDMS居眠り記録は行いません。

居眠りを検知



4. 駐車監視イベント記録(Gセンサー記録)

駐車監視録画中に一定以上の衝撃を検知すると録画ファイルをカメラユニット用SDカードの「ParkEV」フォルダに移動します。駐車監視イベント中はフロントカメラユニットの電源ランプ(青)が早点滅します。

・録画ファイル構成

1ファイルあたり約30分で生成します。

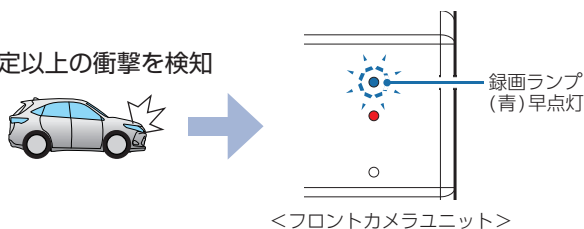
・最大記録ファイル数

付属のカメラユニット用SDカード(16GB)に32ファイルのイベント記録が可能です。SDカードの容量によって最大記録ファイル数は異なります。(P.202)

・上書きモード

初期値では上書きモードが「全て上書き」のため、記録ファイル数が32ファイルを超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(P.37)

一定以上の衝撃を検知



上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(P.152)

上書きモード	上限に達した場合の動作	
	常時録画 / 駐車監視録画	イベント記録 / 駐車監視イベント記録
上書き禁止	全ての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止
常時録画上書き※ ¹	常時録画/駐車監視録画ファイルのみ上書きします。	録画の停止
全て上書き※ ¹ (初期値)	全ての録画ファイルを上書きします。	録画の停止

※ 上書きはそれぞれの記録方法の古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。

※ 1：保護したファイルは、上書きされません。保護したファイルを削除する場合は、保護を解除してから削除するか、カメラユニット用SDカードをフォーマットしてください。(P.15)

■ 上書き禁止

録画ファイルが上限に達すると、録画を停止します。

例①：イベント記録/駐車監視イベント記録が最大記録ファイル数に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画/駐車監視録画が上限に達していなければ、常時録画を続けます。

例②：常時録画/駐車監視録画がカメラユニット用SDカード容量の上限に達すると、常時録画が停止します。

さらにイベント記録/駐車監視イベント記録も記録ファイル数にかかわらず記録を停止します。

※ イベント記録/駐車監視イベント記録は、常時録画/駐車監視録画を移動した録画ファイルです。

常時録画



イベント記録(回数)



※ 録画可能時間/イベント記録回数はカメラユニット用SDカードの容量により異なります。

※ 音はテロップ表示時に数秒鳴ります。

■ 常時録画上書き※1

常時録画/駐車監視録画は上限に達すると、保護していない古い常時録画/駐車監視録画ファイルを上書きし録画を続けます。
イベント記録/駐車監視イベント記録は最大記録ファイル数に達した時点で記録を停止します。



※ イベント記録回数はカメラユニット用SDカードの容量により異なります。
※ 音はテロップ表示時に数秒鳴ります。

■ 全て上書き(初期値)※1

録画ファイルが上限に達した場合、各記録方法の保護していない古い録画ファイルを上書きし、録画を続けます。

※ 1: 保護したファイルは、上書きされません。保護したファイルを削除する場合は、保護を解除してから削除するか、カメラユニット用SDカードをフォーマットしてください。

駐車監視録画について

車両のエンジンOFF後、自動で駐車記録用に録画コマ数を1コマ/秒に変更して録画を行う駐車監視録画があります。駐車時に録画を行いたい場合にご使用ください。

駐車監視録画には設定が必要になります。設定方法は、P.40「駐車監視録画する」を参照ください。

※ 駐車監視録画中は、録画コマ数が「1FPS(1コマ/秒)」に固定されます。そのため30分の映像が1ファイルになり、専用ソフトなどで再生すると早送りの映像になります。
※ 駐車監視録画中は、[.nmea ファイル(P.186)]が作成されないため、再生時に地図などは表示されません。
※ 駐車監視録画中は、ワンタッチ記録を行うことはできません。
※ Gセンサー記録が「OFF」、または駐車監視イベント記録が「OFF」では駐車監視イベント記録は行いません。(P.152)

■ 画面説明

※ 駐車監視録画が「ON」で車両のエンジンOFF時に下記の画面を表示します。



<駐車監視エリア内>

<駐車監視キャンセルエリア内>

No.	表示名	説 明
①	バッテリー電圧表示	車両バッテリーの電圧を表示します。 ※ 別売品のマルチバッテリー (OP-MB4000) 接続時は表示されません。
②	カウンタバー	[START] で駐車監視録画を開始します。 [OFF] で電源 OFF します。
③	駐車監視キャンセル エリア設定	タッチで駐車監視キャンセルエリアに登録され、半径 50m 以内 では駐車監視録画を行いません。
④	今回のみ駐車監視 キャンセルエリア	タッチで今回のみ駐車監視録画は行いません。
⑤	駐車監視キャンセル エリア解除	タッチで駐車監視キャンセルエリアを解除します。
⑥	今回のみ駐車監視 ON	タッチで今回のみ駐車監視録画を行います。

1. 駐車監視録画する

1-1 待受画面にタッチする



1-2 [設定]にタッチする



1-3 [外部機器]にタッチする



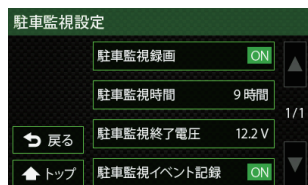
1-4 [DR]にタッチする



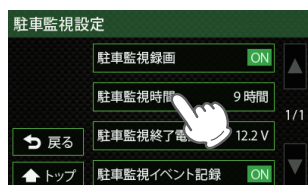
1-5 [駐車監視]にタッチする



1-6 [駐車監視録画]にタッチし、[ON]にする

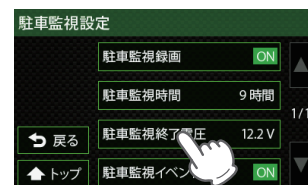


1-7 [駐車監視時間]にタッチする



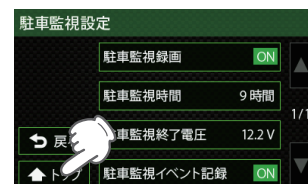
駐車監視を行う時間を設定します。
※ 駐車監視時間内であっても、駐車監視終了電圧の設定電圧以下になった場合は、電源OFFします。

1-8 [駐車監視終了電圧]にタッチする



駐車監視を終了する車両バッテリー電圧を設定します。
※ 別売品のマルチバッテリー (OP-MB4000) を接続した場合、駐車監視終了電圧は無効になり設定することはできません。

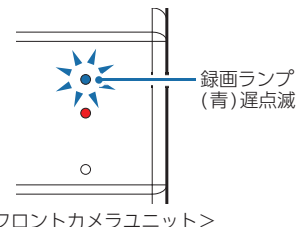
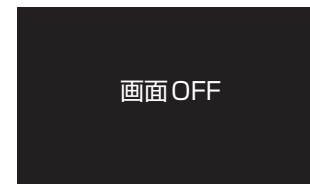
1-9 [トップ]にタッチする



1-10 車両のエンジンをOFFし、約10秒間無操作で待つ



※ 画面の詳細は P.39を参照ください。



駐車監視録画を開始します。
駐車監視録画はエンジン始動 (ACC ON)、または設定した時間や電圧まで行います。
※ 駐車監視録画の詳細は P.33「駐車監視録画」を参照ください。
※ 駐車監視録画を途中で止める場合は、ディスプレイユニット背面の電源スイッチをOFFしてください。電源OFFになります。

2. 駐車監視キャンセルエリアを登録/解除する

駐車監視録画を行わないエリアを登録できます。

※ 登録数は、駐車監視キャンセルエリア/マイエリア/アイキャンセル/マイキャンセルエリア/イベント記録地点の合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

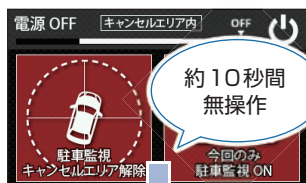
※ 駐車監視録画が「OFF」の場合、駐車監視キャンセルエリアを登録することはできません。(P.152)

駐車監視エリア内(登録する)

- 2-1** 車両のエンジンをOFFし、
[駐車監視キャンセルエリア
設定]にタッチする



- 2-2** 約10秒間無操作で待つ



画面OFF

駐車監視キャンセルエリアに登録され、画面を約10秒間表示して電源OFFになります。

キャンセルエリア内(解除する)

- 2-1** 車両のエンジンをOFFし、
[駐車監視キャンセルエリア
解除]にタッチする



- 2-2** 約10秒間無操作で待つ



画面OFF

駐車監視キャンセルエリアを解除し、画面を約10秒間表示して駐車監視録画を開始します。

・登録後は地図上にアイコンを表示します。

※ アイコン表示のみでお知らせは行いません。

※ 登録地点から半径50m以内では駐車監視録画は行いません。



・全ての駐車監視キャンセルエリアを消去する場合は、[設定]⇒[システム]⇒[消去]⇒[駐車監視キャンセルエリア]で行ってください。

DMS(ドライバーモニタリングシステム)について

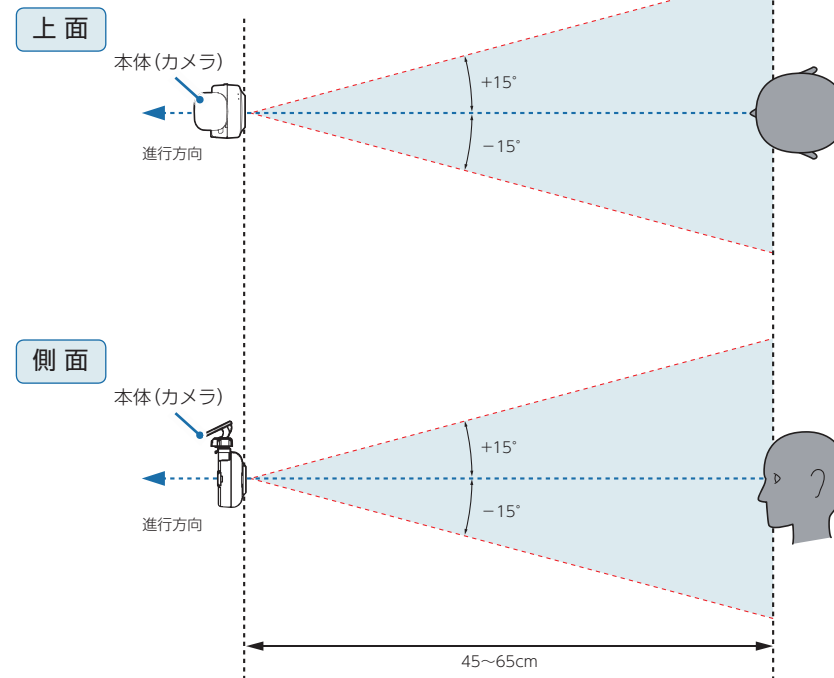
本機はドライバーモニタリング中(ステータスランプ：緑色)に、フロントガラスなどに設置した本体(カメラ)で撮影した映像を画像処理し、顔の向きとまぶたの開閉を検知し警告します。

※ レーダー探知機本体より警告を行います。自車の動作(自動ブレーキなど)とは連動しません。

⚠ 注意

- ・本機の機能を過信しないでください。すべての条件において検知、警告を保障するものではありません。
- ・疲れや眠気を感じたら休憩を取るようになしてください。

■ 顔検知範囲



以下の場合、正しく警報できない場合があります。

- ・日の出や日没の前後や顔が外光に照らされている場合。
- ・目を細めている場合。
- ・あくびをしたときや笑っているときなど、目が小さくなっている場合。
- ・近赤外線カットが強いメガネ、特殊なコーティングのメガネやサングラスをしている場合。
- ・カメラに結露がある場合。
- ・マスクや眼帯、髪の毛などで目、鼻、口のいずれかが常に隠れている場合。

1. キャリブレーション

キャリブレーションとは、表情の変化を正しく認識できるよう顔までの距離や目の位置などを調整する機能になります。一度キャリブレーションを行えば毎回行う必要はありません。下記の条件が発生した場合はキャリブレーションを行ってください。

- 本機を初めて取り付けた場合
- 本機の向きや取り付け位置を変えた場合
- 運転席のシートの位置を変えた場合
- 運転者が変わった場合

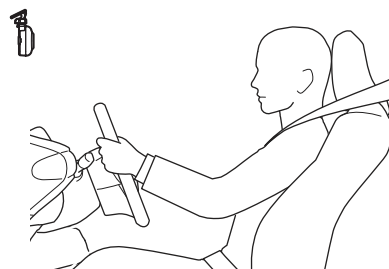
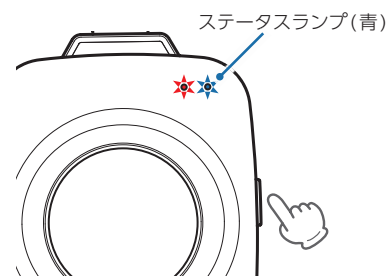
キャリブレーション 範囲	本体(カメラ)から見て 距離：45～65cm 範囲：左右±15° / 上下±15°
-----------------	---

※ キャリブレーションを行う際は、車両を停車させてから行ってください。

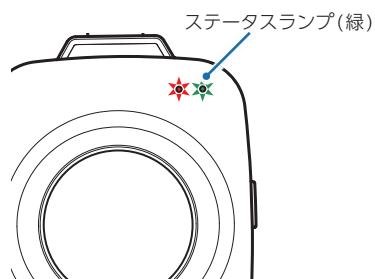
1-1 車両のエンジンをONする

車両のエンジンをONにすると連動して電源ONします。

1-2 キャリブレーションボタン を押し、運転姿勢をとる



- ※ キャリブレーション中はステータスランプが青色に点灯し、完了するとステータスランプが緑色に点灯します。
- ※ キャリブレーションに失敗した場合、ステータスランプが青色の点灯のまま再度キャリブレーションを行います。
- ※ 運転姿勢を保ち、本体(カメラ)ではなく進行方向を向いてください。
- ※ 本体(カメラ)に近づくと正しくキャリブレーションできない場合があります。
- ※ キャリブレーションが完了しない場合は、本体の角度があていない可能性があるため、角度の調整を行い、再度キャリブレーションを行ってください。



1-3 車両のエンジンをOFFする

車両のエンジンをOFFにすると連動して電源OFFします。

2. わき見警告

ドライバーモニタリング中(ステータスランプ：緑色)に、約3秒以上わき見を検知した場合に警告を行います。

- ※ 時速10km/h以下では警告しません。
- ※ 正面を向くと警告は止まります。
- ※ 誤動作が多いと感じた場合は本体の向きを調整し、再度キャリブレーションを行ってください。(P.44)
- ※ DMS設定のわき見検知が「OFF」の場合は、わき見警告は行いません。(初期値：ON)

■ わき見をした場合

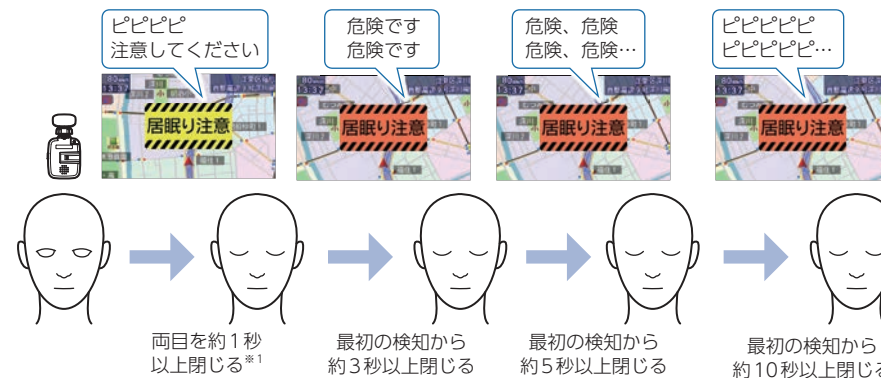


3. 居眠り警告

ドライバーモニタリング中(ステータスランプ：緑色)に、まぶたを閉じていること(両目を閉じる、目線を下に落とす)を検知した場合に警告を行います。

- ※ 時速10km/h以下では警告しません。
- ※ まぶたを開く(両目を1秒以上開ける)と警告は止まります
- ※ 誤動作が多いと感じた場合は本体の向きを調整し、再度キャリブレーションを行ってください。(P.44)
- ※ 片目だけ閉じた状態では警告しません。
- ※ DMS設定の居眠り検知が「OFF」の場合は、居眠り警告は行いません。(初期値：ON)

■ 居眠りをした場合(居眠り検知「ON(高)」)



取り付けについて

本機を使用する手順として「ディスプレイユニット取り付け」「カメラユニット取り付け」「アンテナユニット取り付け」「DMSユニット取り付け」「ジャンクションユニット取り付け」「電源コードの配線」の手順に従って説明します。

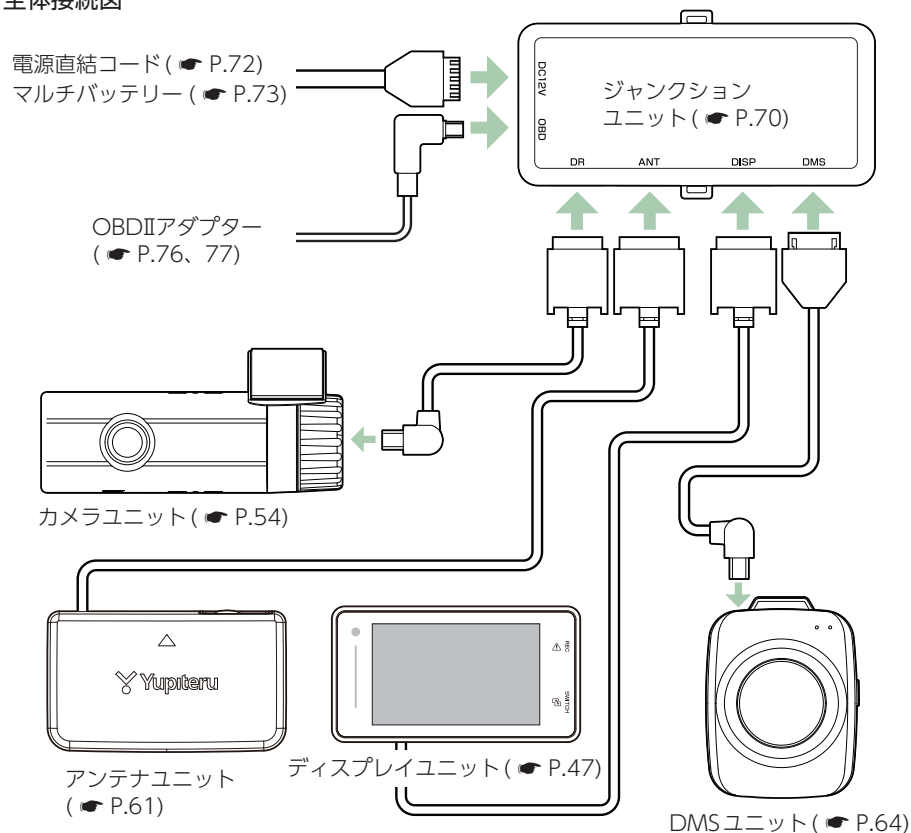
⚠ 注意

- ・接続は確実に行ってください。外れたコードが運転の妨げとなり、思わぬ事故の原因となります。コードの接続または、取り外しをする場合は、電源直結コードを取り外した状態で行ってください。
- ・別機種のディスプレイユニット、アンテナユニットなどは絶対に使用しないでください。必ず付属品をご使用ください。
- ・ジャンクションユニットに接続する際は、必ずコネクターの向きを確認して接続してください。
- ・上下逆や、斜めに接続したり、奥まで接続できていないと故障したり動作が不安定になることがあります。無理に接続しようとすると、破損や故障の原因となります。

※ 下図のようにそれぞれ正しく接続してください。

※ 必要に応じ市販品のコードクリップなどでコードを固定してください。

■ 全体接続図



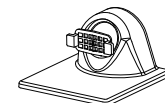
ディスプレイユニット取り付け

下記の4通りの取り付け方法があります。いずれかの方法で取り付けてください。

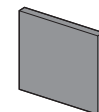
※ あらかじめ、ダッシュボードの取り付け面のホコリ・汚れをよく落とし、慎重に取り付けてください。

1. ダッシュボードに取り付ける ① (P.48)

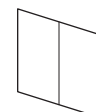
付属品



ダッシュボード取り付け用ブラケット



粘着マット

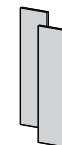


粘着シート

※ 必要に応じて (P.49)

2. ダッシュボードに取り付ける ② (P.51)

付属品

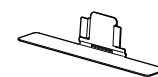


(70mm × 12mm)

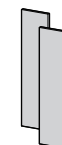
ディスプレイユニット用両面テープ

3. ダッシュボードに取り付ける ③ (P.52)

付属品



ダッシュボード取り付けステー

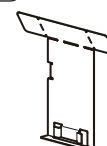


(70mm × 12mm)

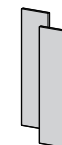
ディスプレイユニット用両面テープ

4. フロントガラスと天井のすき間に取り付ける (P.53)

付属品



宙吊り取り付けステー



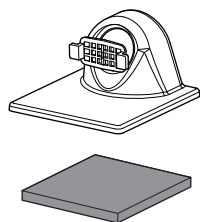
(70mm × 12mm)

ディスプレイユニット用両面テープ

⚠ 注意

- ・取り付けにより、車両に跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボード取り付け用ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。ディスプレイユニットやダッシュボード取り付け用ブラケット上部を持つと、破損の原因となります。
- ・両面テープの貼り直しは、しないでください。粘着力が弱くなり、ディスプレイユニットをしっかり固定できなくなります。
- ・水がかかったり、温度差が激しい場所(エアコンの吹き出し口付近など)には、取り付けないでください。
- ・ディスプレイユニット用両面テープは、宙づり取り付けステーやダッシュボード取り付けステーと兼用になっています。貼り直すと粘着力が低下しますので、取り付け方法を変更する場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。
- ・水がかかったり、温度差が激しい場所(エアコンの吹き出し口付近など)には、取り付けないでください。
- ・本体あるいはコードが、ドアの開閉部などに当たったりはされないようにしてください。

1. ダッシュボードに取り付ける ①

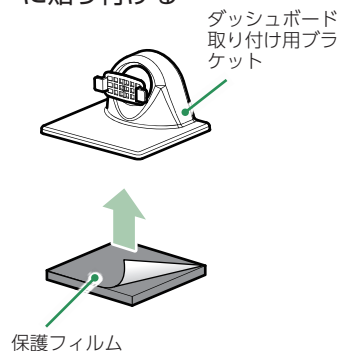


ダッシュボード取り付け用ブラケット[特許 第6078725号]
自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットです。

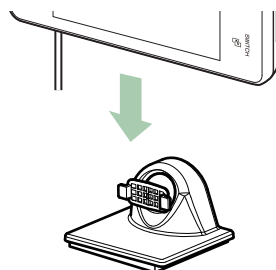
粘着マット

国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。

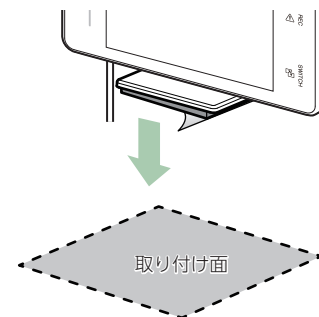
1-1 保護フィルムを片面だけをはがし、粘着マットをブラケットに貼り付ける



1-2 ディスプレイユニットの溝をブラケットに合わせ取り付ける



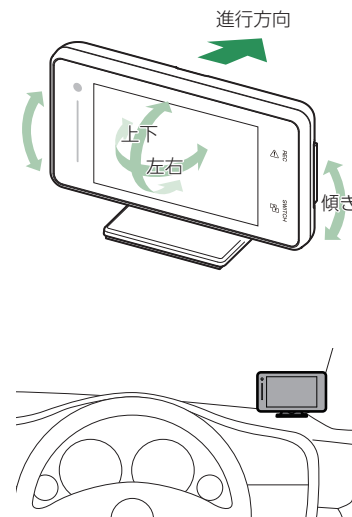
1-3 残りの保護フィルムをはがしダッシュボードの取り付け面に貼り付ける



画面が見やすい位置に取り付けてください。

粘着マットは水洗いできます
ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。

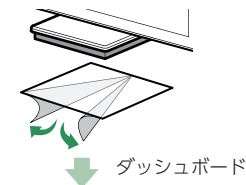
1-4 本体の向きを調整する



1-5 ジャンクションユニットと接続する(P.46)

粘着シート[特許 第5958927号]

粘着マットで安定した取り付けができない場合は、付属の粘着シートを使用します。ダッシュボードに粘着シートを貼り付けた上に粘着マットを貼り付けます。粘着シートは、はがして再度貼り付けることができます。それでも安定した取り付けができない場合は市販品の強力型両面テープ(厚さ2mm以上)を使用し取り付けてください。



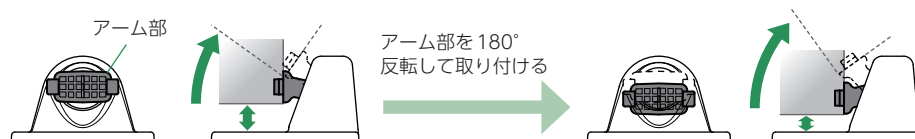
⚠ 注意

本体取り付け時の振動によるブレ防止のため、アーム部は固くなっています。けがやブラケットの破損に十分気をつけて行ってください。アーム部を取り外した際は、紛失に注意してください。

■ ダッシュボード取り付け用ブラケットの調整

ダッシュボード取り付け用ブラケットは、アーム部の取り付け向きを180度変えることで、本機の取り付け高さを抑えることができます。

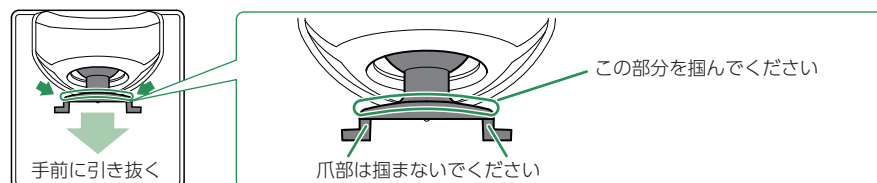
アームの向きを変えると、本機を起こす方向は、より広い取り付け角度に対応することができますが、左右に倒す方向の取り付け角度は狭くなります。ダッシュボードの取り付け面の角度に応じて調整してください。



■ アーム部取り外し

アーム部ツバの部分に布などで保護し、手前に引き抜きます。ラジオペンチなどを使用すると、簡単に抜けます。爪部をつかむと爪が折れる場合があります。

※ 必ず布などのやわらかいもので保護してください。



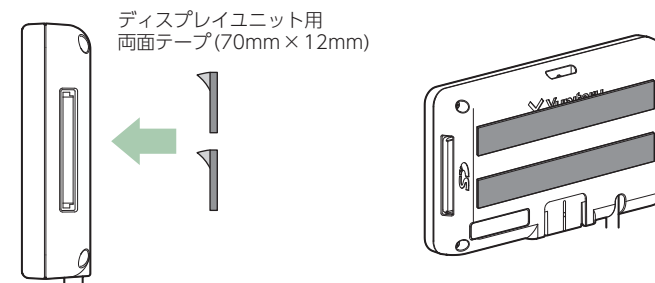
■ アーム部取り付け

アーム部を180°反転し、アーム部の中央をブラケットの穴に向かって、まっすぐに押し込んでください。

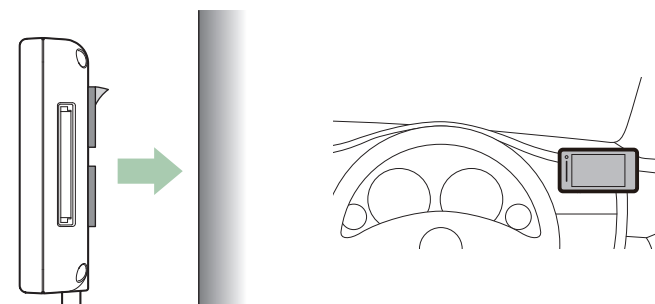


2. ダッシュボードに取り付ける ②

2-1 両面テープの保護フィルムを片側だけをはがし、ディスプレイユニットの背面に貼り付ける



2-2 残りの保護フィルムをはがし、取り付け面に貼り付ける



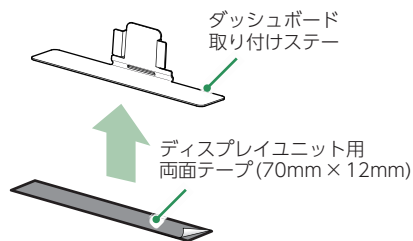
画面が見やすい位置に取り付けてください。

※ 取り付けたあと、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

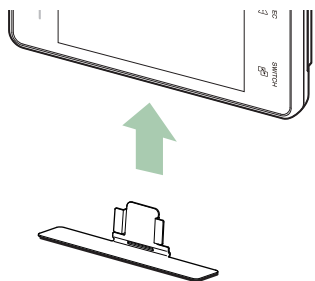
2-3 ジャンクションユニットと接続する (P.46)

3. ダッシュボードに取り付ける ③

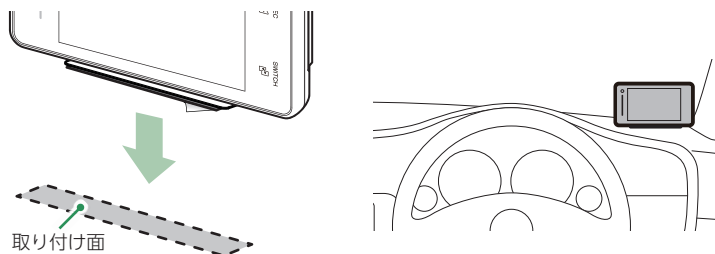
3-1 両面テープの保護フィルムを片側だけのはがし、ダッシュボード取り付けステーの底面に貼り付ける



3-2 ディスプレイユニットの溝をステーに合わせ取り付ける



3-3 残りの保護フィルムをはがし、ダッシュボードの取り付け面に貼り付ける



画面が見やすい位置に取り付けてください。

※ 取り付けたあと、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

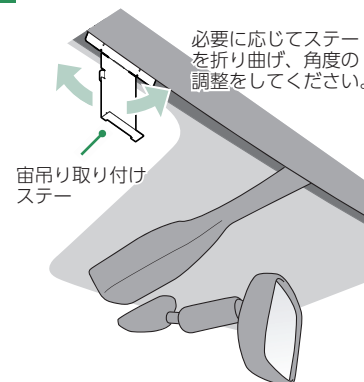
3-4 ジャンクションユニットと接続する(☛ P.46)

4. フロントガラスと天井のすき間に取り付ける

⚠ 注意

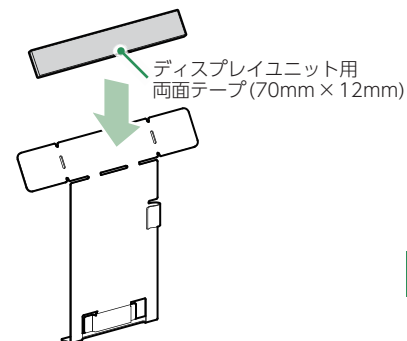
- ・ステアーを折り曲げるときは、いったん本体から外して調整してください。そのまま折り曲げると、本機の故障の原因となります。
- ・突起部分などで指がなさらぬよう、細心の注意をはらってゆっくりと折り曲げてください。
- ・折れてしまうことがあるので、ステアーは繰り返し折り曲げないでください。
- ・記載以外の取り付け方法は、保安基準に適合しない場合があります。フロントガラスと天井のすき間に取り付ける場合は、記載の取り付けを確実に行ってください。
- ・運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。

4-1 取り付け場所を確認する

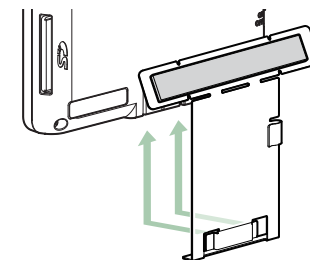


必要に応じてステアーを折り曲げ、角度の調整をしてください。

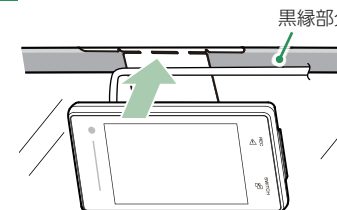
4-2 両面テープの保護フィルムを片側だけのはがし、ステーに貼り付ける



4-3 ディスプレイユニットの溝をステーに合わせ取り付ける



4-4 確認した位置へ貼り付ける



残りの保護フィルムをはがし、貼り付けてください。

※ 取り付けたあと、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

ガラス面(透明部分)には貼り付けないでください。保安基準に適合しなくなり処罰の対象となります。

4-5 ジャンクションユニットと接続する(☛ P.46)

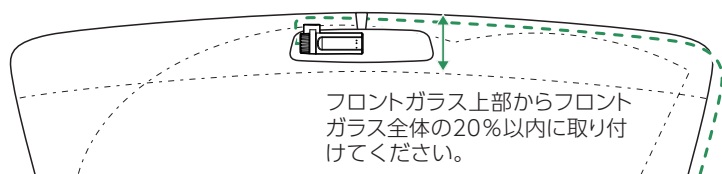
カメラユニット取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、カメラユニットを車両に取り付けてください。

取り付けの注意

■ フロントカメラユニット

- ・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- ・本機の周囲に物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
- ・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。



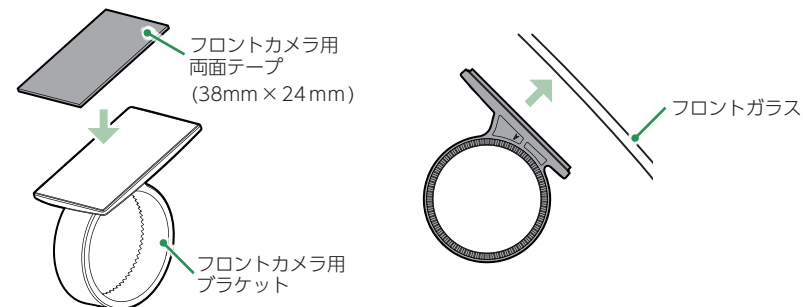
■ リアカメラユニット

- ・リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアカメラユニットはリアトレイなどに取付けてください。
- ・リアガラスにプライバシーガラスやフィルムを貼られている車両は、夜間や暗い場所では記録映像が見えづらくなる場合があります。
- ・ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見えづらくなる場合があります。
- ・リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。
- ・ラジオアンテナ付近にリアカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。

1. フロントカメラユニットを取り付ける

あらかじめ、フロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

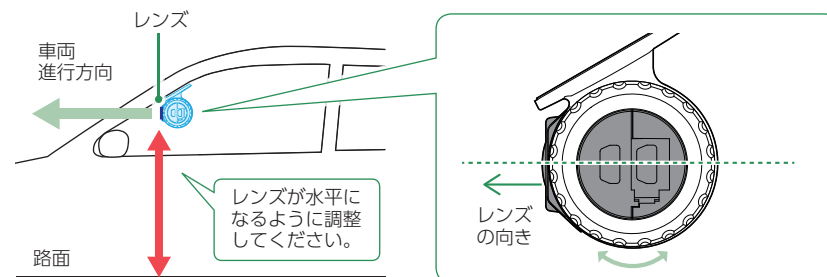
1-1 フロントカメラ用ブラケットに付属の両面テープを貼り付け、フロントガラスに取り付ける



■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をフロント/リアガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障や両面テープはがれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼り直しはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
- ・固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

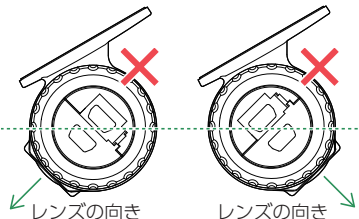
1-2 フロントカメラ用ブラケットにフロントカメラユニットを装着し、レンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整する



※カメラレンズに触れないように調整してください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。

レンズの向きが車両進行方向と水平でない場合、Gセンサー記録が誤って動作することがあります。

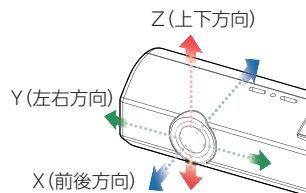
※正しくGセンサー記録を動作させるには、必ずレンズの向きが、車両進行方向と水平になるように調整してください



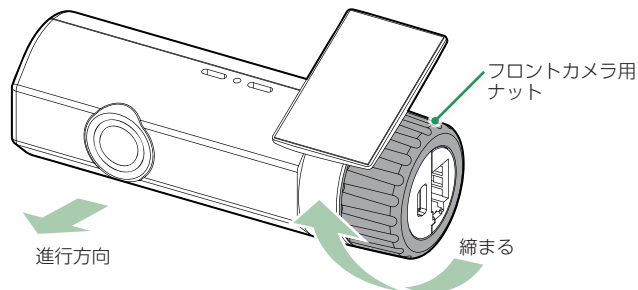
Gセンサー感度について

Gセンサー感度は右図の3方向(XYZ)で設定します。

設定範囲は0.5 G (敏感) ~ 4.0 G (鈍感) の0.1 G単位で設定できます。(P.152)



1-3 フロントカメラ用ナットを締めて固定する



※ 確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。

2. リアカメラユニットを取り付ける

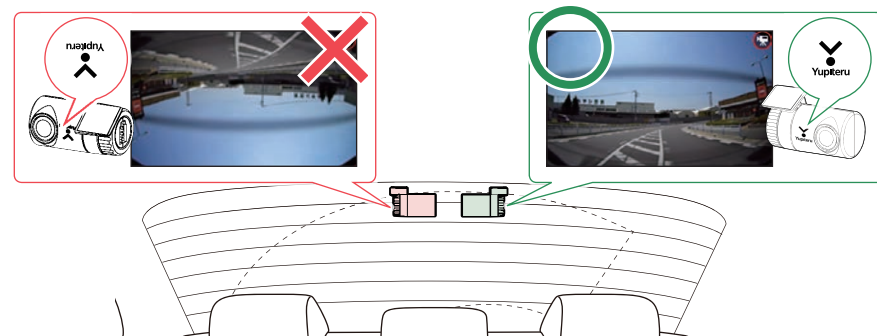
あらかじめ、リアガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

※ リアカメラユニットを接続しなくても、フロントカメラユニットのみで録画をすることができます。必要に応じてご使用ください。

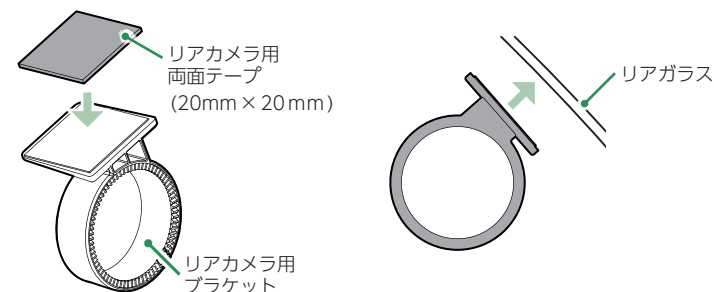
※ ライブビューのリアカメラ映像は左右反転できます。ただし、ライブビューの表示のみに反映され、記録映像は全て正像になります。(P.153「リア映像左右反転」)

注意

付属の両面テープで取り付ける前にディスプレイユニットで映像の確認をしてください。誤った方法で取り付けした場合、映像が反転します。



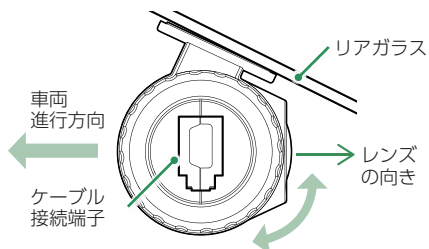
2-1 リアカメラ用ブラケットに付属の両面テープを貼り付け、リアガラスに取り付ける



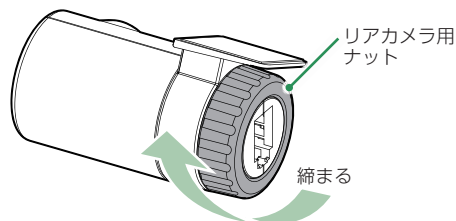
※ 両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

2-2 リアカメラ用ブラケットにリアカメラユニットを装着し、レンズの向きを調整する

例：車外を撮影する場合



2-3 リアカメラ用ナットを締めて固定する



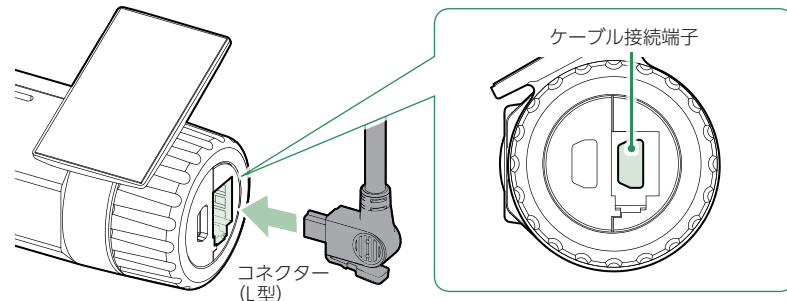
※ 確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。

3. リアカメラケーブルを接続する

※ リアカメラケーブルのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

※ リアカメラユニットを接続しない場合は、リアカメラケーブルの接続は必要ありません。

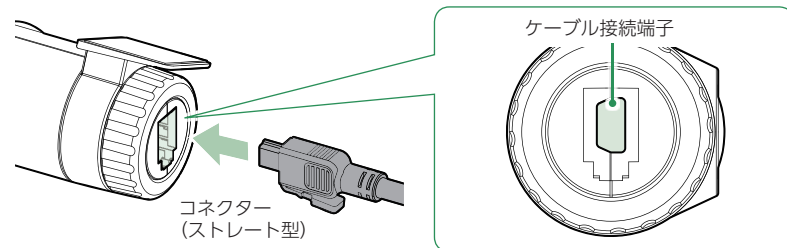
3-1 フロントカメラユニットにリアカメラケーブルを接続する



付属のリアカメラケーブルをフロントカメラユニットのケーブル接続端子へ接続します。

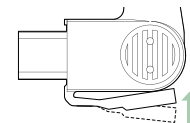
3-2 リアカメラケーブルをリアカメラユニットまで配線する

3-3 リアカメラユニットにリアカメラケーブルを接続する



付属のリアカメラケーブルをリアカメラユニットのケーブル接続端子へ接続します。

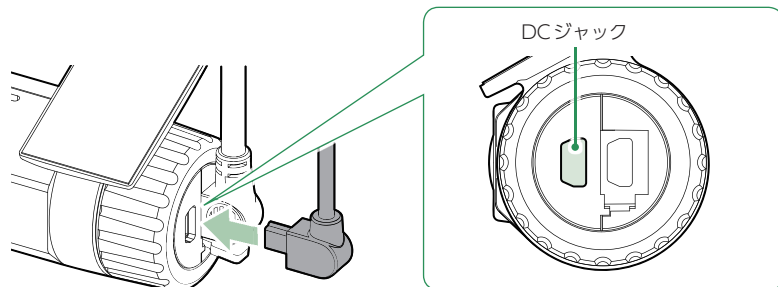
リアカメラケーブルを取り外す場合は、コネクター下部を押しながらかいてください。



4. カメラユニットケーブルを接続する

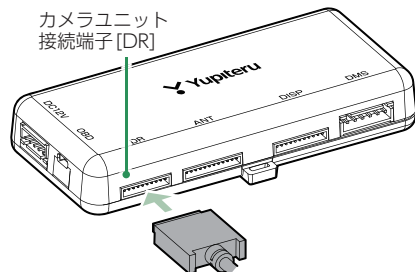
※ カメラユニットケーブルのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

4-1 フロントカメラユニットにカメラユニットケーブルを接続する



付属のカメラユニットケーブルをフロントカメラユニットのDCジャックへ接続します。

4-2 ジャンクションユニットにカメラユニットケーブルを接続する



4-3 市販品のタイラップ(結束バンド)や両面テープなどを使い、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

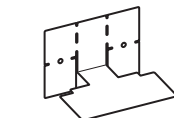
アンテナユニット取り付け

下記の2通りの取り付け方法があります。いずれかの方法で取り付けてください。

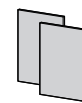
※ あらかじめ、取り付ける箇所の汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

1. 純正ルームミラーに取り付ける (P.62)

付属品



アンテナ用取り付け
ステー

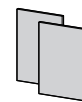


(35mm × 25mm)

アンテナ・ジャンクションユニット
用両面テープ

2. ダッシュボードに取り付ける (P.63)

付属品



(35mm × 25mm)

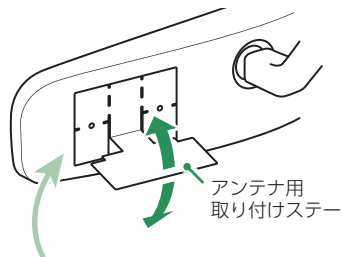
アンテナ・ジャンクションユニット
用両面テープ

⚠ 注意

- ・アンテナユニットは、GPS衛星からの電波やレーダー波/レーザー光を受信しやすくするため、障害物や遮へい物の無い視界の良い場所で道路に対して水平且つ矢印(▲)が進行方向を向くようにして取り付けてください。
- ・両面テープは貼り直すと粘着力が低下しますので、取り付け位置などを変更する場合は同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。
- ・両面テープを貼る場所のチリや汚れ、油脂分をよく落とし、慎重に貼ってください。貼り直しはテープの接着力を弱め、脱落の恐れがあります。
- ・アンテナあるいはコードが、ドアの開閉部などにあたったり、はさまれないようにしてください。
- ・取り付けにより、車両・内装部品に跡が残ったり、変色や変形を生じる場合があります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・貼り付けた場所から外す場合は、無理にはがさず、慎重に行ってください。アンテナやダッシュボード、ルーフなどの破損の原因となります。
- ・ステーを折り曲げるときは、いったん本体から外して調整してください。そのまま折り曲げると、本機の故障の原因となります。
- ・なるべく凹凸の少ない場所に取り付けてください。接着面が少ないと、脱落の恐れがあります。
- ・突起部分などでけがをなさぬよう、細心の注意をはらってゆっくりと折り曲げてください。
- ・折れてしまうことがあるので、ステーは繰り返し折り曲げないでください。

1. 純正ルームミラーに取り付ける

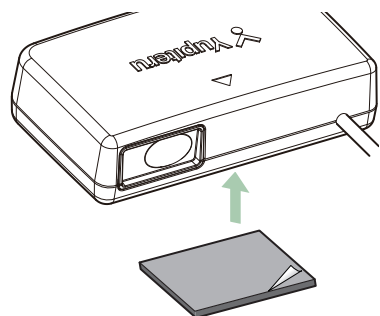
1-1 取り付け場所を確認する



あらかじめ純正ルームミラーの角度と貼り付け場所を決めておき、アンテナができるだけ道路に対して水平になるようステーを折り曲げて、角度の調整をしてください。

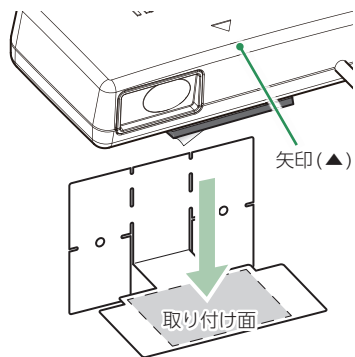
※ ステーの両面テープの保護フィルムは、はがさずに仮であてがってください。

1-2 両面テープの保護フィルムを片面だけをはがし、アンテナの底面に貼り付ける



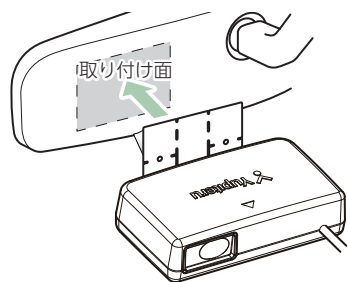
アンテナ・ジャンクションユニット用両面テープ(35mm x 25mm)

1-3 残りの保護フィルムをはがしステーに貼り付ける



ステーを純正ルームミラーに取り付けた時に、アンテナの矢印(▲)が進行方向(前方)に向くように貼り付けてください。

1-4 残りの保護フィルムをはがし純正ルームミラーに貼り付ける

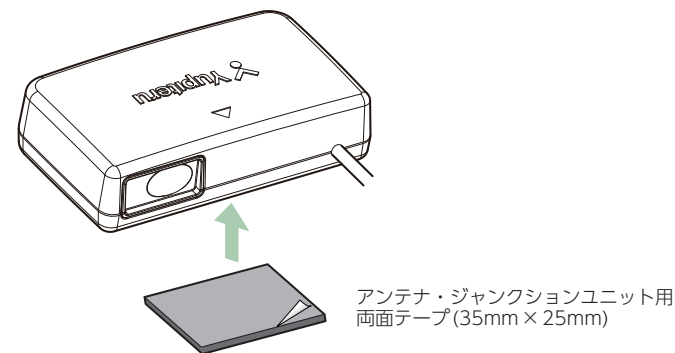


※ 取り付けたあと、はがすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

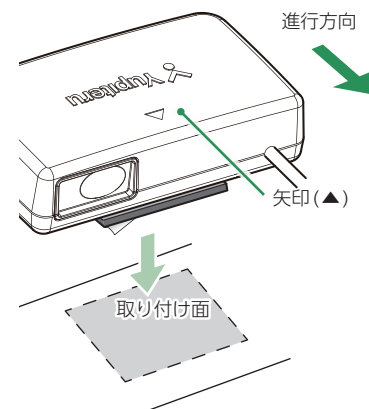
1-5 ジャンクションユニットと接続する (● P.46)

2. ダッシュボードに取り付ける

2-1 両面テープの保護フィルムを片側だけをはがし、アンテナ底面に貼り付ける



2-2 残りの保護フィルムをはがし、取り付け面に貼り付ける



アンテナが道路に対して水平に、また矢印(▲)が車両進行方向を向くように、取り付けてください。

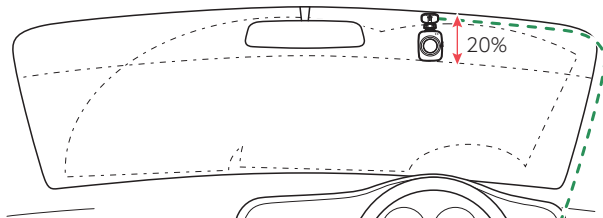
2-3 ジャンクションユニットと接続する (● P.46)

DMSユニット(わき見・居眠り運転警報器)取り付け

※ DMSユニットを接続しなくても、本機は使用することができます。必要に応じてご使用ください。

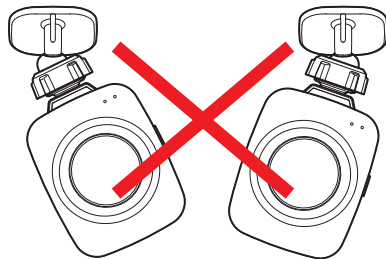
取り付けの注意

- ① DMS フロントガラス取り付け用ブラケットで取り付ける場合は、本フロントガラスの上部 20% の範囲内に取り付けてください。



- ② 本機は運転者の顔に対して正面に取り付けてください。
※ 運転者の顔に対して正面に取り付けない場合は正しく警告しない場合があります。
- ③ 運転者の顔と本機の距離が顔検知範囲内(45 ~ 65cm)になるように取り付けてください。
- ④ 運転者の顔と本機の距離が65cmを超える場合は付属のルームミラー取り付け用ブラケットを使用してください。
※ 運転者から見て左側へのわき見が警告されにくくなり、右側へのわき見が警告されやすくなります。
- ⑤ 取り付け角度が水平であること。(右図参照)

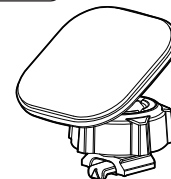
- ・両面テープは所定の位置にしっかりと取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- ・本機の周囲に物を配置しないでください。動作に影響を受ける場合があります。
- ・ルームミラーに取り付けるとサンバイザーが使用できない場合があります。
- ・ルームミラーに取り付ける際は、しっかりと装着されていることを確認のうえ、走行してください。
- ・本機は純正ルームミラーに取り付けるため、振動によりミラーが振れてしまうことやミラー自体が傾いてしまう場合があります。
- ・取り付け前に、取り付け位置で接続ケーブルが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。
- ・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両の取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。



下記の2通りの取り付け方法があります。いずれかの方法で取り付けてください。
※ あらかじめ、取り付ける箇所の汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

1. フロントガラスに取り付ける (P.66)

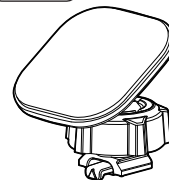
付属品



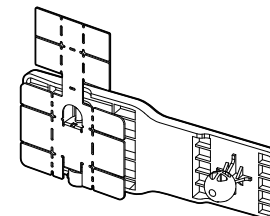
DMS フロントガラス
取り付け用ブラケット

2. 純正ルームミラーに取り付ける (P.67)

付属品



DMS フロントガラス
取り付け用ブラケット
※ ボールジョイントと
ナットのみ使用します。



DMS ルームミラー取り付け用
ブラケット



六角レンチ

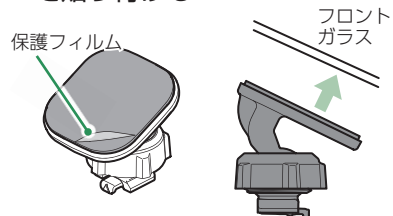
「1. フロントガラスに取り付ける」または「2. 純正ルームミラーに取り付ける」で取り付けたあとで「3. DMS 通信ケーブルを接続する (P.69)」を行ってください。

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器 (アンテナ等含む) などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

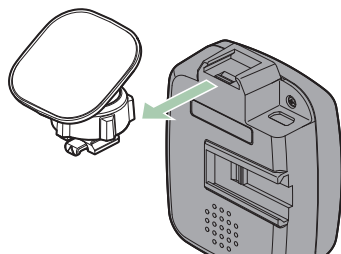
1. フロントガラスに取り付ける

1-1 フロントガラスにブラケットを貼り付ける



両面テープの保護フィルムをはがし、フロントガラスに貼り付けます。

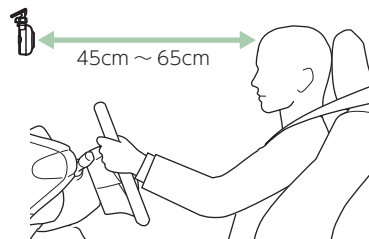
1-2 ブラケットに本体を取り付ける



フロントガラス取り付け用ジョイントレールをスライドさせ取り付けます。

- ※ 奥までスライドさせ、軽く引っ張り本体が外れないことを確認してください。走行中に落下する恐れがあります。
- ※ カメラに触れないように取り付けてください。カメラに触れるとカメラが曇りキャリブレーションできなくなる恐れがあります。

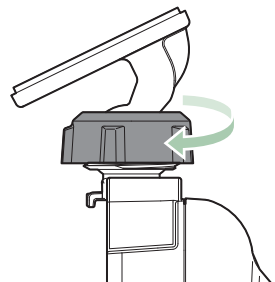
1-3 本体の向きを調整する



運転姿勢で、本体(カメラ)が運転者の顔(両目)の中心を向くように本体の向きを調整します。

※ 向きの調整は本体ではなくブラケットで行ってください。本体で調整すると、両面テープのはがれや、本体が破損することがあります。

1-4 ナットを締めて固定する

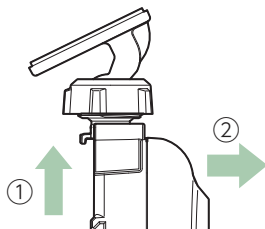


- ※ 確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。
- ※ ナットを締める場合は、本体を回さずにナットを締めてください。ブラケットのジョイント部に無理な力が掛かり破損する恐れがあります。

1-5 DMS通信ケーブルを接続する (P.69)

■取り外し方法

- ① ブラケットのロック解除レバーを持ち上げる
- ② 本体を矢印の方向へスライドさせる

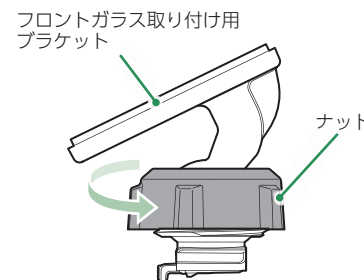


2. 純正ルームミラーに取り付ける

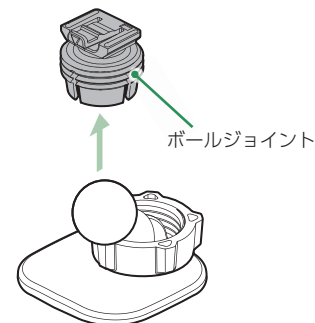
⚠ 注意

- ・ルームミラー取り付け用ステーを貼り付けた場所からはがす場合は、無理にはがさず慎重に行ってください。本機や車両の破損の原因となります。
- ・ステーを曲げるときなど、突起部分などでけがをしないよう、細心の注意をはらってゆっくりと折り曲げてください。
- ・折れてしまうことがあるので、ステーは繰り返し折り曲げないでください。
- ・本取り付け方法は、純正ルームミラーに直接取り付けするため、振動によりミラーが振れてしまうことや、ルームミラー自体が傾いてしまう場合があります。
- ・ルームミラー取り付け用ブラケットがしっかりと貼り付けられていることを確認のうえ、ご使用ください。
- ・ルームミラーに取り付けることにより、サンバイザーが使用できない場合があります。
- ・ルームミラーへの取り付けは右ハンドル車のみに対応しています。あらかじめご了承ください。

2-1 ブラケットのナットを緩め、ナットを外す

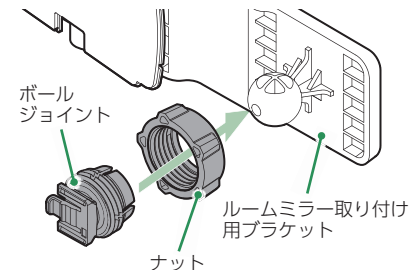


2-2 ボールジョイントを外す

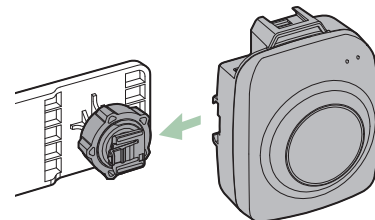


※ ボールジョイントを外す際、突起部に注意して取り外してください。

2-3 ブラケットにナットとボールジョイントを取り付ける



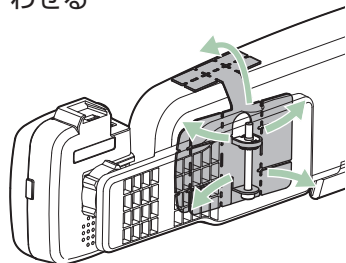
2-4 ボールジョイントに本体を取り付ける



ルームミラー取り付け用ジョイントレールをスライドさせ取り付けます。

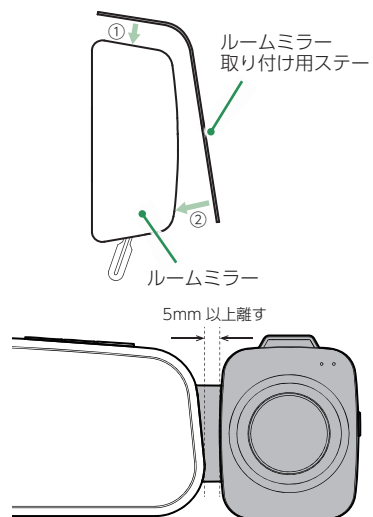
- ※ 奥までスライドさせ、軽く引っ張り本体が外れないことを確認してください。走行中に落下する恐れがあります。
- ※ カメラに触れないように取り付けてください。カメラに触れるとカメラが曇りキャリブレーションできなくなる恐れがあります。

2-5 ルームミラー取り付け用ブラケットをミラー背面形状に合わせる



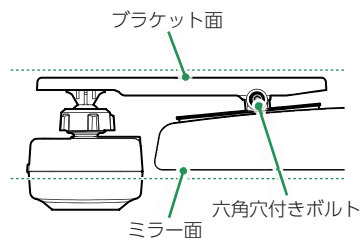
※ 保護フィルムをはがさないでミラー背面の形状に合わせてください。

2-6 両面テープの保護フィルムをはがし、ミラーに貼り付ける



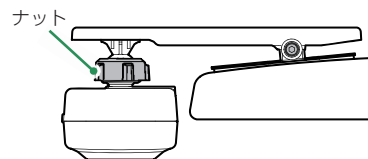
ルームミラー取り付け用ブラケットは上面①から貼り付けてください。
※ 本体とルームミラーの干渉を避けるため、必ず5mm以上離して取り付けてください。

2-7 ブラケットを六角レンチで締めて固定する



ルームミラーのミラー面と、ブラケットの面が平行になるように調整し、付属の六角レンチで六角穴つきボルトを締めて固定します。

2-8 本機の向きを調整し、ナットを締めて固定する



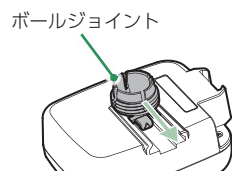
ナットを緩め、本機の向きを調整し、ナットを締めて固定します。

※ 確実にナットを締めて固定してください。走行中に落下する恐れがあります。
※ ナットを締める場合は、本体を回さずにナットを締めてください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり破損する恐れがあります。

2-9 DMS通信ケーブルを接続する (P.69)

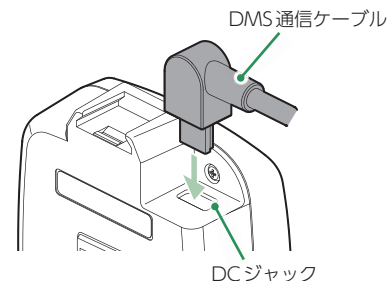
■ 取り外し方法

- ① ナットを緩め、本体とルームミラー取り付け用ブラケットを分解する
- ② ボールジョイントをジョイントレール方向に強く押すと外れます



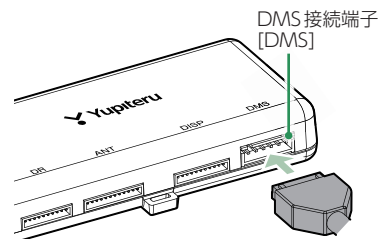
3. DMS通信ケーブルを接続する

3-1 通信ケーブルを接続する



DMSユニットのDCジャックにDMS通信ケーブルを接続します。

3-2 ジャンクションユニットに接続する



ジャンクションユニットのDMSユニット接続端子[DMS]コネクタに接続します。

電源コードを配線後にキャリブレーションを行ってください。(P.44)

ジャンクションユニット取り付け

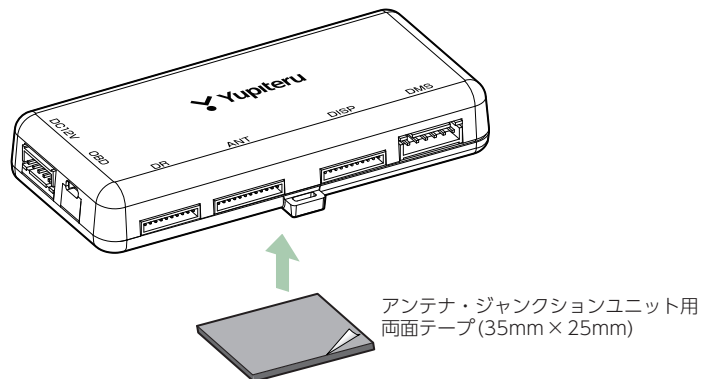
※ あらかじめ、取り付ける箇所の汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

⚠ 注意

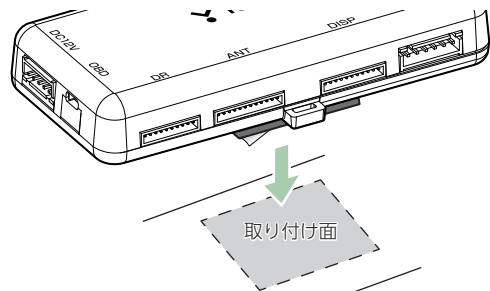
- ・両面テープは貼り直すと粘着力が低下しますので、取り付け位置などを変更する場合は同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。
- ・両面テープを貼る場所のチリや汚れ、油脂分をよく落とし、油分を落とすあと、慎重に貼ってください。貼り直しはテープの接着力を弱め、脱落の恐れがあります
- ・ジャンクションユニットおよびコードが、ドアの開閉部などにあたったり、はさまれないようにしてください。
- ・取り付けにより、車両・内装部品に跡が残ったり、変色や変形を生じる場合があります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・貼り付けた場所から外す場合は、無理にはがさず、慎重に行ってください。ジャンクションユニットおよび貼り付け場所などの破損の原因になります。

1. 車両に取り付ける

1-1 アンテナ・ジャンクションユニット用両面テープの保護フィルムを片側だけはがし、ジャンクションユニットの底面に貼り付ける



1-2 残りの保護フィルムをはがし、取り付け面に貼り付ける

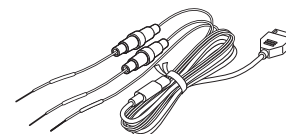


電源コードの配線

下記の4通りの配線方法があります。いずれかの方法で配線してください。

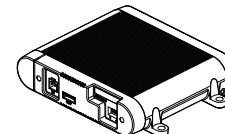
1. 電源直結コードによる配線 (P.72) 2. マルチバッテリーによる配線 (P.73)

付属品



電源直結コード

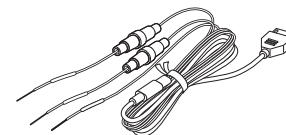
別売品



マルチバッテリー

3. 電源直結コードとOBDIIアダプターによる配線 (P.76)

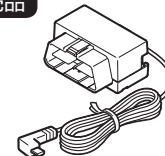
付属品



電源直結コード



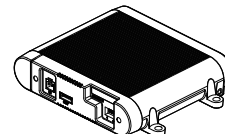
別売品



OBDIIアダプター※1

4. マルチバッテリーとOBDIIアダプターによる配線 (P.77)

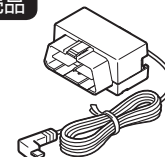
別売品



マルチバッテリー



別売品



OBDIIアダプター※1

※ 1：OBDIIアダプター単体で接続した場合、駐車監視録画を行うことができません。駐車監視録画を行う場合は「3. 電源直結コードとOBDIIアダプターによる配線」または「4. マルチバッテリーとOBDIIアダプターによる配線」で接続してください。

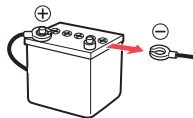
⚠ 注意

- ・特定の配線経路はありませんが、運転中の視界や操作の邪魔になったり、ドアやペダルなどの可動部に本機やコードが挟み込まれたり、当たったりしないようにしてください。
- ・コードが長くても、切って短くしないでください。
- ・OBDIIアダプター使用時、車種によっては画面に表示できない情報があります。詳細については、販売店の店頭や弊社ホームページでOBDIIアダプター適応表をご確認ください。
- ・OBDIIアダプターには、適応表が指定されています。販売店の店頭や弊社ホームページでOBDIIアダプター適応表をご確認いただいたからお求めください。

1. 電源直結コードによる配線

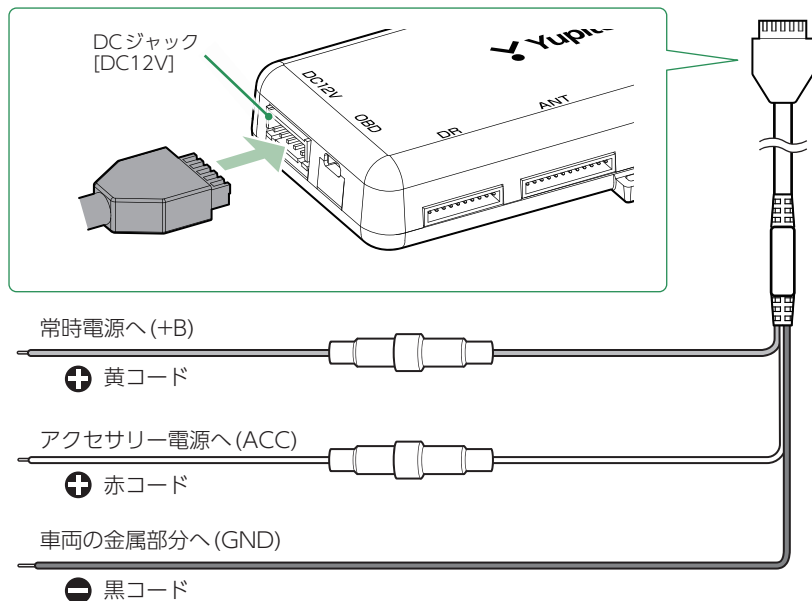
⚠ 警告

- 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。



1-1 電源直結コードを接続する

黄コードは、必ず車両のエンジンON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される常時電源に接続し、赤コードは必ずエンジンキーと連動してON/OFFする車両のアクセサリ電源に接続してください。



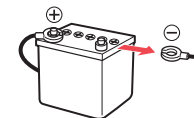
付属の電源直結コードをジャンクションユニットのDCジャックと車両へ接続します。

- ※ 電源はDC12V(マイナスアース)車専用です。24V車ではご使用いただけません。
- ※ 電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

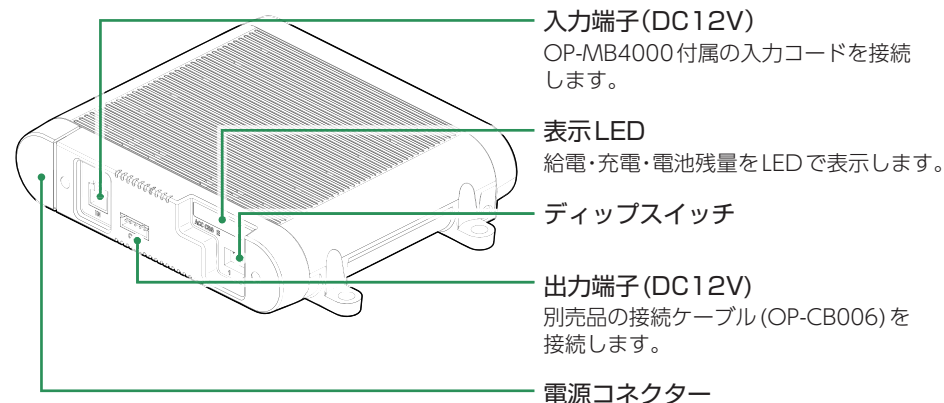
2. マルチバッテリー (OP-MB4000) による配線

⚠ 警告

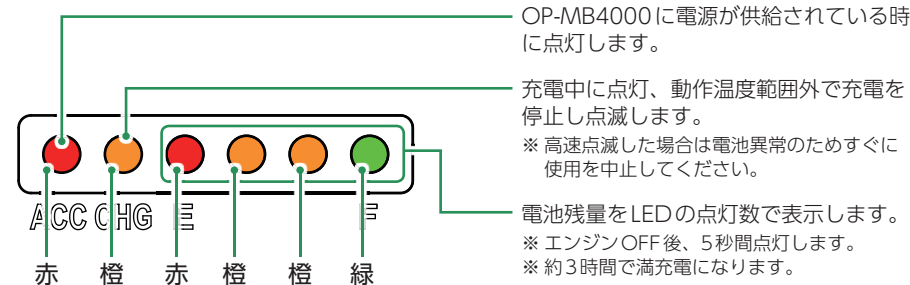
- 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。



■ OP-MB4000



■ 表示LEDについて



⚠ 注意

- OP-MB4000を3ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクターを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。
- ※ 電源コネクターを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。

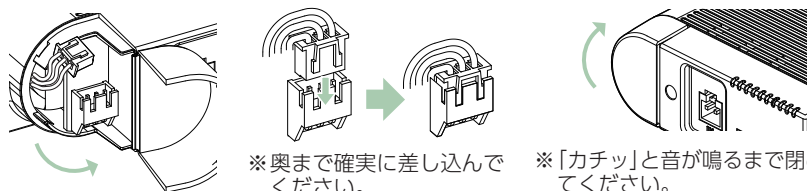
■ OP-MB4000 接続時に必要なもの

① OP-MB4000 ② OP-MB4000 付属入力コード ③ 接続ケーブル (OP-CB006)

※ 付属の出力ケーブル、Z830DR 付属の電源直結コードは使用しません。

2-1 電源コネクタを接続する

① カバーを開ける ② 電源コネクタを接続する ③ カバーを閉じる

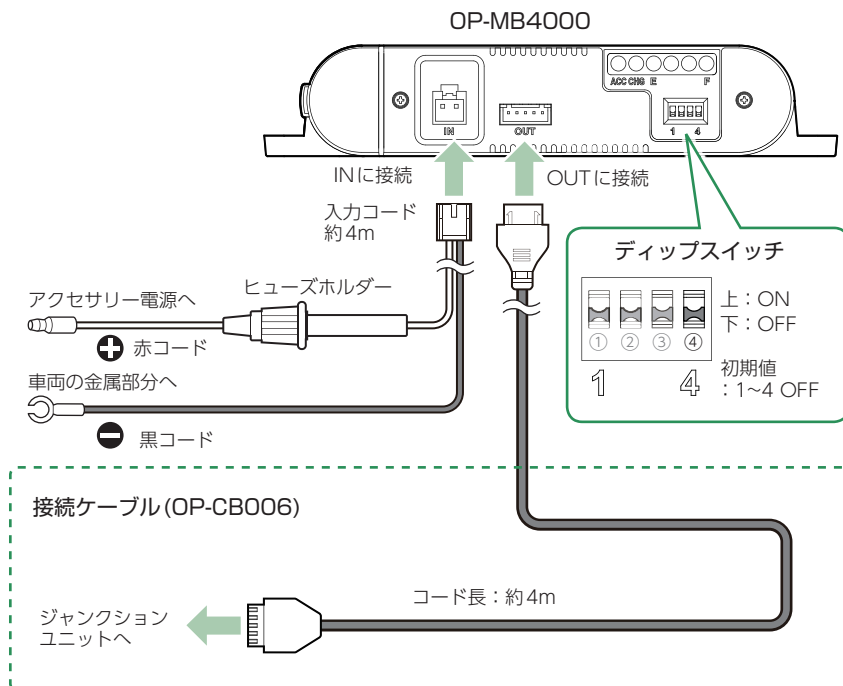


※ 奥まで確実に差し込んでください。

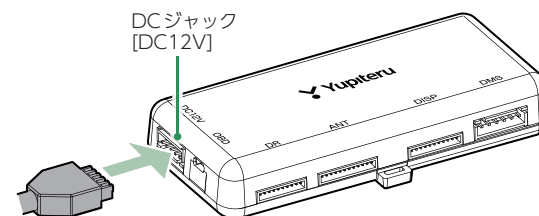
※ 「カチッ」と音が鳴るまで閉めてください。

2-2 OP-MB4000 を車両に接続する

- ・入力コードの赤コードは、必ずエンジンキーと連動して ON/OFF する車両のアクセサリー電源に接続してください。
- ・接続ケーブル (OP-CB006) で接続する場合は、必ずディップスイッチ 4 は「OFF (下)」にしてください。「ON (上)」にすると正常に動作できません。



2-3 接続ケーブルを接続する



別売品の接続ケーブル (OP-CB006) をジャンクションユニットの DC ジャックへ接続します。

※ 接続ケーブルのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2-4 駐車監視録画の設定をする (P.40)

2-5 OP-MB4000 付属の面ファスナーや市販品のタイラップなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器 (アンテナ等含む) などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
- ・ディップスイッチの操作ができない場所

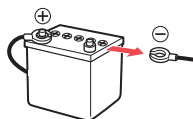
取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

3. 電源直結コードとOBDIIアダプターによる配線

OBDIIアダプターのディップスイッチの設定が必要です。ディップスイッチの設定方法は、OBDIIアダプターの取扱説明書をご確認ください。また、OBD対応車種については、店頭もしくは弊社ホームページより最新のOBD適応表を必ずご確認ください。

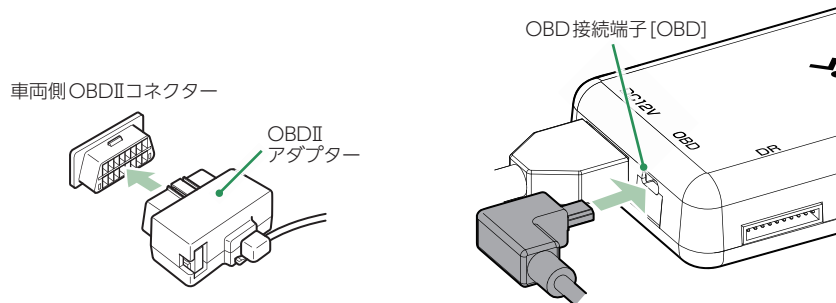
⚠ 警告

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。



3-1 電源直結コードを接続する (P.72)

3-2 OBDIIアダプターを接続する

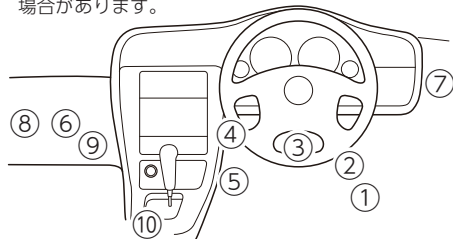


別売品のOBDIIアダプターをジャンクションユニットのOBD接続端子と車両のOBDIIコネクタに接続してください。

※ OBDIIアダプターのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

■ OBDIIアダプター設置箇所

※ カバーやコンソールなどの内側になっている場合があります。



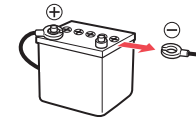
- ① アクセルペダル脇
- ② 運転席足元右側
- ③ 運転席足元中央
- ④ 運転席足元左側
- ⑤ センターコンソール右側
- ⑥ 助手席足元右側
- ⑦ ステアリング右脇パネル裏側
- ⑧ 助手席足元左側
- ⑨ センターコンソール左側
- ⑩ センターコンソール下

4. マルチバッテリーとOBDIIアダプターによる配線

OBDIIアダプターのディップスイッチの設定が必要です。ディップスイッチの設定方法は、OBDIIアダプターの取扱説明書をご確認ください。対応車種については、店頭もしくは弊社ホームページより最新の適応表をご確認ください。

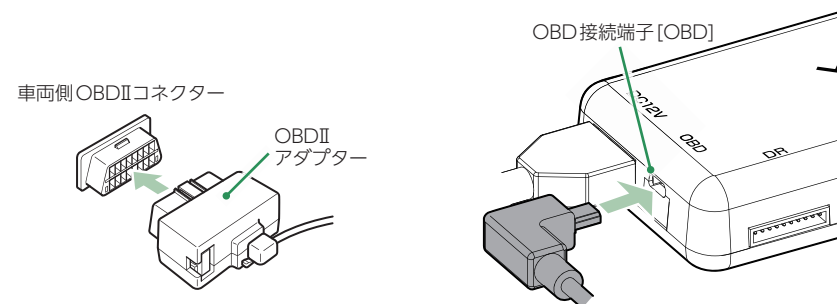
⚠ 警告

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。



4-1 マルチバッテリーを接続する (P.73)

4-2 OBDIIアダプターを接続する

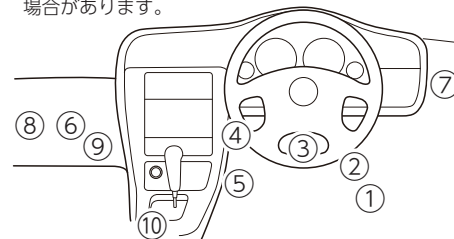


別売品のOBDIIアダプターをジャンクションユニットのOBD接続端子と車両のOBDIIコネクタに接続してください。

※ OBDIIアダプターのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

■ OBDIIアダプター設置箇所

※ カバーやコンソールなどの内側になっている場合があります。



- ① アクセルペダル脇
- ② 運転席足元右側
- ③ 運転席足元中央
- ④ 運転席足元左側
- ⑤ センターコンソール右側
- ⑥ 助手席足元右側
- ⑦ ステアリング右脇パネル裏側
- ⑧ 助手席足元左側
- ⑨ センターコンソール左側
- ⑩ センターコンソール下

メンテナンス(ヒューズの交換)

接続状態でエンジンキーをONし、本体の電源スイッチがONの状態でも電源ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

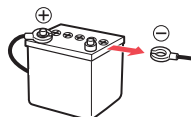
1. 電源直結コードのヒューズを交換する

準備するもの：管ヒューズ 3A(20mm×5.2mm)×2

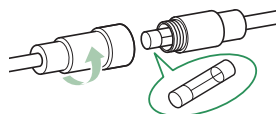


警告

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。



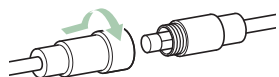
1-1 黄/赤コードのヒューズを取り出す



ヒューズホルダー先端を矢印の方向に回し、ヒューズを取り出します。

1-2 ヒューズを交換する

1-3 黄/赤コードのヒューズホルダーを閉じる



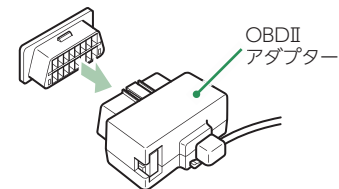
ヒューズホルダー先端を押しながら矢印の方向に回します。

2. OBDIIアダプターのヒューズを交換する

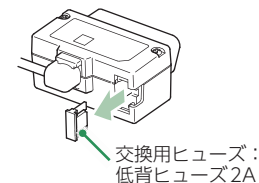
準備するもの：低背ヒューズ 2A

2-1 OBDIIアダプターを車両側 OBDIIコネクターから外す

車両側 OBDIIコネクター



2-2 新しいヒューズと交換する



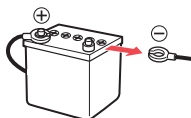
ペンチなどでヒューズを取り出し、新しいヒューズを差し込んでください。

3. マルチバッテリーのヒューズを交換する

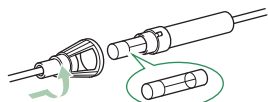
準備するもの: 管ヒューズ 6A(30mm×6.0mm)

⚠ 警告

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。



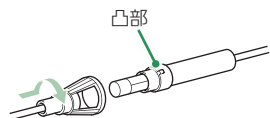
3-1 ヒューズを取り出す



ヒューズホルダー先端を押しながら矢印の方向に回し、ヒューズを取り出します。

3-2 ヒューズを交換する

3-3 ヒューズホルダーを閉じる

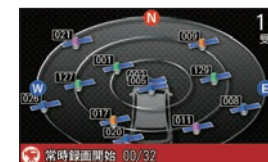
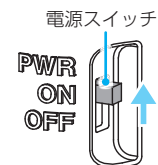


ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら矢印の方向に回します。

電源 ON/OFF について

1. 電源 ON する

1-1 車両のエンジンを ON する



衛星情報
<GPS非測位時>



<GPS測位時>

エンジンキーをONにし、ディスプレイユニットの電源スイッチをONにしてください。電源ONと同時に録画が開始されます。(☛ P.31)
必ず『測位しました』のボイスを確認してから走行してください。

※ GPSの測位状況や無線の受信によっては待受画面が表示されず、いきなり警報画面が表示される場合があります。

※ GPSが非測位時は測位するまで衛星情報を表示します。

※ 初めてOBDIIアダプターを車両に取り付けた場合、本体の起動に数分かかることがあります。

※ 起動時の音(起動音)、画面(オープニング)、測位時の音声(初期測位)は変更できます。(☛ P.100)

※ 公開取締情報がある場合は、公開取締情報を表示します。(☛ P.30)

次のような場合、電源ONしてから『測位しました』と音声が出るまでに、時間がかかる、もしくは測位できない場合があります。

その場合は、障害物や遮へい物のない視界のよい場所へ移動し、車両を停車してください。



2. 電源OFFする

■ 駐車監視録画「OFF」の場合(※初期値)

2-1 車両のエンジンをOFFする

電源も連動してOFFになります。

※ 車種によってはエンジンキーをOFFにしても、電源OFFにならない場合があります。その場合は、本体の電源スイッチを操作して電源OFFしてください。

※ OBDIIアダプターで配線を行った場合、エンジンキーをOFFにしたあと、電源OFFになるまで車種によって数秒から数十秒かかります。また、OBDIIアダプターで接続した場合は、ディスプレイユニットの電源スイッチで電源OFFしないでください。

■ 駐車監視録画「ON」の場合

駐車監視エリア内

2-1 車両のエンジンをOFFし、 [今回のみ駐車監視キャンセル] にタッチする



電源OFFになります。

キャンセルエリア内

2-1 車両のエンジンをOFFし、 約10秒間無操作で待つ



画面を約10秒間表示し電源OFFになります。

■ 強制的に電源OFFする場合

2-1 ディスプレイユニット背面の電源スイッチをOFFにする



電源OFFになります。

操作方法

1. ジャンプウィンドウについて

待受画面にタッチすることでジャンプウィンドウが表示されます。各操作はこの画面から行います。



<ジャンプウィンドウ>

※ 無操作時、約3秒で待受画面に戻ります。

2. 音量の調整について

ジャンプウィンドウの[音量+]、[音量-]にタッチで音量を調整できます。『ピッ』という確認音で音量を確認してください。

※ 音量は0～7の8段階で調整できます。初期値は5です。

※ 0にした場合、音声による警報は行いません。

※ 音量7(最大)からさらに[音量+]にタッチすると『ブブ』と鳴ります。



3. 待受変更について

待受変更にタッチすることで待受画面を変更できます。(P.110)



<待受変更画面>

4. 説明ポップアップについて[特許出願中]

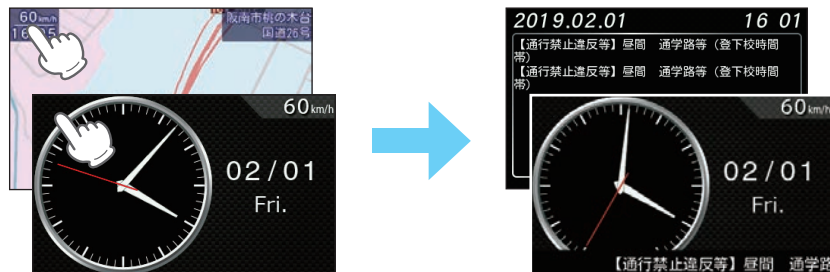
設定項目を長押しすることで説明ポップアップを表示できます。わからない項目がある場合に活用してください。



<説明ポップアップ>

5. 公開取締情報の表示について

取締情報がある路線に侵入した時に表示されます。また、公開取締情報設定が[テロップ1周][パネル]の場合、待受画面の左上にタッチすることで公開取締情報を再表示できます。
※ 公開取締情報を更新していない場合は表示することができません。弊社HPで無料で公開していますので、更新することをお勧めします。
※ お知らせする情報がある場所で起動した場合、起動時にも公開取締情報を表示します。

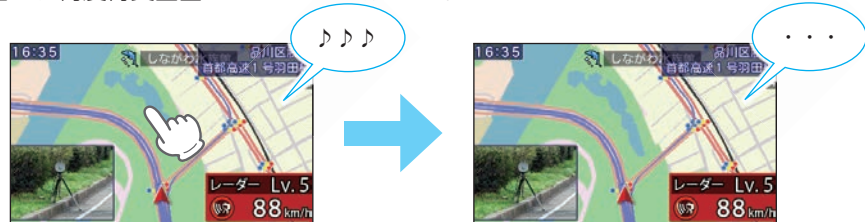


<公開取締情報>

※ 公開取締情報の表示方法は設定により異なります。(P.148)

6. 警報音のミュートについて

レーダー/レーザー警報中に待受画面にタッチすることで、受信中の信号を受信しなくなるまで警報音を一時的に消す(ミュートする)ことができます。ミュートを解除する場合は、再度待受画面にタッチしてください。



※ ミュートされます。再度タッチするとミュート解除されます。
※ タッチするたびにジャンプウィンドウを表示しますが、約3秒で待受画面に戻ります。

7. 録画操作について

車両のエンジン始動(ACC ON)に連動し自動的に録画が開始されますが、ジャンプウィンドウの[録画停止]にタッチすることで手で録画を停止できます。また録画停止後に[録画開始]をタッチすると再度録画を開始します。

※ 自動録画開始設定(P.152) が[OFF]の場合は、エンジン始動(ACC ON)に連動して録画が開始しないため、ジャンプウィンドウ内の[録画開始]にタッチしてください。

■ 録画開始:[録画開始]にタッチ



■ 録画停止:[録画停止]にタッチ



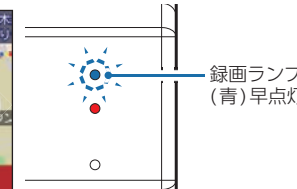
8. ワンタッチ記録について

常時録画中にディスプレイユニットの ⚠ キーにタッチすると、1ファイル単位の映像をカメラユニット用SDカードの「EVSW」フォルダに移動します。

⚠ キーにタッチする



ディスプレイユニット



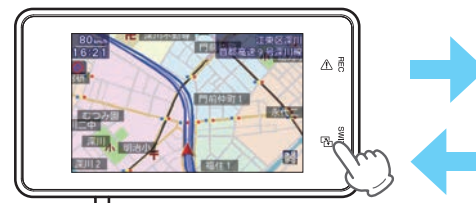
フロントカメラユニット

9. 画面切替(ライブビュー)について

ディスプレイユニットの 画面切替 キーにタッチでライブビューと待受画面を切り替えることができます。

※ 警報時は、マップ画面に切り替わります。

※ 画面切替 キーはSWITCHカスタマイズ設定で、機能を画面切替以外にも割り当てることができます。(P.144)



ディスプレイユニット用SDカードの取り外し/装着のしかた

付属のディスプレイユニット用SDカードには本機を起動するためのデータが保存されています。パソコンなどでフォーマットしないようにしてください。

本書では、特にことわりのない場合、「SDカードアダプター」「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

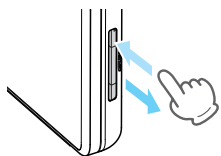
⚠ 注意

- ・誤ってデータを削除した場合は、有償での対応となります。お買い上げの販売店、または ity. クラブ窓口 (0120-958-955) にご相談ください。
- ・SDカードアダプターの出し入れは、必ず電源OFFの状態で行ってください。
- ・SDカードアダプターは一方方向にしか入りません。下図の向きで挿入してください。無理に押し込むと、本体やSDカードアダプターが壊れることがあります。
- ・microSDカードのみを取り出さないでください。
- ・本体に付属のmicroSDカード、SDカードアダプターが装着されていないと、本機は起動しません。必ず付属品を装着してお使いください。
- ・microSDカードをパソコン等でフォーマットしないでください。
- ・microSDカードは本機専用でお使いください。他の機器には使用しないでください。

1. SDカードを本体から取り外す

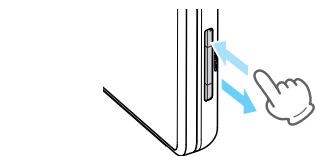
1-1 ディスプレイユニット背面の電源スイッチをOFFにする

※ 電源OFF後、フロントカメラユニットの電源ランプが消灯したことを確認してください。



1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く

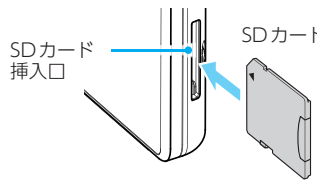
※ SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。



2. SDカードを本体へ装着する

2-1 ディスプレイユニット背面の電源スイッチをOFFにする

※ 電源OFF後、フロントカメラユニットの電源ランプが消灯したことを確認してください。



2-2 SDカードを挿入する

SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

カメラユニット用SDカードの取り外し/装着のしかた

※ カメラユニットと市販品のSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
※ カメラユニット用SDカードは、8GB以上、32GB以下のSDHCカードに対応しています。(SDスピードクラス「Class 10以上」)

⚠ 注意

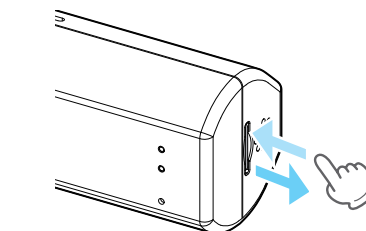
- ・電源ON時にカメラユニット用SDカードの抜き差しを行わないでください。SDカード破損の原因となります。必ず電源OFF後、カメラユニットの電源ランプが消灯したのを確認してから行ってください。
- ・SDカードは一方方向にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- ・付属品以外のSDカードを使用する場合は、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

1. SDカードをカメラユニットから取り外す

1-1 ディスプレイユニット背面の電源スイッチをOFFにする

※ 電源OFF後、フロントカメラユニットの電源ランプが消灯したことを確認してください。

1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



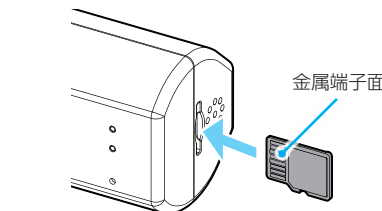
※ SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

2. SDカードをカメラユニットへ装着する

2-1 ディスプレイユニット背面の電源スイッチをOFFにする

※ 電源OFF後、フロントカメラユニットの電源ランプが消灯したことを確認してください。

2-2 SDカードを挿入する



SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

登録について

任意の場所を登録、投稿することができます。

1. 登録画面を表示する

1-1 待受画面にタッチする



1-2 [登録]にタッチする



登録画面を表示します。



<登録画面>

※ 無操作時、約5秒で待受画面に戻ります。

項目	説明	
 (黄)	マイエリア 登録/解除	・移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。 ・手前約1kmに近づく登録画面のボタンが「マイエリア解除」に変わり、対象のマイエリアを解除（削除）できます。エリア内に複数のマイエリアが登録されている場合は、そのエリア内のマイエリアは全て解除されます。 ※ 登録数は、マイエリア/アイキャンセル/マイキャンセルエリア/イベント記録地点/駐車監視キャンセルエリアの合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。
 (黄)	マイキャン セルエリア 登録/解除	・自動ドアなど、取締機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点を登録することができ、通過時にレーダー波の受信警報をキャンセルします。 ・手前約200mに近づく登録画面のボタンが「キャンセルエリア解除」に変わり、対象のマイキャンセルエリアを解除（削除）できます。エリア内に複数のマイキャンセルエリアが登録されている場合は、そのエリア内のマイキャンセルエリアは全て解除されます。 ※ 登録数は、マイキャンセルエリア/マイエリア/アイキャンセル/イベント記録地点/駐車監視キャンセルエリアの合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。 ※ マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報をキャンセルするもので、レーザー光/GPS57識別/無線14バンド識別/ベストパートナー6識別の警報はキャンセルできません。
—	ピン投稿	ピン登録で登録した投稿ピンを確認/投稿/削除することができます。 ※ [確認]→[登録投稿]にタッチしてターゲットの種類などを選択していきQRコードから投稿してください。また、WLAN接続が確立していれば、[WLAN投稿]を選択するとサーバーへ接続し投稿を行います。（あらかじめ、接続先設定とMy Yupiteru ID、パスワードの設定が必要になります。）
	ピン登録	「ここで取締をやっている」、「ここに新しいオービスが設置された」などのポイントを投稿ピンとして登録することができます。 ※ 登録数は、最大4箇所ピンを登録できます。

※ マイエリア/マイキャンセルエリア/ピンの一括削除は設定/システム/消去 から行います。（●P.144）
※ GPSを受信できていない場合、マイエリア/マイキャンセルエリア/ピン登録は行うことができません。
※ 方向未確定の場合、ピン登録を行うことはできません。GPSを測位してから一度は走行し方位を確定してください。

マイエリアについて

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。

※登録数は、マイエリア/アイキャンセル/マイキャンセルエリア/イベント記録地点/駐車監視キャンセルエリアの合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

登録する

1-1 登録したい地点で登録画面を表示する(P.88)

1-2 約5秒以内に[マイエリア登録]にタッチする



「マイエリアをセットしました」とお知らせし、登録します。

解除する

1-1 登録した地点で登録画面を表示する(P.88)

1-2 約5秒以内に[マイエリア解除]にタッチする



「マイエリアを解除しました」とお知らせし解除します。

- 登録後は地図上にアイコンを表示します。
- マイエリアに近づくときと手前約1km/500mと通過時の3段階で警告します。

〈手前約1km(500m)のとき〉

『右(左)方向 1km(500m)先 マイエリアです』とお知らせします。

※GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知(『1km先』、『500m先』)を『この先』や『300m先』/『200m先』/『100m先』/『すぐ先』とお知らせすることがあります。

- マイエリア手前約1kmに近づくとき登録画面のボタンが「マイエリア解除」になり、対象のマイエリアを解除(削除)できます。エリア内に複数のマイエリアが登録されている場合は、そのエリア内のマイエリアは全て解除されます。
- 全てのマイエリアを消去する場合は、[設定]⇒[システム]⇒[消去]⇒[マイエリア]で行ってください。



マイキャンセルエリアについて

自動ドアなど、取締機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点を登録することができ、通過時にレーダー波の受信警報をキャンセルします。

※登録数は、マイキャンセルエリア/マイエリア/アイキャンセル/イベント記録地点/駐車監視キャンセルエリアの合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

※マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報をキャンセルするもので、レーザー光/GPS57識別/無線14バンド識別/ベストパートナー6識別の警報はキャンセルできません。

登録する

1-1 登録したい地点で登録画面を表示する(P.88)

1-2 約5秒以内に[キャンセルエリア登録]にタッチする



「マイキャンセルエリアにセットしました」とお知らせし登録します。

※GPSを受信できていない場合、マイキャンセルエリアは登録できません。

解除する

1-1 登録した地点で登録画面を表示する(P.88)

1-2 約5秒以内に[キャンセルエリア解除]にタッチする



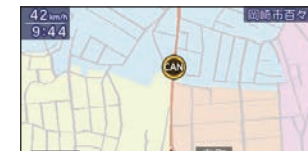
「マイキャンセルエリアを解除しました」とお知らせし解除します。

- 登録後は地図上にアイコンを表示します。

- マイキャンセルエリアに侵入すると、登録したマイキャンセルエリアのポイントから半径約200mのエリアに侵入し、レーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。

※キャンセルサウンド(P.156)の設定がONの場合は、『キャンセル中です』とお知らせします。

- マイキャンセルエリア手前約200mに近づくとき登録画面のボタンが「キャンセルエリア解除」になり、対象のマイキャンセルエリアを解除(削除)できます。エリア内に複数のマイキャンセルエリアが登録されている場合は、そのエリア内のマイキャンセルエリアは全て解除されます。
- 全てのキャンセルエリアを消去する場合は、[設定]⇒[システム]⇒[消去]⇒[キャンセルエリア]で行ってください。



ピン登録について

「ここで取締をやっている」、「ここに新しいオービスが設置された」などのポイントを投稿ピンとして登録することができます。

※ 登録数は、最大4箇所ピンを登録できます。

登録する

1-1 登録したい地点で登録画面を表示する(P.88)

1-2 約5秒以内に[ピン登録]にタッチする



ピンを登録します。

※ すでに4箇所のピンが登録されている場合は「ピンが一杯です」と画面表示されて登録できません。

※ GPSを受信できていない場合、投稿ピンは登録できません。

※ 方向未確定の場合、ピン登録を行うことはできません。GPSを測位してから一度は走行し方位を確定してください。

削除する

1-1 登録画面を表示する(P.88)

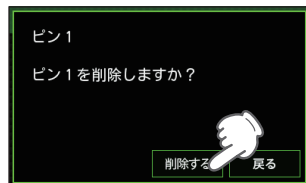
1-2 約5秒以内に[ピン投稿]にタッチする



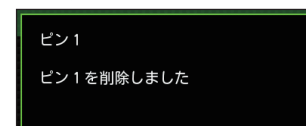
1-3 [削除]にタッチする



1-4 [削除する]にタッチする



ピンを削除します。



全てのピン登録を消去する場合は、[設定]⇒[システム]⇒[消去]⇒[投稿ピン]で行ってください。

ピン投稿について

ピン登録で登録した投稿ピンを確認/投稿/削除することができます。

1. ピンを投稿する

例：ピン1をオービスで投稿する

1-1 登録画面を表示する(P.88)

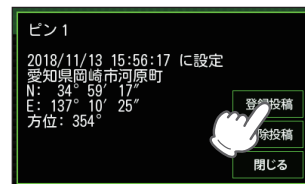
1-2 約5秒以内に[ピン投稿]にタッチする



1-3 ピン1の[確認]にタッチする



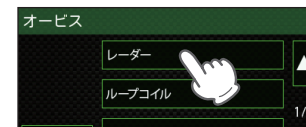
1-4 [登録投稿]にタッチする



1-5 [オービス]にタッチする



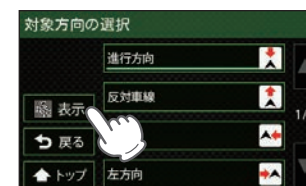
1-6 オービスの種類にタッチする



1-7 対象方向にタッチする



1-8 表示にタッチする



1-9 QRコードを読み取り投稿する



※ 失敗した場合は、再度QRコードを読み取り投稿してください。

※ 別売品の無線LAN機能付SDカード(OP-WLSD16)を装着し、WLAN接続が確立していれば、[WLAN投稿]にタッチで投稿できます。

■ ターゲットの種類

投稿するターゲットの種類を選び、項目にタッチします。

オービス	道路脇や道路上にカメラが固定・設置されている自動速度違反取締装置。
Nシステム	道路上に設置されている「自動車ナンバー自動読取装置」を指します。
取締り	人が道路脇などに測定装置を設置して行う取締や、車両に測定装置を積載しての取締、車両による追走、現場で人による一時停止違反や交差点での信号無視などの取締。
検問	すべての通行車両を停止させての検問や、特定の車両を停止させる検問など。

● オービス種別の選択

オービスの種類を選択します。

レーダー	車両に向けてレーダー波を発射し、その反射波の周波数変化で速度を算出します。本機ではレーダー波を受信すると、「レーダー」と表示されます。
ループコイル	道路の中にループコイルが埋められていてその上を車両が通過する時間から速度を測定します。
Hシステム	車両に向けてレーダー波を発射し、その反射波の周波数変化で速度を算出します。レーダー波を発信する四角いアンテナが車線上に設置されています。
LHシステム	道路の中にループコイルが埋められていてその上を車両が通過する時間から速度を測定します。 測定装置付近にパトランプが設置されています。
その他	上記に当てはまらない、またはよく分からない場合。

● 対象方向の選択 (複数可)

投稿するターゲットがどの方向に設置されていたかを選択します。

進行方向	自車の進行方向に向かって設置されています。
反対車線	自車の進行方向と反対方向 (反対車線) に設置されています。
右方向	自車に対して右方向の道路に設置されています。
左方向	自車に対して左方向の道路に設置されています。

● 取締種別の選択

取締の種類を選択します。

速度取締り	歩道や道路脇などに測定装置を設置し、走行する車両に向けてレーダー波を発射し速度を測定する取締。道路脇にパトカーを停車し、測定する場合もあります。
移動オービス	ワンボックス車などの車両に設置された測定装置により写真を撮影する取締。
追尾式取締り	車両により、走行中の自車を追尾しての取締。
一時停止取締り	一時停止違反の取締。
交差点取締り	信号無視などの取締。
その他取締り	上記に当てはまらない場合。

● 速度取締、移動オービス手法の選択

レーダー	レーダー波を用いた取締。
ステルス	計測する瞬間だけ電波を発射する取締。
光電管	道路の一定間隔に測定装置を設置し、通過時間により速度を算出する取締。
その他	上記以外の手法による取締。

● 追尾手法の選択

追尾が行われた手法を「パトカー」「覆面 (パトカー)」「白バイ」「その他」から選択します。

● 直近の実施時期の選択

取締が行われていた時期を選択します。「現在実施中」「一週間以内」「一か月以内」から選択します。

● 検問手法の選択

検問の種類を選択します。

シートベルト	シートベルト検問。
飲酒	飲酒運転検問。
携帯電話	携帯電話検問。
その他	上記以外の検問。

■ 投稿データのアイコンについて

取締・検問レベルによって、アイコンの色が決まっています。

・レベル4・5 金色アイコン



・レベル1~3 銀色アイコン



種 類 (取締)	
	速度取締
	移動オービス
	一時停止
	交差点
	追尾
	その他

種 類 (検問)	
	シートベルト
	飲酒
	携帯
	その他

2. ピンを削除投稿する

削除投稿は、以前取締機があったが撤去された場合などに使用します。

例：ピン1を削除投稿する

2-1 登録画面を表示する (P.88)

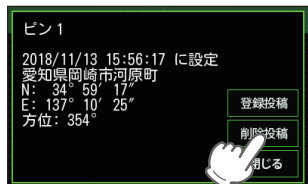
2-2 約5秒以内に[ピン投稿]に タッチする



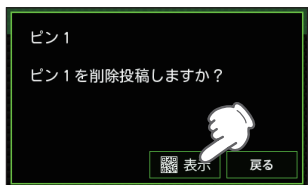
2-3 ピン1の[確認]にタッチする



2-4 [削除投稿]にタッチする



2-5 [表示]にタッチする



2-6 QRコードを読み取り削除 投稿する



※ 失敗した場合は、再度QRコードを読み取り削除投稿してください。

※ 別売品の無線LAN機能付SDカード (OP-WLSD16) を装着し、WLAN接続が確立していれば、[WLAN投稿]にタッチで削除投稿できます。

ログ機能について

ログ機能をONにすると、走行データ(約14時間分)を本機に記録します。記録したデータは、付属(本体に装着済み)のSDカードにコピーし、パソコンで走行軌跡を確認することができます。

※ 下記以外のパソコン環境や地図ソフト、市販品のデータロガーでの動作確認は行っておりません。

※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形とずれることがあります。

※ 測位状況および走行の状況によりログ記録時間は異なります。

※ 非測位時、時速10km/h未満の場合は記録されません。

※ ログの残量表示は[システム]⇒[ログ機能]にパーセント表示されます。

※ 記録容量が100%になった場合は、自動的にログ機能をOFFにし、100%の表示を残します。

※ 記録容量が100%になっている場合は、ログ機能をONにすることはできません。

※ ログ機能ON中は常に走行データを記録します。日時別の保存や管理は行っておりません。

※ 記録容量が100%になり、ログ機能がOFFになっても、ログデータ消去(P.144)を行うまで、100%の表示は残ります。

※ 走行記録を消去する場合は、ログデータ消去(P.144)を行ってください。

下記の条件を満たしたインターネットに接続が可能なパソコン

OS : Microsoft Windows10、8、7

ご用意いただくもの

- ・ SDカードリーダーライター(使用中のSDカードに対応のもの)
- ・ GoogleよりGoogle Earthをダウンロードしてください。
- ・ 弊社ホームページ(<https://www.yupiteru.co.jp>)をご覧くださいの上、オリジナルログデータ変換ソフト(YP_LogDataConverter_setup.exe)をダウンロードしてください。

1. 走行データを記録する

1-1 待受画面にタッチする



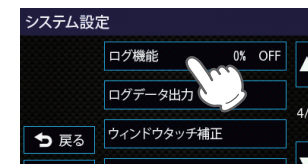
1-2 [設定]にタッチする



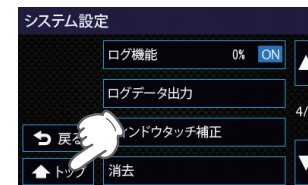
1-3 [システム]にタッチする



1-4 [ログ機能]にタッチしON にする



1-5 [トップ]にタッチする



1-6 走行して走行データを記録する

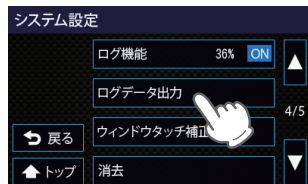
※ 記録容量が100%になった場合は、自動的にログ機能が[OFF]になります。

2. 走行データをコピーする

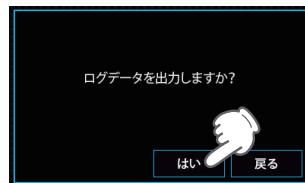
※ ログデータを出力しても、ログデータは消去されません。消去する場合は、システム設定の[消去]から行ってください。(P.144)

2-1 手順「1-1 ～ 1-3」を行う

2-2 [ログデータ出力]にタッチする



2-3 [はい]にタッチする

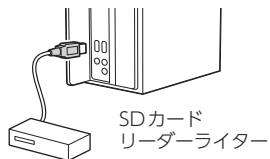


ディスプレイユニット用SDカードに走行データ(※.log)がコピーされます。

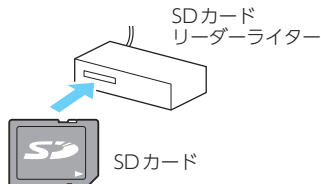
※ ファイル名は出力した日付になります。
19071700.log⇒2019年7月17日 の00番のデータ。

3. 走行軌跡を確認する

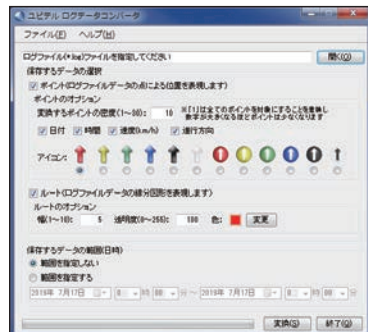
3-1 SDカードリーダーライターをパソコンに接続する



3-2 ディスプレイユニット用SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



3-3 ユピテルログデータコンバータを起動する



[開く] ボタンをクリックし、SDカードの走行データ(※.log)を選択する。

3-4 保存する



[変換] ボタンをクリックし、お好みのファイル名と保存先を指定して保存してください。

※ アイコンなどの詳細な設定は弊社ホームページ (<https://www.yupiteru.co.jp>) をご覧ください。

3-5 保存したファイルを開く

Google Earthの画面上に走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形と必ずしも一致しません。ズレて表示されることがありますのでご了承ください。

※ 走行軌跡確認後は、SDカードを本体に装着してご使用ください。

※ 必要に応じて、SDカード内にコピーした走行データ(※.log)を削除する場合は、他のデータを削除しないようにご注意ください。

カスタムについて

本機能は、警報音やフォトフレームをお好みの音声や画像に変更することができます。

- ※ ディスプレイユニット用SDカード、または別売品の無線LAN機能付SDカード(OP-WLSD16)の所定のフォルダに、パソコンなどで音声・画像データを保存しておいてください。
- ※ ディスプレイユニット用SDカードには本機の機能に必要なデータが入っています。ファイルの保存時などに、誤ってSDカード内のデータを消去しないようにご注意ください。
- ※ 対応形式のデータであっても、エンコードソフトの設定や記録状態によっては本機の動作が不安定になる場合があります。あらかじめご了承ください。

1. お好みの音源でお知らせする

ディスプレイユニット用SDカードの[user]⇒[sound]フォルダにmp3ファイルを保存してください。

- ※ 再生できないファイルの場合は、ファイルが存在していても通常音になります。その場合は違うファイルでお試ください。
- ※ 保存するファイルは下記のファイル名、拡張子のルールに従ってください。下記以外のファイル名、拡張子では対応しません。ファイル名、拡張子はすべて半角文字にしてください。全角文字では再生できません。
例(起動音)：1.mp3([1]がファイル名、[.mp3]が拡張子になります)
- ※ ステレオのファイルでもモノラルで再生されます。
- ※ 起動音で設定した音声ファイルは、起動時に最後まで再生した後、通常のレーダー探知機の音声が始まります。
- ※ レーザー警報音はカスタムできません。あらかじめご了承ください。

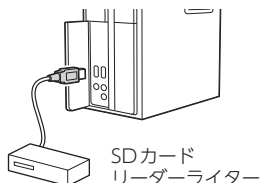
音声データ対応形式

- ・拡張子：MP3(.mp3)

保存名の記載

- ・起動音：1.mp3(再生時間上限なし)
- ・オービスジングル：2.mp3(再生時間上限 15 秒)
- ・GPS 警報ジングル：3.mp3(再生時間上限 15 秒)
- ・GPS 告知ジングル：4.mp3(再生時間上限 15 秒)
- ・無線警報ジングル：5.mp3(再生時間上限 15 秒)
- ・初期測位：6.mp3(再生時間上限 15 秒)
- ・レーダーメロディ 1：7.mp3(再生時間上限なし)

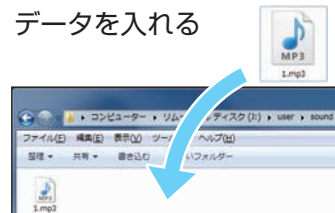
1-1 SDカードリーダーライターをパソコンに接続する



1-2 ディスプレイユニット用SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



1-3 データを入れる

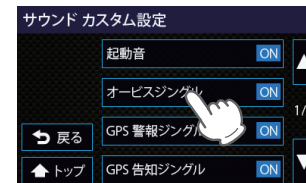


音声データをSDカードの[user]→[sound]フォルダに入れます。

元の音源に戻す場合は、[システム]⇒[音設定]⇒[サウンドカスタム]にタッチしてサウンドカスタム設定で戻したい項目にタッチし、[OFF]にしてください。

(ON：保存したmp3 ファイル、OFF：元の音源)

※ タッチするたびに、音源を再生します。



2. お好みの画像を表示する

ディスプレイユニット用SDカードの[user]⇒[photo]フォルダにJPEG ファイルを保存してください。

※ 画面に100%で表示される画像サイズは400×240ピクセルです。再生される写真の順番はファイル名の順になります。写真の削除・追加を繰り返すと再生する順序が入れ替わる場合があります。

画像データ対応形式

- ・拡張子：JPEG(.jpg)
- ・最大画像サイズ：1920×1080ピクセル 程度
- ・最大保存ファイル数：最大100 ファイル(SDカード容量を超えない範囲)
- ・最大ファイル容量：約3MB(1 ファイル)

2-1 P.100手順「1-1 ～ 1-2」を行う

2-2 お好みの画像データを入れる



画像データをディスプレイユニット用SDカードの[user]→[photo]フォルダに入れます。
※ あらかじめ1.jpg～10.jpgの画像データが入っています。

画像の設定は、[システム]⇒[フォトフレーム設定]にタッチし、フォトフレーム設定で行ってください。



3. お好みの画像をオープニングで表示する

ディスプレイユニット用SDカードの「user」⇒「logo」フォルダにJPEG ファイルを保存してください。

※ 画面に 100% で表示される画像サイズは 400 × 240 ピクセルです。

画像データ対応形式

- ・拡張子: JPEG(.jpg)
- ・最大画像サイズ: 1920 × 1080 ピクセル 程度
- ・最大ファイル容量: 約 3MB (1 ファイル)

3-1 P.100 手順「1-1 ～ 1-2」を行う

3-2 あらかじめ入っている「user」フォルダに新しいフォルダを作成する

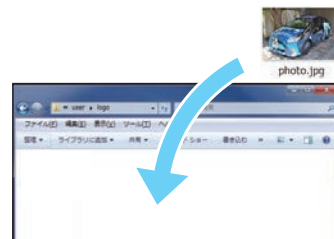


3-3 「logo」フォルダのファイル「1.jpg」を新しいフォルダに移動する



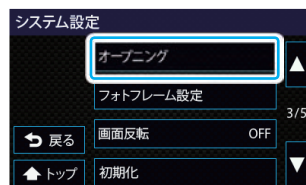
あらかじめ入っている「1.jpg」ファイルは削除すると復元できませんので、別の位置に保存します。
※ あらかじめ 1.jpg の画像データが入っています。

3-4 「logo」フォルダにお好みの画像データを入れます



「logo」フォルダには表示させるファイルのみを入れてください。
※ ファイル名の指定はありません。
※ 複数ファイルを入れないようにしてください。

オープニングの設定は、[システム]⇒[オープニング]にタッチし、静止画を選択してください。



ディスプレイユニットで再生する

録画ファイルを本機で再生することができます。

※ 再生時は自動で録画停止になります。

※ イベント記録中は再生することはできません。

※ フロントカメラとリアカメラの映像を同時に再生することはできません。

1. 再生モードを表示する

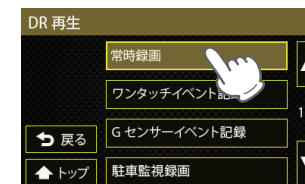
1-1 待受画面にタッチする



1-2 「DR再生」にタッチする



1-3 再生したい録画ファイルのある記録方法にタッチする



<ファイル選択画面>

2. 録画ファイルを再生する

2-1 再生したい録画ファイルにタッチし、▶ にタッチする



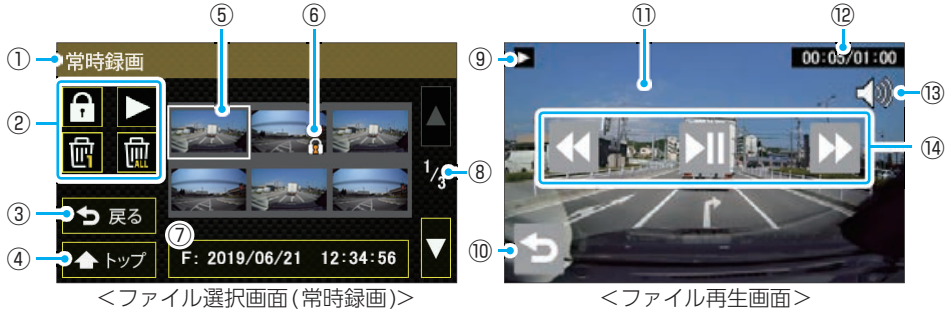
<ファイル再生画面>

録画ファイルを再生します。

※ 選択している録画ファイルに黄色枠が付きます。

再生モード

再生モードでは、録画ファイルをディスプレイユニットで再生できます。



※ ⑩⑬⑭はファイル再生画面にタッチすると数秒表示されます。

No.	表示名	説 明
①	フォルダ種類	フォルダの種類を表示します。(常時録画/ワンタッチイベント記録/Gセンサーイベント記録/駐車監視録画/駐車監視イベント記録/DMSわき見イベント記録/DMS居眠りイベント記録)
②	操作メニュー	選択中の録画ファイルを保護します。保護したファイルを選択中に押すと、保護解除します。(P.107) ※ 保護した録画ファイルは、本機の「削除」では削除できません。保護を解除するか、SDカードをフォーマットしてください。
		選択した録画ファイルを再生します。
		選択中の1 ファイルを削除します。
		フォルダ内の録画ファイルを全て削除します。
③	戻る	前の画面に戻ります。
④	トップ	待受画面に戻ります。
⑤	選択中のファイル	選択中の録画ファイルに白色枠を表示します。
⑥	ファイル保護アイコン	保護した録画ファイル上に表示します。
⑦	記録日時	選択中の録画ファイルの記録日時を表示します。
⑧	ページ数	現在のページ数/総ページ数を表示します。
⑨	動作アイコン	再生中に表示します。
		早送り中に表示します。
		早戻し中に表示します。
		一時停止中に表示します。
		停止中に表示します。
		2倍速の早送り/早戻し中に表示します。
		4倍速の早送り/早戻し中に表示します。
		8倍速の早送り/早戻し中に表示します。

No.	表示名	説 明
⑩	戻る	前の画面に戻ります。
⑪	記録映像	録画ファイルを再生します。
⑫	再生時間	現在の再生時間/ファイル総時間を表示します。
⑬	音声表示	タッチするたびに音声のON/OFFが切り替わります。
		ON OFF
⑭	再生ボタン	再生中のファイルの再生速度を切り替え及び、再生/一時停止を行います。 ※ 早送り/早戻し中は音声再生されません。
		再生/一時停止を行います。
		早送りします。
		早戻しします。

再生速度の切り替え

ファイル再生画面を表示すると、通常の再生速度(×1倍速)で再生されます。◀▶ ボタンと▶▶ ボタンを押すことで再生速度を切り替えることができます。



3. 録画を再開する

3-1 ファイル再生画面にタッチする



3-2 戻るアイコンにタッチする



3-3 [トップ]にタッチする



待受画面を表示し、自動で録画を開始します。

※ 自動録画開始の設定 (P.152) が「OFF」の場合、自動で録画を開始しません。「ON」にするか、ジャンプウィンドウの「録画開始」にタッチしてください。

録画ファイルの保護について

録画ファイルは下記の手順で保護することができます。

保護した録画ファイルは、フォーマット以外の操作では削除されません。

※ 保護した録画ファイルは、フォーマットすることで削除できます。フォーマットを行うと、全ての録画ファイルを削除します。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

※ フロントカメラとリアカメラのどちらかの録画ファイルを保護/保護解除した場合、対になる録画ファイルも一緒に保護/保護解除されます。

⚠ 注意

初期値では、保護していない録画ファイルは各記録方法の上限に達すると上書きされます。
(初期値「上書きモード：全て上書き」)

1. 録画ファイルを保護する

1-1 待受画面にタッチする



1-2 「DR再生」にタッチする



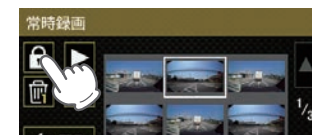
1-3 保護したい録画ファイルのある記録方法にタッチする



1-4 保護したい録画ファイルにタッチする



1-5 アイコンにタッチする



選択中のファイルと対になる録画ファイルを保護します。

※ 保護が完了するとファイル選択画面上でフロントとリアカメラのファイルに🔒アイコンを表示します。

保護を解除する場合は、再度手順「1-4～1-5」を行ってください。保護を解除すると、ファイル選択画面上の🔒アイコン表示が消えます。

録画ファイルの削除について

録画ファイルは下記の手順で削除することができます。

保護した録画ファイルは、フォーマット以外の操作では削除されません。

※ 必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

※ フロントカメラとリアカメラのどちらかの録画ファイルを削除した場合、対になる録画ファイルも一緒に削除されます。

1. 個別に削除する

1-1 待受画面にタッチする



1-2 「DR再生」にタッチする



1-3 削除したい録画ファイルのある記録方法にタッチする



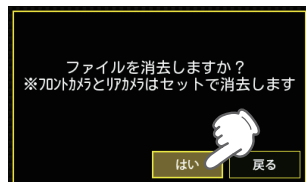
1-4 削除したい録画ファイルにタッチする



1-5 削除アイコンにタッチする



1-6 「はい」にタッチする



「ファイルを消去しました」と数秒表示し、選択中の録画ファイルと対になる録画ファイルを削除します。

※ 対になる録画ファイルは個別に削除することはできません。

2. フォルダ別に削除する

2-1 P.108手順「1-1 ～ 1-3」を行う

2-2 削除アイコンにタッチする



2-3 「はい」にタッチする



「ファイルを全て消去しました」と数秒表示し、手順「2-2」の画面に戻ります。

フォルダに録画ファイルがない場合、「ファイルがありません」と表示されます。



待受画面について

警報やお知らせがない時に、運転に役立ついろいろな情報を表示するのが待受画面です。待受画面は13種類と待受画面を順番に表示する[AUTO]、待受画面を表示しない[OFF]があります。



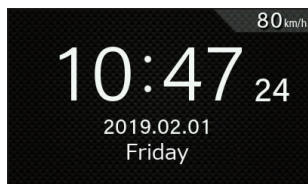
<マップ>



<ライブビュー>



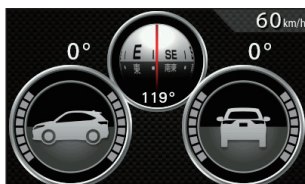
<アナログ時計>



<デジタル時計>



<加速度>



<傾斜>



<速度※1>



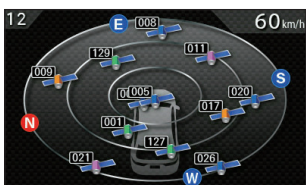
<プリセットA※1>



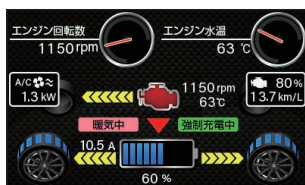
<プリセットB※1>



<フォトフレーム>



<衛星情報>



<ハイブリッド※1※2>



<スペシャル※3>

※1：表示項目を変更して、お好みの情報を表示できます。

※2：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着した場合に表示します。

※3：別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着した場合に表示します。

1. 待受画面の変更方法

※ 初期値(警報画面切替：警報1000m切替)では、警報中に待受画面を変更しても警報終了まで反映されません。

例：アナログ時計に変更する

1-1 待受画面にタッチする



1-2 [待受変更]にタッチする



1-3 [アナログ時計]にタッチする



アナログ時計を表示します。

待受画面の種類について

1. マップ

全国版の地図上を自転車アイコンが移動します。

- ① 走行速度※1
- ② 時計
- ③ 地名および道路名
- ④ 自転車アイコン

※1：警報時にはメッセージウィンドウに表示します。
GPS非測位時は走行速度は表示しません。



■ メッセージウィンドウについて (P.132)

警報時やお知らせ時に画面右下に各種警報を表示し、必要な情報を確認できます。



警報(赤)



警告(黄)



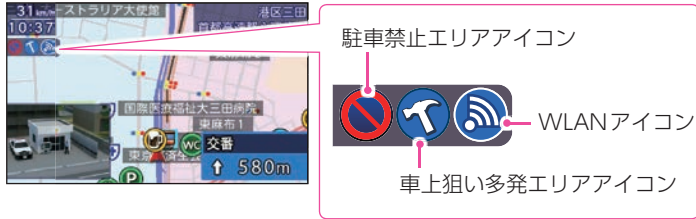
告知(青)



情報(緑)

■ 駐車禁止・車上狙い多発アイコン/WLANアイコンについて

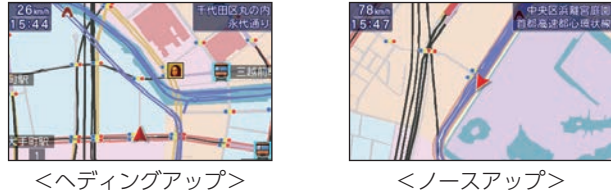
画面左上に駐車禁止エリアアイコン、車上狙い多発エリアアイコン、WLANアイコンを表示します。
駐車禁止エリア、車上狙い多発エリアではアイコンを表示し、エリア外では表示しません。
WLANアイコンは、別売品のWLAN機能付SDカード(OP-WLSD16)を装着し、無線LAN接続をすると表示します。(P.167)



※ モードのマニュアル個別設定にてOFFにした場合は表示されません。(P.159)

■ マップ表示形式について

マップ表示を常に進行方向が上の状態の「ヘディングアップ」、または常に北が上の状態の「ノースアップ」の2種類から選択できます。(P.144)



■ マップ配色について

マップ配色には、[AUTO][昼配色][夜配色]があります。[AUTO]の場合、衛星情報により夜と判断された場合や、照度センサーにより暗いと判断された場合には[夜配色]に切り替わります。設定により、どちらかの配色に固定することができます。(P.144)

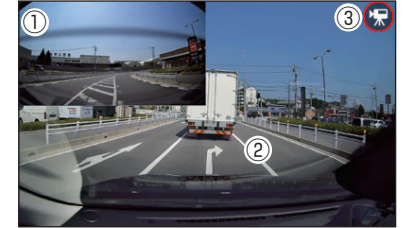


2. ライブビュー

カメラユニットの映像を表示します。

※ キーにタッチで表示することもできます。
※ フロントまたはリアカメラの映像のみにすることもできます。
また、解像度など録画に関する設定は P.152を参照ください。
※ リアカメラユニット未接続時、リアカメラ映像は表示されません。

- ① リアカメラ映像
- ② フロントカメラ映像
- ③ 録画アイコン



■ 録画アイコンについて

画面右上に録画動作をアイコンで表示します。

アイコン	説明
	常時録画中に表示します。
	Gセンサー記録中に表示します。
	ワンタッチ記録中に表示します。
	DMS わき見記録中に表示します。

アイコン	説明
	DMS 居眠り記録中に表示します。
	録画停止中に表示します。
	異常などがあった場合に表示します。(P.188)

3. アナログ時計

アナログ時計、カレンダー(月/日/曜日)、速度を表示します。

- ① 時計(アナログ)
 - ② カレンダー
 - ③ 速度
- ※ 項目の変更はできません。

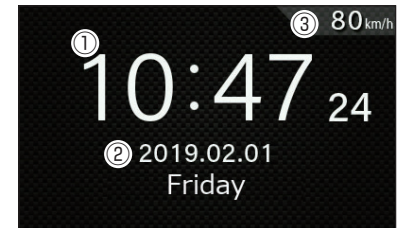


4. デジタル時計

デジタル時計、カレンダー(年/月/日/曜日)、速度を表示します。

※ 時計は24時間表示です。

- ① 時計(デジタル)
 - ② カレンダー
 - ③ 速度
- ※ 項目の変更はできません。

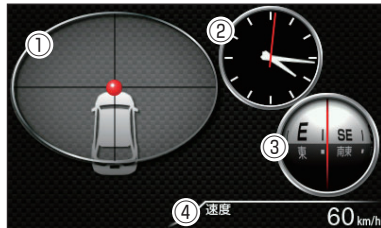


5. 加速度

加速度、小メーター2つ(②③)、文字メーター1つ(④)を表示します。

- ①加速度
②★時計(アナログ)
③★コンパス
④★速度
※小メーター(②③)、文字メーター(④)の項目は変更できます。
(☛ P.117)

初期値: ★



※ 加速度の情報は、しばらく使用すると自動的に補正されます。
※ 中央のボールが移動しなくなった場合は、内部で加速度の補正をしています。しばらくすると加速度に合わせて移動しますのでお待ちください。

6. 傾斜

車両の傾斜(前後左右)、コンパス、速度を表示します。

※ 本体の向きを変えた場合など傾斜表示が現状とずれた場合は、一定距離走行することで自動的に補正されます。

- ①傾斜前後
②コンパス
③傾斜左右
④速度
※ 項目の変更はできません。



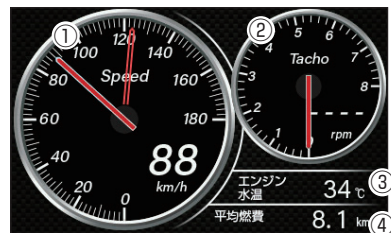
7. 速度



- ①速度
②時計(デジタル)
③カレンダー
④方位

※ 項目の変更はできません。

<OBDIIアダプター接続時>



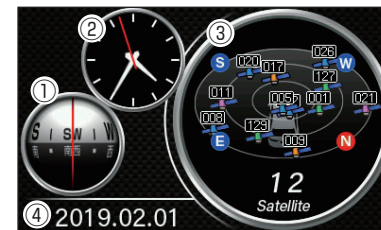
- ①速度
②回転数
③エンジン水温
④平均燃費

8. プリセットA

小メーター2つ(①②)、大メーター1つ(③)文字メーターを1つ(④)表示します。

- ①★コンパス
②★時計(アナログ)
③★衛星情報
④★カレンダー
※全項目を変更できます。(☛ P.117)

初期値: ★



9. プリセットB

ミニメーターを6つ(①②③④⑤⑥)表示します。

- ①★時計
②★速度(0-180km/h)
③★衛星受信数
④★カレンダー
⑤★コンパス
⑥★気圧
※全項目を変更できます。(☛ P.117)

初期値: ★



10. フォトフレーム

写真を表示します、警報時にはCG実写警報またはテロップ警報で警報を行います。

※ 表示する写真データは本体にあらかじめ1.jpg~10.jpgの10枚入っていますが、お好みの画像を表示するには装着されているSDカードのuser⇒photoフォルダにパソコンなどで保存する必要があります。(☛ P.101)

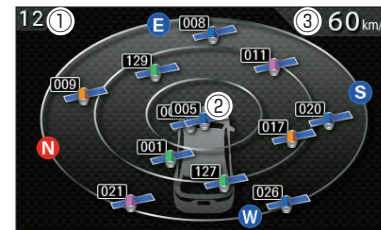
※ 写真の切替時間、切替時の表示方法(エフェクト)、写真の表示範囲(ズーム)の設定ができます。(☛ P.148)



11. 衛星情報

進行方向を上とした衛星位置、番号を表示します。

- ①衛星受信数
②衛星位置・方位
衛星の仰角と方位角を位置として表示します。外周に方位を示します。
③速度
※ 項目の変更はできません。



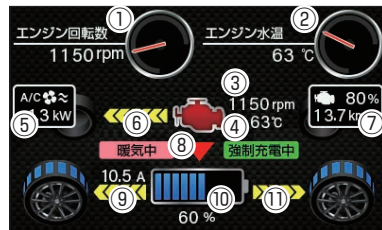
緑色(みちびき、ひまわり)、
オレンジ色(グロナス)、青色(GPS)、
紫色(GALILEO)

12. ハイブリッド

ハイブリッド情報とミニメーターを2つ(①②)表示します。

※ トヨタハイブリッド車に別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着した場合に表示します。

- ①★エンジン回転数
- ②★エンジン水温
- ③エンジン回転数
- ④エンジン水温
- ⑤HVエアコン消費電力
- ⑥緑：エンジンブレーキ
黄：エンジン駆動
- ⑦今回エンジン走行比率
/瞬間燃費
- ⑧赤(▼)：ジェネレーター発電
- ⑨緑：フロントモーター回生
黄：フロントモーター駆動
- ⑩バッテリー残量
- ⑪緑：リアモーター回生※1
黄：リアモーター駆動※1



初期値：★

※ 1：四輪駆動でない車両の場合は表示しません。

※ ミニメーター(①②)の項目は変更できます。(P.117)

※ エンジンの色は状態により変化します。(白色：停止、緑色：アイドリング、赤色：駆動、水色：エンジンブレーキ)

13. スペシャル

回転数、速度、エンジン水温、スロットル開度を表示します。

※ 別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着した場合に表示します。

- ①回転数
- ②速度
- ③エンジン水温
- ④スロットル開度



※ 項目の変更はできません。

14. AUTO

アナログ時計～スペシャルの11種類※1※2の待受画面を1分ごとに順番に切り替えて表示します。

※ 切り替える順番や間隔は変更できません。

※ 1：「ハイブリッド」待受画面は、トヨタハイブリッド車に別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着した場合に表示します。

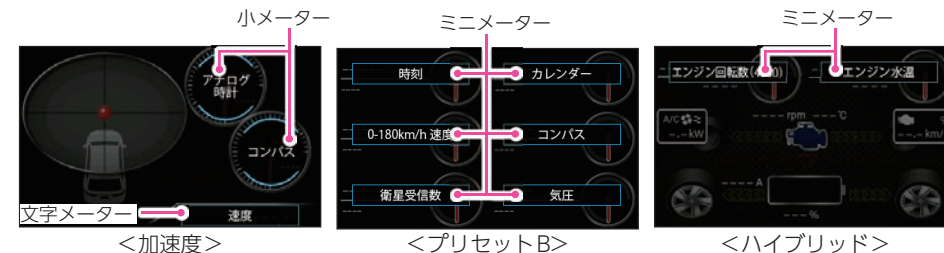
※ 2：「スペシャル」待受画面は、別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着した場合に表示します。

15. OFF

待受画面を表示しませんが、警報時にはCG実写警報またはテロップ警報で警報を行います。

項目変更のしかた

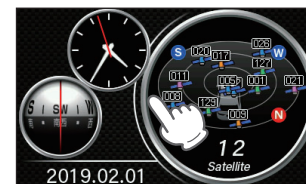
待受画面の[加速度][プリセットA][プリセットB][ハイブリッド]は表示項目を変更することができます。変更できる項目の詳細は P.118を参照ください。



1. 表示項目を変更する

例：待受画面[プリセットA]の大メーターを変更する

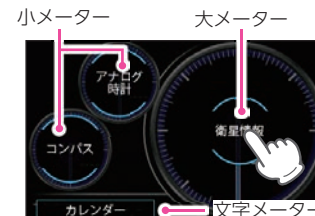
1-1 待受画面にタッチする



1-2 [項目変更]にタッチする



1-3 大メーターにタッチする



1-4 表示したい項目にタッチする



1-5 選択枠外にタッチする



大メーターが変更されます。

2. 項目設定一覧

※ OBDⅡアダプターで接続していない場合や項目を取得できない車両の場合など、項目を選択することはできません。あらかじめご了承ください。

■ 大メーター(73項目)

No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
1	アナログ時計		時刻をアナログで表示します。
2	デジタル時計		時刻をデジタルで表示します。
3	0-180km/h速度		速度を表示します。(メーター最大値が180km/hまたは240km/h)
4	0-240km/h速度		メイン針：速度、青針：平均速度、赤針：最高速度
5	平均速度		今回の速度の平均値を表示します。 メイン針：平均速度、青針：一般平均速度、 緑針：高速道平均速度 ※一度も高速を走行していないと判定されている場合は、緑針は表示されません。
6	5秒速度		発車から5秒後の速度を表示します。 メイン針：5秒速度、青針：平均5秒速度、赤針：最高5秒速度 ※一度停車→走行5秒が発生するまでは青/赤針は表示されません。
7	走行時間比率	要	運転時間に対して走行している時間の比率を表示します。
8	走行時間	要	今回の停車していない時間を表示します。 走行時間の秒：左半円バー、走行時間の分：長針、走行時間の時：短針、 走行時間/停車時間比率：右バー
9	運転時間	要	今回の運転時間を表示します。 運転時間の秒：左半円バー、運転時間の分：長針、運転時間の時：短針、 走行時間/停車時間比率：右バー
10	停車時間	要	今回の停車時間を表示します。 停車時間の秒：左半円バー、停車時間の分：長針、停車時間の時：短針、 停車時間/走行時間比率：右バー
11	ラップタイム	要	電源ONから各走行距離ごとにかかった時間を表示します。
12	0-400m時間	要	発車から各走行距離にかかった時間を表示します。
13	0-1000m時間	要	
14	走行比率	要	運転時間に対して走行している時間の比率を表示します。
15	速度別走行比率	要	各範囲の速度で走行している比率を表示します。
16	停車比率	要	運転時間に対して停車している時間の比率を表示します。
17	エンジン走行比率	要	今回走行した距離に対して今回エンジンで走行した比率を表示します。 メイン針：今回エンジン走行比率、青針：生涯エンジン走行比率
18	加速度		加速度の待受画面( P.114)の左側と同様の表示です。
19	前後加速度		前後方向の加速度をアナログと数値で表示します。 メイン針：前後加速度、赤針：最大加速度/最大減速度
20	左右加速度		左右方向の加速度をアナログと数値で表示します。 メイン針：左右加速度、赤針：左最大加速度/右最大加速度
21	加速時間	要	各範囲速度での走行時間を表示します。
22	平均加速時間	要	発車から各走行距離にかかった時間の平均時間を表示します。
23	最短加速時間	要	発車から各走行距離にかかった時間の最短時間を表示します。
24	傾斜		前後左右の傾斜角と方位を表示します。
25	ピッチレート		ピッチ角速度を表示します。
26	ロールレート		ロール角速度を表示します。
27	ヨーレート		ヨー角速度を表示します。
28	潮汐情報		潮汐情報を表示します。
29	衛星情報		衛星の受信状態を表示します。衛星の種類により、色が4色に変わります。 進行方向が上方向です。
30	気圧		現在の気圧を表示します。
31	インマニ圧(絶対圧)*1	要	インタークマニホールド内の圧力を表示します。(絶対圧) メイン針：インマニ圧(絶対圧)、赤針：最大絶対インマニ圧

No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
32	インマニ圧(絶対圧)*1	要	インタークマニホールド内の圧力を表示します。(絶対圧) メイン針：インマニ圧(絶対圧)、赤針：最大絶対インマニ圧
33	ブースト圧*1	要	ブースト圧を表示します。(絶対圧) メイン針：ブースト圧、赤針：最大ブースト圧
34	瞬間燃費*2	要	瞬間の燃費を表示します。 メイン針：瞬間燃費、青針：今回燃費、赤針：最大今回燃費
35	平均燃費*2(注1)	要	燃費の平均値を表示します。 メイン針：平均燃費、青針：一般道平均燃費、緑針：高速道平均燃費
36	生涯燃費*2(注2)	要	OBD情報オールクリアするまでの燃費の平均値を表示します。
37	移動平均燃費*2(注1)	要	直近16km区間での燃費を表示し、2Kmごとに更新されます。 メイン針：移動平均燃費、赤針：今回最大移動平均燃費
38	燃料流量	要	燃料の流量を表示します。 メイン針：燃料流量、青針：平均燃料流量、赤針：最大燃料流量
39	残燃料	要	燃料の残量を表示します。
40	消費燃料	要	消費燃料を表示します。
41	走行距離	要	走行距離を表示します。
42	生涯エンジン走行距離	要	OBD情報オールクリアするまでのエンジンで走行した距離を表示します。
43	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度を表示します。 メイン針：エンジン水温、赤針：最高エンジン水温
44	吸気温度	要	吸気温度を表示します。 メイン針：吸気温度、赤針：最高吸気温度
45	外気温*3	要	外気温度を表示します。 メイン針：外気温、赤針：最高外気温
46	エンジン油温*4	要	エンジンオイルの温度を表示します。 メイン針：エンジン油温、赤針：最高エンジン油温
47	スロットル開度*5	要	スロットルバルブの開度を表示します。 メイン針：スロットル開度、青針：平均スロットル開度、 赤針：最高スロットル開度
48	エンジン負荷*5	要	エンジンにかかる負荷を表示します。 メイン針：エンジン負荷、青針：平均エンジン負荷、 赤針：最高エンジン負荷
49	MAF	要	エンジンに吸気される空気量を表示します。
50	INJ	要	インジェクション噴射時間を表示します。
51	点火時期	要	エンジン点火プラグの点火時期を表示します。
52	エンジン回転数(4000)	要	エンジン回転数を表示します。(メーター最大値が4000rpm、6000rpm
53	エンジン回転数(6000)	要	または8000rpm)
54	エンジン回転数(8000)	要	メイン針：回転数、青針：平均回転数、赤針：最高回転数
55	高度		現在地の高度を表示します。
56	バッテリー電圧	要	バッテリーの電圧を表示します。
57	バッテリー電流	要	バッテリーの電流を表示します。
58	ハイブリッド情報*6	要	エンジン・モーター等の出力を表示します。 上部バー：今回エンジン走行比率、電池：HV全電池容量(8分割)、矢印： モーター駆動/回生/充電、暖気：強制暖気、充電：強制充電
59	HVシステムパワー*6	要	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
60	HV Frモーターパワー*6	要	フロントモーターの出力を表示します。
61	HV Rrモーターパワー*6	要	リヤモーターの出力を表示します。
62	HV Rrトルク配分比*6	要	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
63	HVバッテリー電圧*6	要	HVバッテリーの電圧値を表示します。
64	HV補機バッテリー電圧*6	要	HV補機バッテリーの電圧を表示します。
65	HV全電池容量*6	要	バッテリーの充電率を表示します。

No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
66	HVエンジンパワー※ ⁶	要	エンジンの出力を表示します。
67	HV昇圧後電圧※ ⁶	要	HVバッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
68	HVアクセル開度※ ⁶	要	アクセルの踏みこみ量を表示します。
69	HV A/C消費電力※ ⁶	要	現在のエアコン消費電力を表示します。
70	HVジェネレータ発電量※ ⁶	要	充電用発電機の発電量を表示します。
71	HV滑空※ ⁶	要	モーター / エンジンで駆動している時は「+」、電力を回生している時は「-」を表示します。
72	HV補機バッテリー電流※ ⁶	要	HV補機バッテリーの電流を表示します。
73	エコドライブ※ ⁷		エコドライブポイントを表示します。

■ 小メーター（102項目）

No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
1	アナログ時計		時刻をアナログで表示します。
2	デジタル時計		時刻をデジタルで表示します。
3	0-180km/h速度		速度を表示します。（メーター最大値が180km/hまたは240km/h）
4	0-240km/h速度		メイン針：速度、青針：平均速度、赤針：最高速度
5	平均速度		今回の速度の平均値を表示します。 メイン針：平均速度、青針：一般道平均速度、緑針：高速道平均速度 ※一度も高速を走行していない場合は緑針は表示されません。
6	5秒速度		発車から5秒後の速度を表示します。 メイン針：5秒速度、青針：平均5秒速度、赤針：最高5秒速度
7	走行時間比率	要	運転時間に対して走行している時間の比率を表示します。
8	走行時間	要	今回の停車していない時間を表示します。
9	運転時間	要	今回の運転時間を表示します。
10	停車時間	要	今回の停車時間を表示します。
11	1000mラップタイム	要	
12	5000mラップタイム	要	電源ONから各走行距離ごとにかかった時間を表示します。
13	10000mラップタイム	要	
14	0-400m時間	要	発車から各走行距離にかかった時間を表示します。
15	0-400m平均時間	要	発車から各走行距離にかかった時間の平均時間を表示します。
16	0-400m最短時間	要	発車から各走行距離にかかった時間の最短時間を表示します。
17	0-1000m時間	要	発車から各走行距離にかかった時間を表示します。
18	0-1000m平均時間	要	発車から各走行距離にかかった時間の平均時間を表示します。
19	0-1000最短時間	要	発車から各走行距離にかかった時間の最短時間を表示します。
20	走行比率	要	運転時間に対して走行している時間の比率を表示します。
21	速度別走行比率	要	各範囲の速度で走行している比率を表示します。
22	停車比率	要	運転時間に対して停車している時間の比率を表示します。
23	エンジン走行比率	要	今回走行した距離に対して今回エンジンで走行した比率を表示します。 メイン針：今回エンジン走行比率、青針：生涯エンジン走行比率
24	前後加速度		前後方向の加速度を表示します。 メイン針：前後加速度、赤針：最大加速度 / 最大減速度
25	左右加速度		左右方向の加速度を表示します。 メイン針：左右加速度、赤針：左最大加速度 / 右最大加速度
26	0-20km/h加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間を表示します。
27	0-40km/h加速時間	要	
28	0-60km/h加速時間	要	
29	0-80km/h加速時間	要	
30	0-100km/h加速時間	要	

No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
31	0-20km/h平均加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間の平均時間を表示します。
32	0-40km/h平均加速時間	要	
33	0-60km/h平均速度時間	要	
34	0-80km/h平均速度時間	要	
35	0-100km/h平均速度時間	要	
36	0-20km/h最短加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間の最短時間を表示します。
37	0-40km/h最短加速時間	要	
38	0-60km/h最短加速時間	要	
39	0-80km/h最短加速時間	要	
40	0-100km/h最短加速時間	要	
41	ピッチ		前後方向の回転を表示します。
42	ロール		左右方向の回転を表示します。
43	コンパス		北を0°とし時計回りに359°の範囲で進行方向を表示します。
44	ピッチレート		ピッチ角速度を表示します。
45	ロールレート		ロール角速度を表示します。
46	ヨーレート		ヨー角速度を表示します。
47	潮汐情報		潮汐情報を表示します。
48	衛星補足数		現在の全衛星受信数を表示します。
49	GPS受信数		現在のGPS受信数を表示します。
50	GLONASS受信数		現在のGLONASS受信数を表示します。
51	QZSS受信数		現在のQZSS受信数を表示します。
52	SBAS受信数		現在のSBAS受信数を表示します。
53	GALILEO受信数		現在のGALILEO受信数を表示します。
54	気圧		現在の気圧を表示します。
55	インマニ圧(相対圧)※ ¹	要	インテークマニホールド内の圧力を表示します。（相対圧） メイン針：インマニ圧(相対圧)、赤針：最大相対インマニ圧
56	インマニ圧(絶対圧)※ ¹	要	インテークマニホールド内の圧力を表示します。（絶対圧） メイン針：インマニ圧(絶対圧)、赤針：最大絶対インマニ圧
57	ブースト圧※ ¹	要	ブースト圧を表示します。（相対圧） メイン針：ブースト圧、赤針：最大ブースト圧
58	燃費※ ² (注1)	要	燃費を表示します。 メイン針：瞬間燃費、青針：今回平均燃費、赤針：今回最大燃費
59	平均燃費※ ² (注1)	要	燃費の平均値を表示します。 メイン針：平均燃費、青針：一般道平均燃費、緑針：高速道平均燃費
60	生涯燃費※ ² (注2)	要	OBD情報オールクリアまでの燃費の平均値を表示します。
61	移動平均燃費※ ² (注1)	要	直近16km区間での燃費を表示します。 メイン針：移動平均燃費、赤針：最大移動平均燃費
62	燃料流量	要	燃料の流量を表示します。 メイン針：燃料流量、青針：平均燃料流量、赤針：最大燃料流量
63	残燃料	要	残りの燃料を表示します。
64	今回消費燃料	要	今回走行時の消費燃料を表示します。
65	消費燃料	要	消費燃料を表示します。
66	生涯消費燃料(注2)	要	OBD情報オールクリアまでの消費燃料を表示します。
67	今回走行距離	要	今回走行時での走行距離を表示します。
68	走行距離	要	走行距離を表示します。
69	生涯走行距離(注2)	要	OBD情報オールクリアまでの走行距離を表示します。
70	生涯エンジン走行距離(注2)	要	OBD情報オールクリアまでのエンジンで走行した距離を表示します。
71	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度を表示します。 メイン針：エンジン水温、赤針：最高エンジン水温
72	吸気温度	要	吸気温度を表示します。 メイン針：吸気温度、赤針：最高吸気温度

No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
73	外気温 ^{*3}	要	外気温度を表示します。 メイン針：外気温、赤針：最高外気温
74	エンジン油温 ^{*4}	要	エンジンオイルの温度を表示します。 メイン針：エンジン油温、赤針：最高エンジン油温
75	スロットル開度 ^{*5}	要	スロットルバルブの開度を表示します。 メイン針：スロットル開度、青針：平均スロットル開度、赤針：最高スロットル開度
76	エンジン負荷 ^{*5}	要	メイン針：エンジン負荷、青針：平均エンジン負荷、赤針：最高エンジン負荷
77	MAF	要	エンジンに吸気される空気量を表示します。
78	INJ	要	インジェクション噴射時間を表示します。
79	点火時期	要	エンジン点火プラグの点火時期を表示します。
80	エンジン回転数(4000)	要	エンジン回転数を表示します。(メーター最大値が4000rpm、
81	エンジン回転数(6000)	要	6000rpmまたは8000rpm)
82	エンジン回転数(8000)	要	メイン針：回転数、青針：平均回転数、赤針：最高回転数
83	カレンダー		カレンダーを表示します。
84	高度		現在地の高度を表示します。
85	バッテリー電圧 ^{*4}	要	バッテリーの電圧を表示します。
86	バッテリー電流 ^{*4}	要	バッテリーの電流を表示します。
87	HVバッテリー電流 ^{*6}	要	HVバッテリーの充放電の電流値を表示します。
88	HVシステムパワー ^{*6}	要	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
89	HV Frモーターパワー ^{*6}	要	フロントモーターの出力を表示します。
90	HV Rrモーターパワー ^{*6}	要	リヤモーターの出力を表示します。
91	HV Rrトルク配分比 ^{*6}	要	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
92	HVバッテリー電圧 ^{*6}	要	HVバッテリーの電圧値を表示します。
93	HV補機バッテリー電圧 ^{*6}	要	HV補機バッテリーの電圧を表示します。
94	HV全電池容量 ^{*6}	要	バッテリーの充電率を表示します。
95	HVエンジンパワー ^{*6}	要	エンジンの出力を表示します。
96	HV昇圧後電圧 ^{*6}	要	HVバッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
97	HVアクセル開度 ^{*6*8}	要	アクセルの踏みこみ量を表示します。
98	HV A/C消費電力 ^{*6}	要	現在のエアコン消費電力を表示します。
99	HVジェネレータ発電量 ^{*6}	要	充電用発電機の発電量を表示します。 モーター / エンジンで駆動している時は「+」、電力を回生している時は「-」を表示します。
100	HV滑空	要	
101	HV補機バッテリー電流 ^{*7}	要	HV補機バッテリーの電流を表示します。
102	エコドライブ ^{*9}		エコドライブポイントを表示します。

■ ミニメーター(145項目)

No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
1	時刻		時刻をアナログで表示します。
2	0-180km/h速度		速度を表示します。
3	0-240km/h速度		(メーター最大値が180km/hまたは240km/h)
4	平均速度		今回の速度の平均値を表示します。
5	最高速度		今回の速度の最高値を表示します。
6	一般道平均速度		今回の一般道の速度の平均値を表示します。
7	高速道平均速度		今回の高速道の速度の平均値を表示します。
8	5秒速度		発車から5秒後の速度を表示します。
9	平均5秒速度		発車から5秒後の速度の平均値を表示します。
10	最高5秒速度		発車から5秒後の速度の最高値を表示します。

No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
11	1-20km/h走行時間	要	各範囲速度での走行時間を表示します。
12	20-40km/h走行時間	要	
13	40-60km/h走行時間	要	
14	60-80km/h走行時間	要	
15	80-100km/h走行時間	要	
16	100km/h以上走行時間	要	今回の停車していない時間を表示します。
17	走行時間	要	
18	運転時間	要	
19	停車時間	要	今回の停車時間を表示します。
20	1000mラップタイム	要	電源ONから各走行距離ごとにかかった時間を表示します。
21	5000mラップタイム	要	
22	10000mラップタイム	要	
23	0-400m時間	要	発車から各走行距離にかかった時間を表示します。
24	0-1000m時間	要	
25	0-400m平均時間	要	
26	0-1000m平均時間	要	発車から各走行距離にかかった時間の平均時間を表示します。
27	0-400m最短時間	要	
28	0-1000m最短時間	要	
29	走行比率	要	運転時間に対して走行している時間の比率を表示します。
30	1-20km/h走行比率	要	各範囲の速度で走行している比率を表示します。
31	20-40km/h走行比率	要	
32	40-60km/h走行比率	要	
33	60-80km/h走行比率	要	
34	80-100km/h走行比率	要	
35	100km/h以上走行比率	要	運転時間に対して停車している時間の比率を表示します。
36	停車比率	要	
37	今回エンジン走行比率	要	
38	生涯エンジン走行比率	要	今回走行した距離に対して今回エンジンで走行した比率を表示します。
39	生涯エンジン走行比率	要	生涯走行した距離に対して生涯エンジンで走行した比率を表示します。
40	エコドライブ総合 ^{*9}		エコドライブ画面の総合ポイントを表示します。
40	前後加速度		前後方向の加速度を表示します。
41	最大加速度(前後)		前後加速度の最大値を表示します。
42	最大減速度(前後)		前後減速度の最大値を表示します。
43	左右加速度		左右方向の加速度を表示します。
44	最大加速度(左右)		左右加速度の最大値を表示します。
45	0-20km/h加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間を表示します。
46	0-40km/h加速時間	要	
47	0-60km/h加速時間	要	
48	0-80km/h加速時間	要	
49	0-100km/h加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間の平均時間を表示します。
50	0-20km/h平均加速時間	要	
51	0-40km/h平均加速時間	要	
52	0-60km/h平均加速時間	要	
53	0-80km/h平均加速時間	要	
54	0-100km/h平均加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間の最短時間を表示します。
55	0-20km/h最短加速時間	要	
56	0-40km/h最短加速時間	要	
57	0-60km/h最短加速時間	要	
58	0-80km/h最短加速時間	要	
59	0-100km/h最短加速時間	要	前後方向の回転を表示します。
60	ビッチ		

No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
61	ロール		左右方向の回転を表示します。
62	コンパス		北を0°とし時計回りに359°の範囲で進行方向を表示します。
63	ピッチレート		ピッチ角速度を表示します。
64	ロールレート		ロール角速度を表示します。
65	ヨーレート		ヨー角速度を表示します。
66	最大ピッチレート		ピッチ角速度の最大値を表示します。
67	最大ロールレート		ロール角速度の最大値を表示します。
68	最大ヨーレート		ヨー角速度の最大値を表示します。
69	潮汐情報		潮汐情報を表示します。
70	衛星受信数		現在の全衛星受信数を表示します。
71	GPS 受信数		現在のGPS 受信数を表示します。
72	GLONASS 受信数		現在のGLONASS 受信数を表示します。
73	QZSS 受信数		現在のQZSS 受信数を表示します。
74	SBAS 受信数		現在のSBAS 受信数を表示します。
75	GALILEO 受信数		現在のGALILEO 受信数を表示します。
76	気圧		現在の気圧を表示します。
77	インマニ圧(相対圧)* ¹	要	インマニ圧の相対値を表示します。
78	最大インマニ圧(相対圧)* ¹	要	インマニ圧の相対値の最大値を表示します。
79	インマニ圧(絶対圧)* ¹	要	インマニ圧の絶対値を表示します。
80	最大インマニ圧(絶対圧)* ¹	要	インマニ圧の絶対値の最大値を表示します。
81	ブースト圧(相対圧)* ¹	要	ブースト圧の相対値を表示します。
82	最大ブースト圧(相対圧)* ¹	要	ブースト圧の最大値を表示します。
83	瞬間燃費* ²	要	瞬間の燃費を表示します。
84	今回燃費* ² (注1)	要	今回走行での燃費の平均値を表示します。 ※ 電源ONごとにリセットされます。
85	最大今回燃費* ² (注1)	要	今回走行時の燃費の最大値を表示します。
86	平均燃費* ² (注1)	要	燃費の平均値を表示します。
87	一般道平均燃費* ² (注1)	要	一般道での燃費の平均値を表示します。
88	高速道平均燃費* ² (注1)	要	高速道での燃費の平均値を表示します。
89	生涯燃費* ² (注2)	要	OBD 情報オールクリアするまでの燃費の平均値を表示します。
90	移動平均燃費* ² (注1)	要	直近16km 区間での燃費を表示します。
91	最大移動平均燃費* ² (注1)	要	16km 区間での移動平均燃費の最大値を表示します。
92	燃料流量	要	燃料の流量を表示します。
93	平均燃料流量	要	今回走行時での燃料流量の平均値を表示します。
94	最大燃料流量	要	今回走行時での燃料流量の最大値を表示します。
95	残燃料	要	残りの燃料を表示します。
96	燃料レベル	要	残りの燃料レベル(割合)を表示します。
97	今回消費燃料	要	今回走行時の消費燃料を表示します。
98	消費燃料(注1)	要	消費燃料を表示します。
99	生涯消費燃料(注2)	要	OBD 情報オールクリアするまでの消費燃料を表示します。
100	今回走行距離	要	今回走行時での走行距離を表示します。
101	走行距離	要	走行距離を表示します。
102	生涯走行距離(注2)	要	OBD 情報オールクリアするまでの走行距離を表示します。
103	今回エンジン走行距離	要	エンジンで走行した距離を表示します。
104	生涯エンジン走行距離(注2)	要	OBD 情報オールクリアするまでのエンジンで走行した距離を表示します。
105	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度を表示します。
106	最高エンジン水温	要	エンジン水温の最高値を表示します。
107	吸気温度	要	吸気温度を表示します。
108	最高吸気温度	要	吸気温の最高値を表示します。
109	外気温* ³	要	外気温度を表示します。

No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
110	最高外気温* ³	要	外気温の最高値を表示します。
111	エンジン油温	要	エンジンオイルの温度を表示します。
112	最高エンジン油温	要	エンジン油温の最高値を表示します。
113	スロットル開度* ⁴	要	スロットルバルブの開度を表示します。
114	平均スロットル開度* ⁴	要	今回走行時のスロットル開度の平均値を表示します。
115	最大スロットル開度* ⁴	要	今回走行時のスロットル開度の最大値を表示します。
116	エンジン負荷* ⁴	要	エンジンにかかる負荷を表示します。
117	平均エンジン負荷* ⁴	要	今回走行時のエンジン負荷の平均値を表示します。
118	最大エンジン負荷* ⁴	要	今回走行時のエンジン負荷の最大値を表示します。
119	MAF	要	エンジンに吸気される空気量を表示します。
120	INJ	要	インジェクション噴射時間を表示します。
121	点火時期	要	エンジン点火プラグの点火時期を表示します。
122	エンジン回転数(4000)	要	エンジンの回転数を表示します。(メーターの最大値が4000rpm、6000rpmまたは8000rpm)
123	エンジン回転数(6000)	要	
124	エンジン回転数(8000)	要	
125	平均回転数	要	今回走行時の回転数の平均値を表示します。
126	最高回転数	要	今回走行時の回転数の最高値を表示します。
127	カレンダー		カレンダーを表示します。
128	高度		現在地の高度を表示します。
129	バッテリー電圧* ⁵	要	バッテリーの電圧を表示します。
130	バッテリー電流* ⁵	要	バッテリーの電流を表示します。
131	HVバッテリー電流* ⁶	要	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
132	HV 補機バッテリー電流* ⁷	要	HV 補機バッテリーの電流を表示します。
133	HV システムパワー* ⁶	要	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
134	HV Frモーターパワー* ⁶	要	フロントモーターの出力を表示します。
135	HV Rrモーターパワー* ⁶	要	リヤモーターの出力を表示します。
136	HV Rrトルク配分比* ⁶	要	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
137	HVバッテリー電圧* ⁶	要	HV バッテリーの電圧値を表示します。
138	HV 補機バッテリー電圧* ⁶	要	HV 補機バッテリーの電圧を表示します。
139	HV 全電池容量* ⁶	要	バッテリーの充電率を表示します。
140	HV エンジンパワー* ⁶	要	エンジンの出力を表示します。
141	HV 昇圧後電圧* ⁶	要	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
142	HV アクセル開度* ^{6**8}	要	アクセルの踏みこみ量を表示します。
143	HV A/C消費電力* ⁶	要	現在のエアコン消費電力を表示します。
144	HV ジェネレータ発電量* ⁶	要	充電用発電機の発電量を表示します。
145	HV 滑空	要	モーター / エンジンで駆動している時は「+」、電力を回生している時は「-」を表示します。

■ 文字メーター(161項目)

No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
1	時刻		時刻をデジタルで表示します。
2	速度		速度を表示します。
3	平均速度		今回の速度の平均値を表示します。
4	最高速度		今回の速度の最高値を表示します。
5	一般道平均速度		今回の一般道の速度の平均値を表示します。
6	高速道平均速度		今回の高速道の速度の平均値を表示します。
7	5秒速度		発車から5秒後の速度を表示します。
8	平均5秒速度		発車から5秒後の速度の平均値を表示します。
9	最高5秒速度		発車から5秒後の速度の最高値を表示します。

No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
10	1-20km/h 走行時間	要	各範囲速度での走行時間を表示します。
11	20-40km/h 走行時間	要	
12	40-60km/h 走行時間	要	
13	60-80km/h 走行時間	要	
14	80-100km/h 走行時間	要	
15	100km/h 以上走行時間	要	各範囲速度での走行時間を表示します。
16	走行時間	要	
17	運転時間	要	
18	停車時間	要	
19	1000m ラップタイム	要	
20	5000m ラップタイム	要	電源 ON から各走行距離ごとにかかった時間を表示します。
21	10000m ラップタイム	要	
22	0-400m 時間	要	
23	0-1000m 時間	要	
24	0-400m 平均時間	要	
25	0-1000m 平均時間	要	発車から各走行距離にかかった時間の平均時間を表示します。
26	0-400m 最短時間	要	
27	0-1000m 最短時間	要	
28	走行比率	要	
29	1-20km/h 走行比率	要	
30	20-40km/h 走行比率	要	各範囲の速度で走行している比率を表示します。
31	40-60km/h 走行比率	要	
32	60-80km/h 走行比率	要	
33	80-100km/h 走行比率	要	
34	100km/h 以上走行比率	要	
35	停車比率	要	運転時間に対して停車している時間の比率を表示します。
36	今回エンジン走行比率	要	
37	生涯エンジン走行比率	要	
38	エコドライブ総合 ^{*9}		
39	エコドライブ加速 ^{*9}		
40	エコドライブ減速 ^{*9}		エコドライブ画面の急加速ポイントを表示します。
41	エコドライブ経済速度 ^{*9}		
42	エコドライブアイドリング ^{*9}		
43	アイドリング停止時間 / エンジン停止時間 (注3)	要	
44	最小アイドリング停止時間 / 最小エンジン停止時間 (注3)	要	
45	最大アイドリング停止時間 / 最大エンジン停止時間 (注3)	要	アイドリングストップ / エンジン停止した時間の最大値を表示します。
46	アイドリング時間	要	
47	エンジン始動回転	要	
48	アイドリング停止回転 / エンジン停止回数 (注3)	要	
49	0-10 秒停止回数 / 0-10 秒 エンジン停止回数 (注3)	要	
50	10-20 秒停止回数 / 10-20 秒 エンジン停止回数 (注3)	要	今回アイドリングストップ / エンジン停止した回数を表示します。
51	20-30 秒停止回数 / 20-30 秒 エンジン停止回数 (注3)	要	
52	30 秒以上停止回数 / 30 秒 以上エンジン停止回数 (注3)	要	

No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
53	0-10 秒停止比率 / 0-10 秒 エンジン停止 比率 (注3)	要	アイドリングストップ / エンジン停止時間の各範囲の比率を表示します。
54	10-20 秒停止比率 / 10-20 秒 エンジン停止 比率 (注3)	要	
55	20-30 秒停止比率 / 20-30 秒 エンジン停止 比率 (注3)	要	
56	30 秒以上停止比率 / 30 秒 以上エンジン停止 比率 (注3)	要	
57	前後加速度		
58	最大加速度 (前後)		前後加速度の最大値を表示します。
59	最大減速度 (前後)		前後減速度の最大値を表示します。
60	左右加速度		左右方向の加速度を表示します。
61	最大加速度 (左右)		左右加速度の最大値を表示します。
62	0-20km/h 加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間を表示します。
63	0-40km/h 加速時間	要	
64	0-60km/h 加速時間	要	
65	0-80km/h 加速時間	要	
66	0-100km/h 加速時間	要	
67	0-20km/h 平均加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間の平均時間を表示します。
68	0-40km/h 平均加速時間	要	
69	0-60km/h 平均加速時間	要	
70	0-80km/h 平均加速時間	要	
71	0-100km/h 平均加速時間	要	
72	0-20km/h 最短加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間の最短時間を表示します。
73	0-40km/h 最短加速時間	要	
74	0-60km/h 最短加速時間	要	
75	0-80km/h 最短加速時間	要	
76	0-100km/h 最短加速時間	要	
77	ピッチ		前後方向の回転を表示します。
78	ロール		左右方向の回転を表示します。
79	コンパス		北を 0° とし時計回りに 359° の範囲で進行方向を表示します。
80	ピッチレート		ピッチ角速度を表示します。
81	ロールレート		ロール角速度を表示します。
82	ヨーレート		ヨー角速度を表示します。
83	最大ピッチレート		ピッチ角速度の最大値を表示します。
84	最大ロールレート		ロール角速度の最大値を表示します。
85	最大ヨーレート		ヨー角速度の最大値を表示します。
86	潮汐情報		検潮地点名、月齢、潮名を表示します。 周期的に、満潮・干潮時刻と潮位を表示します。
87	衛星受信数		衛星の受信状態を表示します。
88	GPS 受信数		現在の GPS 受信数を表示します。
89	GLONASS 受信数		現在の GLONASS 受信数を表示します。
90	QZSS 受信数		現在の QZSS 受信数を表示します。
91	SBAS 受信数		現在の SBAS 受信数を表示します。
92	GALILEO 受信数		現在の GALILEO 受信数を表示します。
93	気圧		現在の気圧を表示します。
94	インマニ圧 (相対圧)	要	インマニ圧の相対値を表示します。

No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
95	最大インマニ圧(相対圧)	要	インマニ圧の相対値の最大値を表示します。
96	インマニ圧(絶対圧)	要	インマニ圧の絶対値を表示します。
97	最大インマニ圧(絶対圧)	要	インマニ圧の絶対値の最大値を表示します。
98	ブースト圧(相対圧)	要	ブースト圧の相対値を表示します。
99	最大ブースト圧(相対圧)	要	ブースト圧の最大値を表示します。
100	瞬間燃費 ^{*2}	要	瞬間の燃費を表示します。
101	今回燃費 ^{*2} (注1)	要	今回走行での燃費の平均値を表示します。 ※ 電源ONごとにリセットされます。
102	最大今回燃費 ^{*2} (注1)	要	今回走行時の燃費の最大値を表示します。
103	平均燃費 ^{*2} (注1)	要	燃費の平均値を表示します。
104	一般道平均燃費 ^{*2} (注1)	要	一般道での燃費の平均値を表示します。
105	高速道平均燃費 ^{*2} (注1)	要	高速道での燃費の平均値を表示します。
106	生涯燃費 ^{*2} (注2)	要	OBD 情報オールクリアするまでの燃費の平均値を表示します。
107	移動平均燃費 ^{*2} (注1)	要	直近 16km 区間での燃費を表示します。
108	最大移動平均燃費	要	16km 区間での移動平均燃費の最大値を表示します。
109	燃料流量	要	燃料の流量を表示します。
110	平均燃料流量	要	今回走行時での燃料流量の平均値を表示します。
111	最大燃料流量	要	今回走行時での燃料流量の最大値を表示します。
112	残燃料	要	残りの燃料を表示します。
113	燃料レベル	要	残りの燃料レベル(割合)を表示します。
114	今回消費燃料	要	今回走行時の消費燃料を表示します。
115	消費燃料(注1)	要	消費燃料を表示します。
116	生涯消費燃料(注2)	要	OBD 情報オールクリアするまでの消費燃料を表示します。
117	今回走行距離	要	今回走行時での走行距離を表示します。
118	走行距離(注1)	要	走行距離を表示します。
119	生涯走行距離(注2)	要	OBD 情報オールクリアするまでの走行距離を表示します。
120	今回エンジン走行距離	要	エンジンで走行した距離を表示します。
121	生涯エンジン走行距離(注2)	要	OBD 情報オールクリアするまでのエンジンで走行した距離を表示します。
122	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度を表示します。
123	最高エンジン水温	要	エンジン水温の最高値を表示します。
124	吸気温度	要	吸気温度を表示します。
125	最高吸気温度	要	吸気温の最高値を表示します。
126	外気温 ^{*3}	要	外気温度を表示します。
127	最高外気温	要	外気温の最高値を表示します。
128	エンジン油温 ^{*4}	要	エンジンオイルの温度を表示します。
129	最高エンジン油温 ^{*4}	要	エンジン油温の最高値を表示します。
130	スロットル開度 ^{*5}	要	スロットルバルブの開度を表示します。
131	平均スロットル開度	要	今回走行時のスロットル開度の平均値を表示します。
132	最大スロットル開度	要	今回走行時のスロットル開度の最大値を表示します。
133	エンジン負荷 ^{*5}	要	エンジンにかかる負荷を表示します。
134	平均エンジン負荷	要	今回走行時のエンジン負荷の平均値を表示します。
135	最大エンジン負荷	要	今回走行時のエンジン負荷の最大値を表示します。
136	MAF	要	エンジンに吸気される空気量を表示します。
137	INJ	要	インジェクション噴射時間を表示します。
138	点火時期	要	エンジン点火プラグの点火時期を表示します。
139	エンジン回転数	要	エンジンの回転数を表示します。
140	平均回転数	要	今回走行時の回転数の平均値を表示します。
141	最高回転数	要	今回走行時の回転数の最高値を表示します。
142	カレンダー		カレンダーを表示します。

No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
143	高度		現在地の高度を表示します。
144	バッテリー電圧 ^{*4}	要	バッテリーの電圧を表示します。
145	バッテリー電流 ^{*4}	要	バッテリーの電流を表示します。
146	HV バッテリー電流 ^{*6}	要	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
147	HV 補機バッテリー電流 ^{*7}	要	HV 補機バッテリーの電流を表示します。
148	HV システムパワー ^{*6}	要	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
149	HV Fr モーターパワー	要	フロントモーターの出力を表示します。
150	HV Rr モーターパワー ^{*6}	要	リヤモーターの出力を表示します。
151	HV Rr トルク配分比 ^{*6}	要	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
152	HV バッテリー電圧 ^{*6}	要	HV バッテリーの電圧値を表示します。
153	HV 補機バッテリー電圧 ^{*6}	要	HV 補機バッテリーの電圧を表示します。
154	HV 全電池容量 ^{*6}	要	バッテリーの充電率を表示します。
155	HV エンジンパワー ^{*6}	要	エンジンの出力を表示します。
156	HV 昇圧後電圧 ^{*6}	要	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
157	HV アクセル開度 ^{*6**8}	要	アクセルの踏みこみ量を表示します。
158	HV A/C 消費電力 ^{*6}	要	現在のエアコン消費電力を表示します。
159	HV ジェネレータ発電量 ^{*6}	要	充電用発電機の発電量を表示します。
160	HV 滑空 ^{*6}	要	モーター / エンジンで駆動している時は「+」、電力を回生している時は「-」を表示します。
161	非表示		メーターを表示しません。

注1：[OBD]→[平均クリア]でリセットされます。
注2：[OBD]→[OBD 情報オールクリア]でリセットされます。[平均クリア]ではリセットされません。
注3：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ項目名が切り替わります。

※ 1：この数値は1気圧に対しての相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は0を超えません。
※ 2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費と一致しない場合があります。数値の補正はできません。
※ 3：車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。
※ 4：別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ選択できます。
※ 5：アイドリング中でも0%にならない場合があります。
※ 6：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ選択できます。
※ 7：トヨタハイブリッド車に別売品のOBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ)を装着時のみ選択できます。
※ 8：アクセルペダルを踏み込んでいなくても0%にならない場合があります。
※ 9：エコドライブのポイント(pt)は弊社独自の採点方法で、「急加速(Accel)」、「急減速(Brake)」、「アイドリング(Idle)」、「経済速度(Speed)」から算出した総合点(Total)です。

警報画面について

1. 警報画面について

取締レーダー波/レーザー光を感知したり、注意度の高いオービスや取締エリアなどのGPSターゲットに近づくと、各種待受画面から警報画面(マップ)に切り替わり警報します。

※ 警報画面切替が[待受固定]の場合、画面下にテロップ表示で警報します。(P.131)

■ GPSターゲット警報時(CG実写警報)



CG&実写警報

CG実写警報例



- 実写の前にCGでお知らせします。
- 高速道路のみ約2km手前でも表示されます。(制限速度を超えている場合のみ)
- 実写内にオービスの位置を矢印で表示します。
- 実写データが登録されていないポイントでは、実写は表示されません。

取締エリア実写例



- 実写データがない取締エリアでは、イメージ写真で表示します。
- 一時停止取締エリアでは、エリア内でのみ表示します。

警報画面 警報ムービー 4色識別アラーム

レベル高



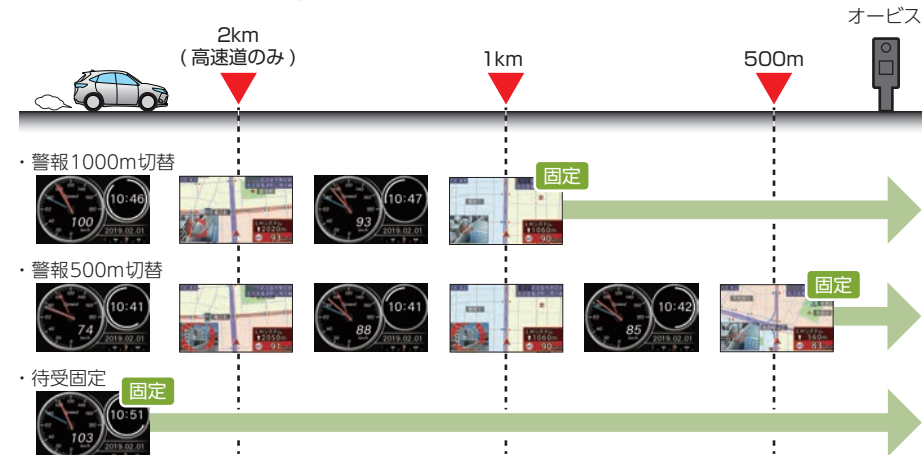
レベル低

- ループコイルなど「嚴重注意」ターゲットを赤色の背景で警報。ターゲット名はもちろん、ステルス波やレーダー波は電波受信をレベル表示します。
- 取締エリアなど「要注意」ターゲットを黄色の背景で警告。ターゲット名とターゲットまでの距離をカウントダウン表示します。
- 連続カーブなど「少し注意」ターゲットを青色の背景で告知。
- ETCレーンなど「安全運転のための情報」を緑色の背景でお知らせします。

■ 警報画面切替 (P.148)

警報画面(マップ)に固定され警報する距離を選択できます。

例: GPSターゲット警報時



警報1000m切替 ^{※1} (初期値)	ターゲットの手前1kmから警報画面(マップ)に固定され警報します。
警報500m切替 ^{※1}	ターゲットの手前500mから警報画面(マップ)に固定され警報します。
待受固定	待受画面で固定され、画面下にテロップ表示で警報します。(テロップ警報)

※1: 警報する距離が短いターゲットの場合は、「お知らせするタイミング(距離の目安) (P.134)の距離で警報画面(マップ)に切り替わります。

※ ターゲット通過後は待受画面に戻ります。

■ テロップ警報

警報画面切替が[待受固定]の場合、画面下にテロップ表示で警報します。



- ① GPSターゲットの種類
- ② 制限速度^{※1}
- ③ GPSターゲットの方向^{※2}
- ④ GPSターゲットまでの距離^{※2}

※1: 制限速度表示は、オービス(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス/レーザー式オービス)と一部の取締エリア警報時に表示します。制限速度は普通自動車に対する表示となります。事故や天候、時間帯などで変化する制限速度には対応しておりません。状況に応じた制限速度で走行してください。

※2: GPSターゲットによっては表示されません。

※ 待受画面[マップ]は[待受固定]に設定してもCGと実写、メッセージウィンドウで警報します。

2. メッセージウィンドウについて

警報時やお知らせ時に画面右下に各種警報を表示し、必要な情報を確認できます。

■ メッセージウィンドウ (取締レーダー波)



- ①取締レーダー波の種類
- ②受信レベル1(低)~5(高)
- ③速度

■ メッセージウィンドウ (取締レーザー光)



- ①速度

■ メッセージウィンドウ (GPSターゲット)



- ①GPS ターゲットの種類
- ②GPS ターゲットの方向
- ③制限速度*1
- ④GPS ターゲットまでの距離
- ⑤速度

※1：制限速度表示は、オービス（ループコイル／LHシステム／新Hシステム／レーダー式オービス／レーザー式オービス）と一部の取締エリア警報時に表示します。制限速度は普通自動車に対する表示となります。事故や天候、時間帯などで変化する制限速度には対応しておりません。状況に応じた制限速度で走行してください。

■ メッセージウィンドウ (無線)



- ①無線の種類
- ②速度

※ 表示される時刻・速度・距離は、GPSの受信状況により、誤差を生じることがあります。

※ 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自転車アイコンは、GPSやGセンサー、ジャイロセンサー、気圧センサー、マップマッチングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。

※ GPS非測位時、走行速度は表示しません。

※ OBDIIアダプターを接続するとGPS非測位時でも走行速度が表示されます。

3. ジングルについて

本機が警報やお知らせをする際に、お知らせする項目の前に鳴る注意喚起音のことです。

例：GPSターゲット警報時

「ジングル」+「〇〇m先オービスです」



オービス

4. Wアラーム(ダブルアラーム)について

音(電子音/ボイス/クワイアットボイス/メロディ)と画面表示のダブルで警報します。

※ レーダー波受信時の音(レーダーメロディ 1)はお好みの音声にカスタムできます。(▶ P.100)

5. オートクワイアットについて

レーダー波/レーザー光の受信が約30秒以上続くと、自動的に警報音の音量が小さくなります。

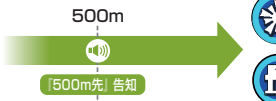
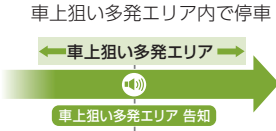
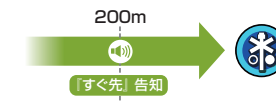
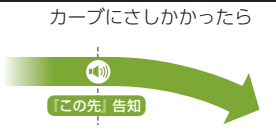
警報ボイスについて

1. GPSターゲット57識別について

※ GPSの受信状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。
※ オービス警報時の音(オービスジングル)、GPS警報/告知時の音(GPS警報ジングル/GPS告知ジングル)は
お好みの音声にカスタムできます。(P.100)

ターゲットの種類		お知らせするタイミング(距離の目安)	LED
	ループコイル	2km(高速道のみ) 1km 500m 直前 通過 「2km 先」警報 「1km 先」警報 「500m 先」警報 通過告知 制限速度切替告知 ※1 制限速度告知 カメラ位置告知 直前走行速度告知 速度超過告知 ※1：制限速度切替告知は、高速道路の制限速度切替ポイントでお知らせします。LED色は黄色になります。	赤 黄 ※1
	新Hシステム		
	LHシステム		
	レーダー式オービス(小型オービス含む)		
	レーザー式オービス		
	移動オービスエリア	1km 500m エリア進入 エリア脱出 「1km 先」警告 取締エリア警告 取締圏外識別警告 制限速度告知 レベル 1 2 3 4 5 取締頻度 低 高 ※ 1km手前では左右方向もお知らせします。 ※ 「トンネル内追尾式取締エリア」、「トンネル出口直後速度取締エリア」から脱出した場合は、取締圏外識別警告は行いません。	黄
	速度取締エリア		
	追尾式取締エリア		
	交差点取締エリア		
	その他取締エリア		
	一時停止取締エリア	100m 「すぐ先」警告	黄
	シートベルト検問	1km エリア進入 エリア脱出 「1km 先」警告 検問エリア警告 検問圏外識別警告 レベル 1 2 3 4 5 取締頻度 低 高 ※ 1km手前では左右方向もお知らせします。	青
	携帯電話検問		
	飲酒検問		
	その他の検問		

ターゲットの種類		お知らせするタイミング (距離の目安)		LED
	交差点監視ポイント			黄
	信号無視抑止システム			
	高速交通警察隊			
	駐禁最重点エリア / 駐禁重点エリア マップ上には表示されません。			
	一時停止注意ポイント	※ 東京都23区内、名古屋市内、大阪市内の一時停止注意ポイントが登録されています。		
	マイエリア			
	ゾーン30エリア マップ上には表示されません。			
	ラウンドアバウト			
	要注意踏切 ・ 事故多発踏切 ・ 通学路注意踏切 ・ 歩道狭路踏切 ・ 歩行者ボトルネック踏切 ・ 自動車ボトルネック踏切 ・ 開かずの踏切			
	Nシステム			
	交通監視システム			
	事故多発エリア			

ターゲットの種類		お知らせするタイミング(距離の目安)		LED
	警察署	 500m 「500m先」お知らせ		青
	交番			
	車上狙い多発エリア マップ上には表示されません。	 車上狙い多発エリア内で停車 車上狙い多発エリア 車上狙い多発エリア 告知		
	踏切	 200m 「すぐ先」告知		
	高速道 急カーブ/ 連続カーブ マップ上には表示されません。	 カーブにさしかかったら 「この先」告知		
 	高速道 分岐 /合流ポイント マップ上には表示されません。	 分岐にさしかかったら 「この先」分岐告知  合流にさしかかったら 「この先」合流告知		
	ETCレーン	 ETCレーンにさしかかったら ETCレーン お知らせ ※ ETCレーンの位置によって「右側/左側/中央/両サイド」でお知らせします。 ※ 交通量や時間によるETCレーンの位置変更には対応しておりません。目安としてお考えください。		
	サービスエリア	 1km 「1km 先」お知らせ 「スマートインターチェンジ」お知らせ 「ガスステーション」お知らせ		緑
	パーキングエリア			
	ハイウェイオアシス	 1km 500m 「1km 先」お知らせ 「500m先」お知らせ		
	高速道 長/連続トンネル			
	道の駅			
	ビューポイントパーキング			

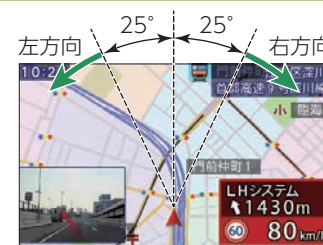
ターゲットの種類	お知らせするタイミング(距離の目安)	LED
 ハイウェイラジオ受信 エリア		緑
 県境告知 マップ上には表示されません。		
 (駐車禁止エリア付近) 駐車場	ターゲットに近づくときマップに切り替わり、メッセージウィンドウとマップ上でのアイコンで表示します。 ※ 音声や警報音ではお知らせしません。	
 消防署		
 公衆トイレ		
 充電ステーション	ターゲットに近づくときマップに切り替わり、マップ上でのアイコンで表示します。 ※ 音声や警報音ではお知らせしません。	

※ 普通自動車の制限速度でお知らせします。
 ※ トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスは直前直後速度告知を行いません。
 ※ トンネル出口ターゲットと制限速度が登録されていない場合は制限速度告知を行いません。
 ※ トンネル出口ターゲットはカメラ位置告知を行いません。
 ※ 事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。
 ※ 本機に登録されている検問エリア/取締エリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。

2. 左右方位認識ボイスについて

GPS 警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約 25° 以上のとき、「左方向」または「右方向」のボイスを付加して、その方向をお知らせします。

※ 「右方向」、「左方向」のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
 ※ ターゲットまでの距離が非常に近い場合は、左右方向識別ボイスをお知らせしないこともあります。



3. オービスロケーションについて

オービスの手前 500m で目標物(交差点・バス停・陸橋・高速のキロポストなど)と、オービスの種類などのアナウンスをより安全でわかりやすく行います。

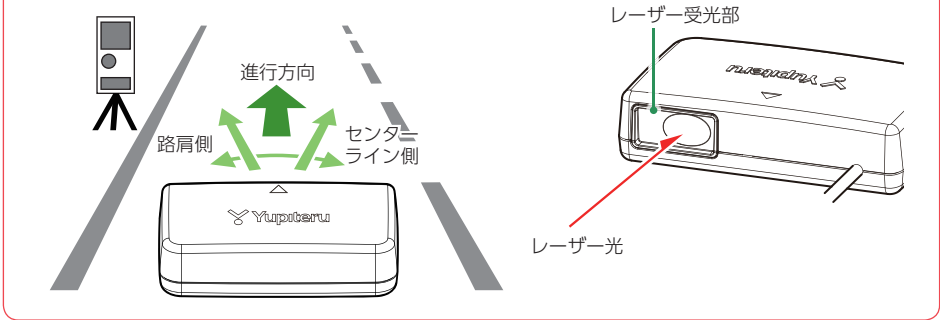
レーザー式取締について

1. レーザー光受信機能について

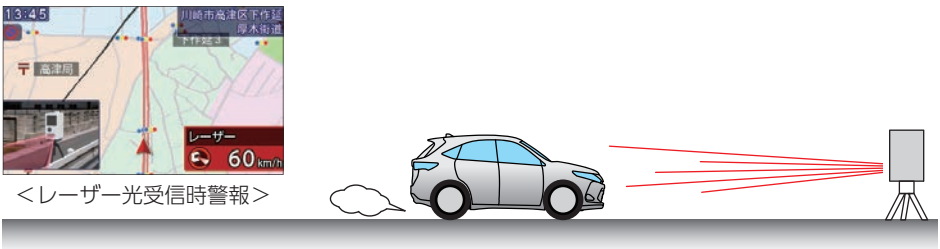
本機はアンテナユニットにあるレーザー受光部に、レーザー光を受信すると警報します。
※ レーザー受光部に受信しないと警報しません。取り付け位置や環境などによって受信できない場合があります。
先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

注意

- 一部の車種に採用されているUV、IRカットガラスのなかに、レーザー光の透過率が低く取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。
- レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの周辺では取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。
- 取締レーザー光以外でも以下の周辺では反応する場合がありますが、これは誤動作ではありませんのでご了承ください。(レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの一部)
- アンテナユニットのレーザー受光部は進行方向に向けてください。進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。



レーザー光発信源の位置を表示することはできません。
レーザー光の受信を警報する画面は、レーザー光を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締に関係するレーザー光が発信されていることを警報します。



取締レーザー波について

1. レーダー波4識別(iDSP)について

本機は、iDSP/統合的デジタル信号処理技術 (integrated Digital Signal Processing Technology) により、ステルス型取締機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、アイキャンセル(P.159)により取締波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。
※ iDSPはステルス型の取締機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
※ 新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。
※ ステルス波は通常レーダー波を基にして識別します。新型レーダー波からは識別されません。

レーダー波4識別

●赤：警報、●黄：警告、●青：告知、●緑：情報

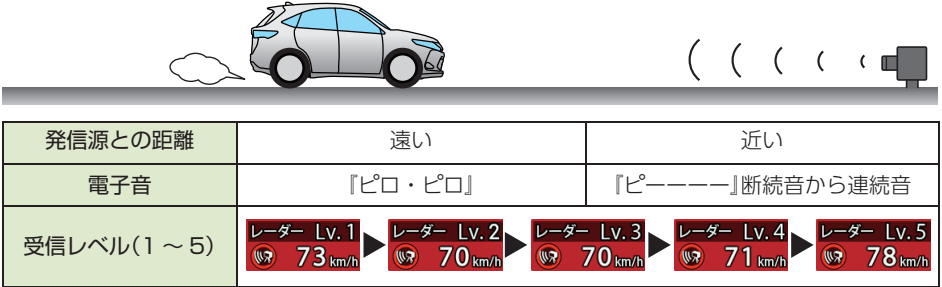
種 類		LED				
●赤	ステルス波	受信レベル により変化	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
	通常レーダー波		レベル5			
	新型レーダー波 (Kバンドレーダー式オービス)		黄緑	黄	薄い橙	橙
	キャンセル告知					赤

2. 後方受信について

iDSP による超高精度識別およびスーパーエクストラの超高感度受信により、後方からの取締レーダー波も受信が可能です。

3. 接近テンポアップ(電子音選択時のみ)について

取締レーダー波発信源への接近に伴う電波強度の変化に合わせて電子音のテンポが上がっていきます。



無線について

レーザー光

+

GPS

+

Xバンド
Kバンド

+

無線14バンド

=

18 BAND

レーザー光、取締レーザー波のX・Kツインバンド、GPSの4バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、18バンド受信ができます。

無線発信源の位置を表示することはできません。

無線の受信を警報する画面は、無線を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締に関係する無線が発信されていることを警報します。

1. 無線14バンド受信機能

※ 無線受信時の音(無線ジングル)は変更できます。(🔊 P.100「カスタムについて」)

無線の種類	LED	無線の説明
カーロケ無線 (カーロケーターシステム) 🔊『カーロケ近接受信です』 🔊『カーロケ遠方受信です』 🔊『カーロケ圏外です』 ※ カーロケ無線の発信元が遠ざかった可能性が高いとき	桃 黄 水色	「無線自動車動態表示システム」のことで、警察の通信司令本部がパトカーなどの移動局の現在位置をリアルタイムで地図上に表示し、把握するためのシステムです。カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、それを407.7MHz帯の周波数でデータ伝送しています。本機は、それを受信することにより、移動局が近くにいることを警報します。 ※ カーロケーターシステム搭載車であっても、カーロケ無線が使用されていない場合は、受信できないことがあります。 ※ カーロケーターシステムは全国的に新システムへと移行しています。現在は受信できる地域でも、新システム移行後は受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムに移行した地域では、カーロケ無線の警報ができません。 ※ 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と警報にズレが生じる場合があります。
取締無線 🔊『取締無線です』	桃	スピード違反やシートベルト着用義務違反の取締現場では、350.1MHzの電波で無線連絡が行われることがあります。これが取締無線です。本機は、それを受信することにより、近くで取締が行われていることを警報します。 ※ 無線を使わず、有線で通信が行われる場合があります。この場合は警報されません。
デジタル無線 🔊『デジタル無線です』	黄	各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。事前に察知することにより、緊急車両の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。
取締特小無線 🔊『特小無線です』	水色	取締現場では、取締無線(350.1MHz)の他に、特定小電力無線が用いられる場合があります。 ※ 取締をしていても、この無線を使用していない場合があります。この場合は警報されません。

無線の種類	LED	無線の説明
署活系無線 🔊『署活系無線です』	水色	パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使われる無線が署活系無線です。
警察電話 🔊『警察電話です』	水色	移動警察電話(移動警電)ともいい、警察専用の自動車携帯電話システムのことです。
警察活動無線 🔊『警察活動無線です』	水色	主に機動隊の連絡用無線で、行事などの警備用として、限られた範囲で使用されている無線です。
レッカー無線 🔊『レッカー無線です』	水色	主に関東/東海/阪神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用しています。 ※ 他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがあります。
ヘリテレ無線 🔊『ヘリテレ無線です』	黄緑	ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締を行うときに地上との連絡用として使用します。 ※ 一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や、使用されていない場合は受信できないことがあります。
消防ヘリテレ無線 🔊『消防ヘリテレ無線です』	黄緑	ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われます。 ※ 一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や、使用されていない場合は受信できないことがあります。
消防無線 🔊『消防無線です』	黄緑	災害・救助活動で使用する消防用署活系無線(携帯用400MHz帯)です。 ※ 消防本部等で広域に使用されているVHF帯(150MHz帯)の通信は受信できませんので、ご了承ください。
新救急無線 🔊『救急無線です』	黄緑	救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。
高速道路無線 🔊『高速道路無線です』	黄緑	NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本の業務連絡用無線で、主に渋滞や工事・事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用されています。
警備無線 🔊『警備無線です』	黄緑	主に警備会社が使用する無線です。

2. ベストパートナー 6 識別

カーロケ無線、取締無線、デジタル無線などの無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベストパートナーとして、安全走行のためのタイムリーな情報をお知らせします。

また、カーロケ無線（407.7MHz帯の電波）を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

※ カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたります。

[検問注意：特許 第4119855 号]

[並走追尾注意/すれ違い/圏外識別：特許 第3780262 号]

■ 「カーロケ無線」「取締無線」「デジタル無線」の設定(P.159)をすべて「ON」にする

※ いずれかの無線がOFFの状態では、一部のベストパートナー機能がはたしません。

無線の種類	LED	無線の説明
並走注意 『スピード注意』(2回くり返し)	桃	緊急車両が近くにいる可能性が高いとき。
すれ違い注意 『遠ざかりました』(2回くり返し)	桃	近くにいたと思われる緊急車両などが、遠ざかった可能性が高いとき。
取締注意 『取締注意』(2回くり返し)	桃	比較的近くで取締などが行われている可能性が高いとき。
検問注意 『検問注意』(2回くり返し)	桃	比較的近くで検問などが行われている可能性が高いとき。
カーロケ遠近識別 『カーロケ近接受信です』 『カーロケ遠方受信です』	桃 黄	緊急車両などが近接している時や、遠方にいる可能性が高いとき。
カーロケ圏外識別 『カーロケ圏外です』	水色	カーロケ受信の発信元が遠ざかった可能性が高いとき。

ベストパートナー +(プラス)機能
レーダー波や無線の受信とGPSデータ情報をリンクさせ、エリア内で実際に取締が行われている可能性が高い事をお知らせします。

3. 無線警報音について

各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルを音声でお知らせします。

※ 30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、音声によるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。
※ 無線を音声受信している場合に、取締レーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。
※ カーロケ無線(P.140)とベストパートナー6 識別は、復調を行わず、音声によるお知らせのみとなります。

交信音声受信機能 [特許出願中]
受信した音声を聞くことができる交信音声受信機能(復調)を搭載しておりますが、デジタル方式や、デジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。また、各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。

設定変更のしかた

本機は、大きく分けて3つの設定を行うことができます。
明るさなど本機に関わる設定を行う「システム」、警報に関わる機能に関する設定を行う「警報」、カメラユニットなどの設定を行う「外部機器」があります。

1. 設定を変更する

例：システム設定を変更する



設定時、トップボタンにタッチすることで待受画面に戻ることができます。



設定項目について

1. システム設定について

■ システム設定 ★：初期値

設 定	設定値	説 明
明るさ	暗い ★普通 明るい	画面の明るさを3段階で調整します。
ベースカラー (🔊 P.145)	White Red Blue Gray ★Black	待受画面の基本色を5色から選択します。
カータイプ (🔊 P.146)	小型車 セダン1 セダン2 ★SUV ミニバン	待受画面の車両タイプを5種類から選択します。
マルチカラー LED (🔊 P.146)	OFF 音声連動 エリア連動 ★音声+エリア連動	警報時や音声案内時のLEDの点灯方法を選択します。
フレックスディマー (🔊 P.146)	衛星情報 ★照度センサー+衛星情報 OBDイルミ連動	画面の明るさの切り替えを選択します。 ※ OBDIIアダプターによる接続でイルミの情報が取得できる車両にのみ有効です。
マップ表示方式 (🔊 P.112、146)	★ヘディングアップ ノースアップ	マップ表示を2種類から選択します。
マップ配色 (🔊 P.112、146)	★AUTO 昼配色 夜配色	地図表示の配色を選択します。
音設定 (🔊 P.146)	音声切替 (★日本語女性1)	ナレーションの音声5種類から選択します。
	ボイスモード (★ノーマル)	本機のお知らせ内容を切り替えることができます。
	操作音 (★ON)	ONにすると操作時に音が出ます。
	起動音 (★ON)	ONにすると起動時に音が出ます。
	サウンドカスタム	サウンドに関するカスタムを設定します。 (🔊 P.100)
	時報 (★ON)	ONにすると毎時、正時になると時刻をお知らせします。
	測位アナウンス (★ON)	ONにすると衛星の測位、非測位時に音声でお知らせします。
	リラックスチャイム (★2時間)	休憩を促すアナウンス時間を選択します。

設 定	設定値	説 明
オープニング※ ¹	★アニメーション 静止画 静止画処理(★フル)※ ²	起動時の画面をアニメーション、静止画から選択します。
フォトフレーム設定 (🔊 P.147)	切替時間 (★10秒) エフェクト(★フェード) ズーム (★フル)	待受画面のフォトフレームで表示する画像の設定をします。
画面反転	ON ★OFF	画面表示を上下反転します。
初期化※ ³	エコドライブ	70ポイント※ ⁴ にリセットされます。
	設定	各設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。
ログ機能 (🔊 P.97)	ON ★OFF	走行データを約14時間分記録します。 ※ 測位および走行の状況により記録する時間は異なります。
ログデータ出力 (🔊 P.98)	—	ログ機能で記録された走行ログをSDカードにコピーします。
ウィンドウ タッチ補正	—	タッチパネルのズレなどを補正します。
消去※ ³	ログデータ	ログデータ/マイエリア/キャンセルエリア(マイキャンセルエリア、アイキャンセル)/投稿ピン/イベント記録地点/駐車監視キャンセルエリアをそれぞれ消去します。
	マイエリア	
	キャンセルエリア	
	投稿ピン	
	イベント記録地点	
SWITCH カスタマイズ	★ライブビュー SDカードフォーマット 待受画面 OFF 音量0(ミュート)	SWITCHボタンに割り当てる機能を選択します。
	デモモード	レーダー受信やGPS警報などの音声や待受画面を表示します。 ※ デモモードを終了する時は画面にタッチしてください。
バージョン情報	—	本機データのバージョンを表示します。 ※ 公開取締情報とリアルタイム配信はデータが入っていない場合空白になります。

※ 1：あらかじめ本体に装着されているSDカード、または別売品の無線LAN機能付SDカード(OP-WLSD16)の所定のフォルダに、パソコンなどで音声・画像データを保存しておく必要があります。(🔊 P.100)
※ 2：ズームと同様になります。詳細はズームの説明を参照ください。(🔊 P.147)
※ 3：一度実行すると元に戻せませんのでご注意ください。
※ 4：エコドライブのポイント(pt)は弊社独自の採点方法で、「急加速(Accel)」、「急減速(Brake)」、「アイドリング(Idling)」、「経済速度(Speed)」から算出した総合点(Total)です。

● ベースカラー



●カータイプ



●マルチカラー LED

OFF	警報時に一切点灯しません。
音声連動	警報の種類によって決まった色のLEDが点灯し、音声に合わせて明るさが変化します。
エリア連動	警報エリアに侵入すると警報ターゲットの種類によって決まった色のLEDが点灯します。優先度の高い警告が優先されます。警報ターゲットへ接近するにつれて点滅が速くなります。
音声＋エリア連動	音声連動とエリア連動の両方でお知らせします。音声連動が優先されます。

●フレックスディマー

衛星情報	衛星情報により画面明るさを切り替えます。
照度センサー＋衛星情報	照度センサーと衛星情報による画面明るさを切り替えます。
OBD イルミ連動	イルミ信号により明るさを切り替えます。 ※ [OBDイルミ連動]はOBDIIアダプターによる接続でイルミの情報が取得できる車両にのみ有効です。

●マップ表示形式 (P.112)

ヘディングアップ	常に進行方向が上の状態で地図が表示されます。
ノースアップ	常に北が上の状態で地図が表示されます。

●マップ配色 (P.112)

AUTO	日の出～日没までは[昼配色]、日没～日の出と照度センサーで暗いと判断された場合は[夜配色]になります。
昼配色	常に[昼配色](白基調)の状態で地図が表示されます。
夜配色	常に[夜配色](黒基調)の状態で地図が表示されます。

●音設定

・音声切替	
日本語女性1～4	日本語の女性でナレーションします。
英語女性	英語の女性でナレーションします。

・ボイスモード

ノーマル	従来のレーダー探知機と同様の警報を行います。
アシスタント	ノーマルに加え、「あいさつ ^{*1} 」「ベストパートナー＋(プラス) ^{*2} 」「日没告知 ^{*3} 」「オービスカウントダウン(残り距離 400mから) ^{*4} 」を追加します。
アドバイス	アシスタントに加え、「オービスカウントダウン(残り距離 900mから) ^{*4} 」「その他 ^{*5} 」を追加します。

- ※ 1：起動時にGPS測位すると、時間や日付によりあいさつします。
※ 2：従来の電波受信での警報に加え、レーダー波・無線・GPSの複合で判断します。
※ 3：GPSによって計算された日没時間になるとお知らせします。
※ 4：オービスに接近したときに、100mごとに距離をお知らせします。カウントダウン中に他の警報が発生した場合は、警報が優先されカウントダウンはスキップされます。
※ 5：安全やエコに関するお知らせをします。「照度低下告知(周辺が暗くなったとき)」「エコドライブ告知(エコドライブのポイントが満点になったときや減点になったとき)」

・リラックスチャイム

30分/1時間/2時間	設定時間おきに、『長時間運転しています。休憩しませんか?』と音声でお知らせします。
OFF	休憩を促すアナウンスを行いません。

●フォトフレーム設定

- ・切替時間：写真データの表示を切り替える時間を設定します。(10秒、30秒、1分、5分)
・エフェクト：写真データの表示を切り替える際の表示方法を選択します。

なし	現在の写真が瞬時に次の写真に切り替わります。
フェード	現在の写真が徐々に消えて次の写真に切り替わります。
スライド	横から次の写真がスライドして次の写真に切り替わります。
ウィンドウ	現在の写真が画面中央に表示範囲が小さくなって次の写真に切り替わります。
ズーム	現在の写真がズームアップするとともに徐々に消えて次の写真に切り替わります。
すべて	[なし]以外のエフェクトを順番に切り替えて写真が切り替わります。

・ズーム：写真データを表示する時の表示サイズを選択できます。

フル	写真の縦横比を保ったまま、画面が写真で埋まるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合、写真の上下もしくは左右がカットされます。
ノーマル	写真の縦横比を保ったまま、縦もしくは横が画面サイズになるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合は、写真をすべて表示し、余白は黒い帯になります。
ノーマル拡大なし	写真データのサイズが画面より小さい場合は、写真の拡大を行わずに、画面に表示し、余白は黒くなります。写真データのサイズが画面より大きい場合は、縦もしくは横が画面サイズになるように縮小します。
画面サイズ強制	写真データの縦横比が画面サイズと異なる場合でも、強制的に画面サイズに拡大・縮小します。そのため、画面の縦横比に合わせて、写真が縦長や横長になります。

2. 警報設定について

■ 警報設定 ★：初期値

設 定	設定値	説 明
警報モード (P.156)	★ノーマル ミニマム スペシャル オールオン マニュアル	本機の警報モードを5種類から選択します。 ※ [マニュアル] に設定すると個別に設定内容を変更できます。(P.159)
警報画面切替 (P.131)	★警報1000m切替 警報500m切替 待受固定	警報時に待受画面を警報画面(マップ)に固定する距離を選択できます。
レーダー受信感度 (P.149)	OFF シティ エクストラ スーパーエクストラ ★AAC/ASS AAC/SE AAC/CUSTOM	レーダーの受信感度を7種類から選択します。
レーダー警報音 (P.150)	電子音 ボイス クワイアットボイス ★メロディ1 メロディ2 メロディ3 メロディローテーション	レーダー受信時の警報音を7種類から選択します。
レーザ受信 (P.150)	ON/AAC有効 ★ON/AAC無効 OFF	レーザ受信時の警報条件を選択します。
レーザ警報音 (P.150)	電子音 ボイス ★メロディ	レーザ受信時の警報音を3種類から選択します。
オービスロケーション	★ON OFF	ONにするとオービス手前500mで目標物とオービスの種類などのアナウンスを行います。
無線警報音 (P.150)	★ボイス 復調 ボイスクラシック 復調クラシック OFF	無線受信時の警報音を5種類から選択します。
道路選択 (P.151)	一般道 高速道 オール オート気圧なし ★オート気圧あり	GPS 警報する道路を5種類から選択できます。
公開取締情報 (P.30、151)	★テロップ1周 テロップ連続 パネル OFF	公開取締情報の表示方法を4種類から選択できます。 ※ [OFF] にした場合、公開取締情報/取締路線は表示しません。

●レーダー受信感度
※ 受信感度が高いほど遠くの電波を受信できますが、取締レーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて受信感度をお選びください。

OFF	レーダー受信警報を行いません。
シティ	市街地(低感度)
エクストラ	郊外や高速道路(中感度)
スーパーエクストラ	高速道路(高感度)
AAC/ASS	走行速度によって受信感度が変化します。 0km/h~29km/h……警報しません。 30km/h~39km/h ……[シティ]になります。 40km/h~79km/h ……[エクストラ]になります。 80km/h~ ……[スーパーエクストラ]になります。 ※ 電源ON後、GPS測位するまでの間はスーパーエクストラになります。 ※ 走行中にGPS測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でスーパーエクストラに変化します。(別売品のOBDIIアダプター(P.23)で接続されている場合を除く。)
AAC/SE	走行速度によって受信感度が変化します。 0km/h~29km/h……警報しません。 30km/h~ ……[スーパーエクストラ]になります。 ※ GPS測位できない状態では、走行速度に関係なくスーパーエクストラに固定されます。(別売品のOBDIIアダプター(P.23)で接続されている場合を除く。)
AAC/CUSTOM	警報する走行速度、受信レベルをそれぞれ設定できます。 警報速度：レーダー受信警報を行う速度を設定します。 0km/h以上、10km/h以上、20km/h以上、30km/h以上、40km/h以上、50km/h以上、60km/h以上、70km/h以上、80km/h以上、90km/h以上、100km/h以上から設定します。 警報レベル：レーダー受信警報を行う受信レベルを設定します。 ALL……レベル1以上(全て)で警報します。 レベル2以上……レベル2~5で警報します。 レベル3以上……レベル3~5で警報します。 レベル4以上……レベル4~5で警報します。 レベル5のみ……レベル5のみで警報します。 ※ GPS測位できない状態では、走行速度に関係なく設定した受信レベル以上になると警報します。(別売品のOBDIIアダプター(P.23)で接続されている場合を除く。) ※ 受信レベルの詳細は、 P.139「取締レーダー波について」を参照ください。 ※ 受信感度はスーパーエクストラになります。

- ・ AAC/不要警報カット
走行速度が時速30km/h未満はレーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても誤警報することはありません。
- ・ ASS/最適感度選択
走行速度に合わせて最適な受信感度を自動的に選択します。
※ GPS 測位機能 (別売品のOBDIIアダプター(P.23)で接続されている場合は、OBDII車速検知)により AAC/不要警報カットやASS/最適感度選択がはたります。

●レーダー警報音

電子音	『ピピピピッ…』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
クワイアットボイス	♪効果音のあとに、『レーダーです』と約10秒に1回ボイスで警報します。
メロディ 1	オリジナルメロディ パターン1(メロディ 1)で警報します。
メロディ 2	オリジナルメロディ パターン1(メロディ 2)で警報します。
メロディ 3	オリジナルメロディ パターン1(メロディ 3)で警報します。
メロディローテーション	レーダー波を受信すると、3曲のメロディアラーム(メロディ 1→メロディ 2→メロディ 3の順)で警報します。

●レーザ受信

ON/AAC有効 ON/AAC無効	ON/AAC有効……時速30km/h以上のときに警報を行います。 ON/AAC無効……全ての速度で警報を行います。 ※ 電源ON後、GPS測位するまでの間はAAC無効になります。 ※ 走行中にGPS測位ができなくなると、常に「警報する」状態になります。(別売品のOBDIIアダプター(● P.23)で接続されている場合を除く。)
OFF	レーザ受信警報を行いません。

●レーザ警報音

電子音	『ピピピピッ…』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『レーザです』とボイスで警報します。
メロディ	オリジナルメロディで警報します。

●無線警報音

ボイス	各無線を受信すると、ボイスが1フレーズ鳴ります。 ※ 30秒以内に同じ無線を受信した場合は、ボイスのお知らせはありません。 ※ ボイスが鳴っているときに、取締レーダー波/レーザ光を受信した場合、レーダー警報またはレーザ警報が優先されます。
復調	各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルをボイスでお知らせします。 ※ 30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、ボイスによるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。 ※ デジタル方式やデジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。 ※ 各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。 ※ 無線を音声受信している場合に、取締レーダー波/レーザ光を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。 ※ カーロケ無線(● P.140)とベストパートナー6識別(● P.142)は、復調を行わず、ボイスによるお知らせのみとなります。
ボイスクラシック	各無線を受信すると、電子音とボイスが1フレーズ鳴ります。無線の種類によって電子音の種類が違います。 ※ 30秒以内に同じ無線を受信した場合は、ボイスのお知らせはありません。 ※ ボイスが鳴っているときに、取締レーダー波/レーザ光を受信した場合、レーダー警報またはレーザ警報が優先されます。

復調クラシック	各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルを電子音とボイスでお知らせします。 ※ 30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、ボイスによるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。 ※ デジタル方式やデジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。 ※ 各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。 ※ 各無線を音声受信している場合に、取締レーダー波/レーザ光を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。 ※ カーロケ無線(● P.140)とベストパートナー6識別(● P.142)は、復調を行わず、電子音とボイスによるお知らせのみとなります。
OFF	すべての無線警報を行いませんのでご注意ください。

●道路選択

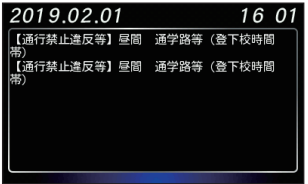
一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道のターゲットのみ警報します。
オール	一般道および高速道のすべてのターゲットを警報します。
オート気圧なし	走行道路(一般道か高速道)をGPSの位置情報と気圧の変化で自動的に識別します。一般道と識別できたときは一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは高速道のターゲットのみ警報します。 ※ 一般道と高速道が並行していたり交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道/高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。
オート気圧あり	※ GPS測位が困難な状況では、正しく識別できない場合があります。 ※ 高速道を走行している時間が短い場合は、高速道に識別されないことがあります。 ※ 渋滞等により高速道で低速走行もしくは停車している場合は、高速道に識別されません。

●公開取締情報

テロップ1周	テロップで1周スクロール表示します。
テロップ連続	テロップで繰り返しスクロール表示します。
パネル	パネルで一括表示します。 ※ 約10秒間情報を表示します。
OFF	公開取締情報/取締路線は表示しません。



<テロップ表示>



<パネル表示>

※ パネル表示の画面をタッチすると待受画面に戻ります。

3. 外部機器設定について

■ DR 設定

※ 付属のカメラユニット装着時のみ表示されます。

★：初期値

設 定	設定値	説 明
解像度	F 1080P / R 1080P ★F 1080P / R 720P F 720P / R 720P	解像度を選択します。 F：フロントカメラ R：リアカメラ 1080P：1920×1080 720P：1280×720
録画コマ数	15FPS ★30FPS	1秒間に記録するコマ数(フレームレート)を選択します。
上書きモード (P.37)	★すべて上書き 常時録画上書き 上書き禁止	SDカードの録画ファイルがいっぱいになった時の動作を選択します。
Gセンサー設定 (P.153)	記録(★ON) 感度(★全て1.0G)	Gセンサー記録のON/OFFやGセンサー感度を設定します。
音声録音	★ON OFF	ONにするとファイルに音声を記録します。
自動録画開始	★ON OFF	ONにすると本体起動時に録画を開始します。
イベント記録 地点登録	★ON OFF	ONにするとイベント記録が発生した地点を地図上に ① アイコンで表示します。 ※ SDカードにある録画ファイルを消去してもアイコンは消去されません。消去する場合は、システム設定の[消去]⇒[イベント記録地点]から行ってください。
駐車監視 (P.153)	駐車監視録画(★OFF)	駐車時に映像を記録することができます。 ※ 付属の電源直結コード、または別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000)の接続が必要になります。 ※ 駐車監視録画中は、録画コマ数が「1FPS(1コマ/秒)」に固定されます。そのため30分の映像が1ファイルになり、専用ソフトなどで再生すると早送りの映像になります。
	駐車監視時間(★9時間)	
	駐車監視終了電圧(★12.2V)	
	駐車監視イベント記録(★OFF)	
タイムスタンプ	★ON OFF	記録している映像の右下に日時を記録します。
映像表示 (P.153)	ライブビュー (★フロント+リア)	画面に表示するカメラの映像を設定します。
	リア映像左右反転 (★ON)	
DMS イベント記録	居眠り検知(★OFF)	付属のDMSユニット(わき見・居眠り運転警報器)によりわき見・居眠りなどを検知した場合にイベント記録を行います。
	わき見検知(★OFF)	

● Gセンサー設定

- ・記録：ONにするとGセンサー記録を行います。(ON/OFF)
- ・感度：Gセンサーの衝撃感度を設定します。(0.5～4.0G)
※ 数値を小さくすると敏感になり、Gセンサー記録をしやすくなります。

● 駐車監視設定

- ・駐車監視録画：ONにすると駐車監視エリアで駐車監視録画を行います。(ON/OFF)
- ・駐車監視時間：駐車監視録画を行う時間を設定します。(30分～12時間)
※ 電源の状態により設定時間より短い時間で録画停止する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・駐車監視終了電圧：設定した電圧以下になると駐車監視を停止します。(11.6V～13.0V)
※ 別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000)で接続した場合、設定は無効になります。
- ・駐車監視イベント記録：ONにすると駐車監視時にイベント記録(Gセンサー記録)も行います。(ON/OFF)

● 映像表示

- ・ライブビュー：現在記録しているカメラの映像を表示できます。
※ リアカメラユニット未接続時、リアカメラ映像は表示されません。

フロント	フロントカメラ映像を表示します。
リア	リアカメラ映像を表示します。
フロント+リア	フロントカメラとリアカメラ映像を表示します。

- ・リア映像左右反転：リアカメラの映像を左右反転表示できます。(ON/OFF)

※ ライブビューの表示のみに反映され、記録映像は全て正像になります。



<ON(鏡像)>



<OFF(正像)>

■ DMS 設定

- ※ 付属のDMSユニット(わき見・居眠り運転警報器)装着時のみ表示されます。
- ※ 本機はGPSで車速を測定し、車速が約10km/h未満の場合、警告しないようにフィルタリングする機能を搭載しております。車速が約10km/h以上になるとフィルタリングを解除します。ただし、本機の電源ON後GPSが補足されるまでの間や、GPSを受信できない場所ではフィルタリング機能は働かないため、車速に関わらず警告を行う場合があります。(別売品のOBDIIアダプター接続時は除く)

★：初期値

設 定	設定値	説 明
居眠り検知	★ON OFF	ONにするとまぶたを閉じていることを検知した場合に警告します。
わき見検知	★ON OFF	ONにするとわき見を検知した場合に警告します。

■ OBD 設定

※ 別売品のOBDIIアダプター装着時のみ表示されます。

★：初期値

設 定	設定値	説 明
満タンスタート (P.164)	—	実走行による走行距離、給油量により燃費数値の精度を高めます。
満タン補正 (P.165)	—	満タンスタート後の実走行による走行距離、給油量の入力により燃費数値の精度が上がり、本機内に補正係数が登録されます。
係数補正 (P.166)	—	オールクリアをした場合に、以前算出した係数を入力することにより、満タンスタート・満タン補正が不要になります。
平均クリア	—	画面内の平均燃費の値をリセットします。満タン補正の直後に行うと、これまでの平均燃費がクリアされ新たに計算を開始します。 ※ 平均クリアを行っても、補正係数はクリアされません。
月間記録	ON ★OFF	月間記録をONにすると月ごとに走行履歴が保存されます。日時、距離、燃費などが月間最大2,000件保存されます。
月間記録データ	—	保存された月間記録データを表示します。
月間記録消去	—	保存された月間記録データを消去します。
OBD 情報 オールクリア	—	OBDIIアダプターで受け取った車両に関する本機内の数値をリセットします。燃費の補正係数もクリアされるので満タンスタート・満タン補正を行わないと正確な燃費が表示されません。

■ WLAN 設定

※ 別売品の無線 LAN 機能付 SD カード (OP-WLSD16) 装着時のみ表示されます。

★：初期値

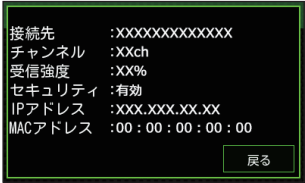
設 定	設定値	説 明
WLAN	★ON OFF	無線 LAN を常時 ON/OFF します。
WLAN 接続先設定 (P.167)	新規登録	無線 LAN (接続先) を登録します。 ※ 一度設定しておけば以降は自動で接続します。
	自動登録	
	削除	
WLAN 接続先情報	—	接続している無線 LAN の情報を表示します。
My Yupiteru 設定	ID 設定	登録してある My Yupiteru アカウントの情報を本機に記憶させます。 ※ あらかじめパソコンなどで My Yupiteru のアカウント登録が必要です。
	パスワード設定	
	ログインテスト	
手動ダウンロード (P.170)	公開取締情報	各項目手動でダウンロードします。
	オービスデータ	
	実写データ	
自動ダウンロード (P.170)	リアルタイム配信データ	各項目を自動でダウンロードします。
	公開取締情報 (★ON)	
	オービスデータ (★ON)	
	リアルタイム配信データ (★OFF)	

★：初期値

設 定	設定値	説 明
Google カレンダー 設定	アカウント設定	Google アカウント、パスワード、カレンダー ID を入力することで月間記録データを Google カレンダーに登録できます。(P.174) ※ あらかじめ Google アカウントを取得しておく必要があります。
	パスワード設定	
	カレンダー ID 設定	
	ログインテスト	
	端末から設定	
	カレンダー自動 (★OFF)	
ファームウェア更新	—	ダウンロードサーバーに最新のバージョンの有無を確認し、最新のバージョンがある場合は更新や更新内容の確認ができます。
ファームウェア更新通知	★ON OFF	ダウンロードサーバーに最新のバージョンの有無を確認し、最新のバージョンがある場合は、待受画面にメッセージを表示します。

● WLAN 接続先情報

接続先	現在接続しているアクセスポイント名 (SSID)
チャンネル	現在接続しているチャンネル
受信強度	現在の受信強度
セキュリティ	現在の接続のセキュリティが有効か無効かを表示
IP アドレス	本機に割り当てられている IP アドレス
MAC アドレス	本機無線 LAN の物理アドレスを表示します。(OP-WLSD16 の裏面に「MAC:」の後ろに記載されています。アクセスポイントで MAC アドレスによる制限を設定してある場合は、この値をアクセスポイント側で許可してください。



<WLAN 接続先情報画面>

警報モードについて

本機には、プリセットが4種類(「ノーマルモード」、「ミニマムモード」、「スペシャル」、「オールオンモード」)と、お好みにより機能を個別に設定できる「マニュアルモード」が用意されています。

★：初期値

種 類	説 明
★ノーマルモード	機能同士のバランスを重視したモードです。
ミニマムモード	レーダー、無線、GPS すべてにおいて最低限の項目だけをONに設定しています。
スペシャルモード	取締に関する項目を重視した内容に設定されています。
オールオンモード	すべての機能をONに設定しています。
マニュアルモード	項目別にON/OFFを設定できます。

■ 項目一覧

項 目		ノーマル モード (初期値)	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。					
レーダー	I キャンセル	ON	ON	OFF	ON	ON	159
	キャンセル サウンド	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	反対キャンセル	ON	ON	OFF	ON	ON	
無線	無線受信感度	LO	LO	HI	HI	LO	
	カーロケ無線	ON	ON	ON	ON	ON	
	取締無線	ON	ON	ON	ON	ON	
	デジタル無線	ON	OFF	ON	ON	ON	
	特小無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	署活系無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	警察電話無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	警察活動無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	レッカー無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	消防ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	消防無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	新救急無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	高速道路無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	警備無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	

項 目		ノーマル モード (初期値)	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。					
GPS	オービス	ON	ON	ON	ON	ON	161
	直前速度告知	ON	ON	ON	ON	ON	
	通過告知	ON	ON	ON	ON	ON	
	制限速度告知	ON	ON	ON	ON	ON	
	カメラ位置告知	ON	ON	ON	ON	ON	
	制限速度切替告知	ON	ON	ON	ON	ON	
	速度超過告知	ON	ON	ON	ON	ON	
	取締エリア	レベル3 以上	OFF	ALL	ALL	レベル3 以上	
	検問エリア	レベル3 以上	OFF	ALL	ALL	レベル3 以上	
	交差点監視 ポイント	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	信号無視抑止	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	高速交通警察隊	ON	OFF	ON	ON	ON	
	駐禁監視エリア	ON	OFF	ON	ON	ON	
	一時停止注意	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	Nシステム	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	交通監視システム	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	警察署	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	交番	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	事故多発エリア	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	車上狙いエリア	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	急カーブ	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	分岐合流ポイント	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	踏切	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ETCレーン	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	SA	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	PA	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ハイウェイ オアシス	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	スマートIC	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ガソリンスタンド	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	トンネル	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ハイウェイラジオ	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	

項 目		ノーマル モード (初期値)	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を変更できます。	
GPS	県境	ON	ON	ON	ON	ON	161
	道の駅	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ビューポイント パーキング	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	(駐車禁止エリア 付近)駐車場	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	消防署	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	公衆トイレ	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	
	ゾーン30	ON	OFF	ON	ON	OFF	
	ラウンドアバウト	OFF	OFF	ON	ON	OFF	
	要注意踏切	ON	ON	ON	ON	ON	
	充電ステーション	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	

マニュアル個別設定について

※ モードの[マニュアル](P.148) 選択時に表示されます。

■ レーダー / 無線

★：マニュアルモード初期値

設 定	設定値	説 明
Iキャンセル	★ON OFF	自動ドアなどがあり、電波を発信していて誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時に電波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。(P.160)
キャンセルサウンド	ON ★OFF	Iキャンセル中、マイキャンセル中に10秒ごとに「キャンセル中です」と、お知らせします。
反対キャンセル	★ON OFF	[新Hシステム][レーダー式オービス]の反対車線で、レーダー波の受信機能をキャンセルします。(反対車線オービスキャンセル機能)
無線受信感度	HI ★LO	無線の受信感度をHI(高感度)、LO(低感度)で選択します。
カーロケ無線	★ON OFF	緊急車両などが発信するカーロケーターシステムを受信したときに、警報します。
取締無線	★ON OFF	取締現場で使用されている可能性のある無線(350.1MHz)を受信したときに、警報します。
デジタル無線	★ON OFF	緊急車両が使用している可能性のあるデジタル無線(159～160MHz)を受信したときに、お知らせします。
特小無線	ON ★OFF	取締現場で使用される可能性のある特定小電力無線を受信したときに、お知らせします。
署活系無線	ON ★OFF	パトロール中の警察官が連絡用として使用する署活系無線を受信したときに、お知らせします。
警察電話無線	ON ★OFF	警察専用の自動車携帯電話システムを受信したときに、お知らせします。
警察活動無線	ON ★OFF	機動隊などが連絡用などで使用する無線を受信したときに、お知らせします。
レッカー無線	ON ★OFF	主にレッカー業者が駐車違反や事故処理の時に連絡用として使用する業務用無線を受信したときに、お知らせします。
ヘリテレ無線	ON ★OFF	ヘリコプターを使って事件や事故処理、取締を行うときに使用する無線を受信したときに、お知らせします。
消防ヘリテレ無線	ON ★OFF	ヘリコプターを使った火事の事故処理や火災現場との連絡用に使用する無線を受信したときに、お知らせします。
消防無線	ON ★OFF	災害、救助活動で使用する無線(400MHz)を受信したときに、お知らせします。
新救急無線	ON ★OFF	救急車が使用している無線を受信したときに、お知らせします。
高速道路無線	ON ★OFF	NEXCOが使用している業務用無線を受信したときに、お知らせします。
警備無線	ON ★OFF	主に警備会社が使用している無線を受信したときに、お知らせします。

●Iキャンセル(アイキャンセル) [特許 第3902553号、第4163158号]

・Iキャンセルの仕組み

①取締レーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]

②取締レーダー波かどうかを識別。

③誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。

④同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目以降]

Before

After

登録数は、Iキャンセル/マイエリア/マイキャンセルエリア/イベント記録地点/駐車監視キャンセルエリアの合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

※ GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。

※ Iキャンセルされないエリアでは、マイキャンセルを合わせてご利用ください。

※ Iキャンセルを[OFF]に設定すると、Iキャンセル機能を停止させることができます。

※ 自動登録したエリアは、Iキャンセルの設定や電源OFFしても記憶されています。

※ 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「消去」(P.144)を参照ください。

■GPS

★：マニュアルモード初期値

設 定	設定値	説 明
オービス	★ON OFF	設置式の数取装置[ループコイル][新Hシステム][LHシステム][レーダー式オービス][レーザー式オービス]が接近したときに、警報します。
直前速度告知	★ON OFF	オービスに接近したときに自車速度を、お知らせします。
通過告知	★ON OFF	オービスを通過したときに通過を、お知らせします。
制限速度告知	★ON OFF	ターゲットのおよそ1km手前で制限速度を、お知らせします。
カメラ位置告知	★ON OFF	オービスのおよそ500m手前でカメラの位置を、お知らせします。
制限速度切替告知	★ON OFF	高速道路で制限速度が切り替わるポイントで、お知らせします。
速度超過告知	★ON OFF	制限速度に対して速度が超過しているときに、お知らせします。
取締エリア	OFF ALL レベル2以上 ★レベル3以上 レベル4以上 レベル5のみ	過去に取締が行われていた場所[移動オービス][速度取締][交差点取締][その他の取締]に接近したときに、警告します。
検問エリア	OFF ALL レベル2以上 ★レベル3以上 レベル4以上 レベル5のみ	過去に検問が行われていた場所[シートベルト検問][携帯電話検問][飲酒検問][その他の検問]に接近したときに、警告します。
交差点監視ポイント	ON ★OFF	注意すべき交差点に接近したときに、お知らせします。
信号無視抑止	ON ★OFF	信号無視抑止システムが設置されている交差点に接近したときに、お知らせします。
高速交通警察隊	★ON OFF	高速交通警察隊の待機所が接近したときに、お知らせします。
駐禁監視エリア	★ON OFF	本機に登録されている違法駐車取締ガイドラインの最重点地域・重点地域内で停車したときに、お知らせします。
一時停止注意	ON ★OFF	東京23区、名古屋市内、大阪市内の一時停止注意ポイントに接近したときに、お知らせします。
Nシステム	ON ★OFF	自動車ナンバー読み取り装置に接近したときに、お知らせします。
交通監視システム	ON ★OFF	画像処理式交通流計測システムなどに接近した時に、お知らせします。

160

161

★：マニュアルモード初期値

設 定	設定値	説 明
警察署	ON ★OFF	警察署に接近したときに、お知らせします。
交番	ON ★OFF	交番に接近したときに、お知らせします。
事故多発エリア	ON ★OFF	本機に登録されている事故多発エリアに接近したときに、お知らせします。
車上狙いエリア	ON ★OFF	本機に登録されている車上狙い多発エリア内で停車したときに、お知らせします。
急カーブ	ON ★OFF	本機に登録されている高速道路の急カーブ・連続カーブにさしかかったときに、お知らせします。
分岐合流ポイント	ON ★OFF	高速道路の分岐・合流ポイントにさしかかったときに、お知らせします。
踏切	ON ★OFF	踏切に接近したときに、お知らせします。
ETCレーン	ON ★OFF	ETCレーンにさしかかったときにETCレーンの位置を、お知らせします。 ※ 交通量や時間によるETCレーンの位置変更には対応していません。実際の交通状況に従ってください。
SA	ON ★OFF	サービスエリアに接近したときに、お知らせします。
PA	ON ★OFF	パーキングエリアに接近したときに、お知らせします。
ハイウェイオアシス	ON ★OFF	ハイウェイオアシスに接近したときに、お知らせします。
スマートIC	ON ★OFF	SA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア)・ハイウェイオアシスにスマートICが併設されているときに、お知らせします。
ガソリンスタンド	ON ★OFF	SA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア)・ハイウェイオアシスにガソリンスタンドが設置されているときに石油会社名とともに、お知らせします。
トンネル	ON ★OFF	高速道路の長いトンネル、連続するトンネルに接近したときに、お知らせします。
ハイウェイラジオ	ON ★OFF	高速道路のハイウェイラジオ受信エリアに接近したときに、お知らせします。
県境	★ON OFF	県境ポイントにさしかかったときに、お知らせします。 ※ 高速道路及び主要一般道路のみ
道の駅	ON ★OFF	道の駅に接近したときに、お知らせします。
ビューポイント パーキング	ON ★OFF	ビューポイントパーキングに接近したときに、お知らせします。
(駐車禁止エリア付近) 駐車場	ON ★OFF	駐車禁止エリア付近にある駐車場に接近したときに、お知らせします。 ※ 画面のみでお知らせし、音声でのお知らせはありません。

★：マニュアルモード初期値

設 定	設定値	説 明
消防署	ON ★OFF	消防署に接近したときに、お知らせします。
公衆トイレ	ON ★OFF	公衆トイレに接近したときに、お知らせします。
ゾーン30	ON ★OFF	ゾーン30エリアに入ったときに、お知らせします。
ラウンドアバウト	ON ★OFF	ラウンドアバウトに接近したときに、お知らせします。
要注意踏切	★ON OFF	開かずの踏切や事故多発踏切など改良すべき踏切に接近したときにお知らせします。
充電ステーション	ON ★OFF	充電ステーションに接近したときにお知らせします。

OBDについて

本機能は別売品のOBDIIアダプターで接続することで、平均燃費の数値補正や月ごとの走行履歴を保存する月間記録(P.154)を行うことができます。

1. 満タンスタートをする

1-1 満タン給油する

油面の位置を覚えておいてください。
※ 燃料タンクの構造により給油停止後に油面が低下します。燃料の油面低下が止まった位置を覚えておいてください。(車両によっては下がりが遅く、また低下が大きい場合があります。)

1-2 待受画面にタッチする



1-3 [設定]にタッチする



1-4 [外部機器]にタッチする



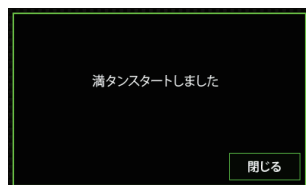
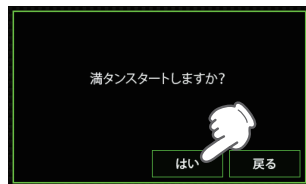
1-5 [OBD]にタッチする



1-6 [満タンスタート]にタッチする



1-7 [はい]にタッチする



※ [閉じる]にタッチしなくても数秒で画面を閉じます。

1-8 車両のトリップメーターをリセットし走行する

満タン補正進捗率が100%になるまで走行してください。
※ 満タンスタートを何度も行うことで補正精度は向上します。
※ 満タン補正進捗率が100%になっても走行すれば、それだけ補正精度は向上します。

2. 満タン補正をする

※ 満タンスタート後に行ってください。

2-1 満タン給油する

前回給油時の油面位置まで給油してください。

2-2 P.164手順「1-2 ~ 1-5」を行う

2-3 [満タン補正]にタッチする



2-4 [距離補正]にタッチする



2-5 トリップメーターの走行距離を入力し[OK]にタッチする



2-6 [燃料補正]にタッチする

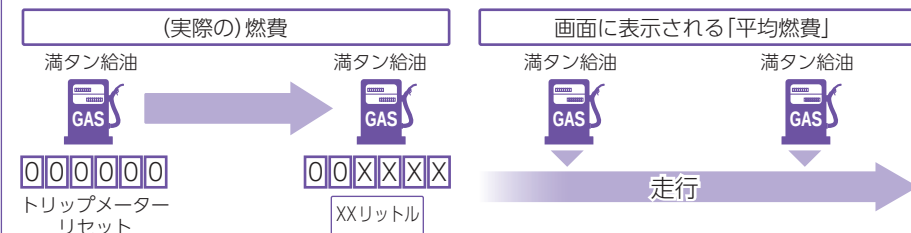


2-7 給油量を入力し[OK]にタッチする



※ 給油量は給油伝票で確認してください。
※ 待受画面に戻る場合は、[OK]にタッチ後、[トップ]にタッチしてください。

実際の燃料給油量と走行距離から計算した(実際の)燃費と画面の「平均燃費」は、計算を行う方法が異なりますので、必ず一致するというものではありません。



3. 係数補正をする

燃費計算を行う上で本機内の係数となります。この画面に表示される「距離係数」と「燃料係数」をメモしておくことにより、OBD情報オールクリアをした後でもこれまでの燃料計算に戻すことができます。

※すでにOBDIIアダプター対応の弊社製品をお使いの場合、違う機種に買い替えた場合などに係数補正を行うことにより「満タンスタート」「満タン補正」が不要になります。

※あらかじめ「満タンスタート」「満タン補正」を行って正確な補正係数を取得している場合に限りです。

※他社製品に表示されていた、雑誌等に掲載されていた、ネットに掲載されていたなどの数値を入力した場合、正常な表示・演算がされないことがあります。

例：係数補正を行う場合

3-1 P.164手順「1-2～1-4」を行う

3-2 「係数補正」にタッチする



3-3 「距離補正」にタッチする



3-4 距離係数を入力し[OK]にタッチする



※メモしておいた距離係数を入力してください。

3-5 「燃料補正」にタッチする



3-6 燃料補正を入力し[OK]にタッチする



※メモしておいた燃料補正を入力してください。



より正確な数値に修正されます。

※待受画面に戻る場合は、[OK]にタッチ後、[トップ]にタッチしてください。

WLAN設定(無線LAN)について

本機能は別売品の無線LAN機能付SDカード(OP-WLSD16)を本体にあらかじめ装着されているSDカードと入れ替えることで、無線LAN接続を行うことができます。

無線LAN接続にはあらかじめWLAN接続先設定とMy Yupiteru設定(P.169)の設定が必要になります。本機にWLAN機器(接続先)を登録するには、「新規登録(パスワード認証)」と「自動登録(プッシュ認証)(P.168)」の2種類の方法があります。いずれかの方法で登録してください。

※本機を廃棄したり、人に譲ったりする際など、ID・パスワードを削除したい場合は、[BS]で文字を全部消去して[設定]を選択してください。ID・パスワードが残ったままだと、悪用される恐れがあります。

※接続先は8件まで登録できます。

※本機では、ログインが必要な無線LANサービス用のアクセスポイントに接続はできても、無線LANサービスへのログイン画面表示および入力ができないため、通信することはできません。

※アクセスポイントのSSID名に「ひらがな」が含まれている場合、文字化けして接続できない場合があります。

1. 新規登録(パスワード認証)

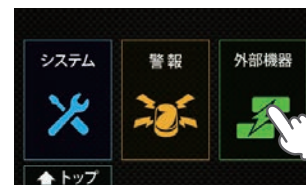
1-1 待受画面にタッチする



1-2 「設定」にタッチする



1-3 「外部機器」にタッチする



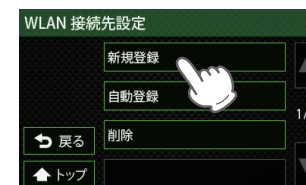
1-4 「[WLAN]」にタッチする



1-5 「[WLAN接続先設定]」にタッチする



1-6 「[新規登録]」にタッチする



1-7 アクセスポイントにタッチする



※ アクセスポイントがSSID非公開の場合は[その他]にタッチし、SSIDを入力してください。

1-8 パスワードを入力し[接続]にタッチする



1-9 [OK]にタッチする



※ 失敗した場合は再度、新規登録を行ってください。

接続したくない接続先がある場合は、手順「1-6」の[削除]で削除してください。システム設定の初期化(P.144)では、接続先は削除されません。

2. 自動登録(プッシュ認証)

2-1 P.167手順「1-1 ~ 1-5」を行う

2-2 [自動登録]にタッチする



2-3 接続するアクセスポイントのプッシュボタンを押す

2-4 [開始]にタッチする



2-5 [OK]にタッチする



※ 何度も失敗する場合は、新規登録で登録を行ってください。(P.167)

3. My Yupiteru 設定

ID、パスワードを入力して、My Yupiteruにログインします。

※ My Yupiteruのアカウント登録は、あらかじめパソコンなどを使用して行っておく必要があります。本機での登録は行えません。

※ 機種登録があっても無料会員の場合は、(機種名)データ更新プラン:無効と表示されますのでご注意ください。

3-1 P.167手順「1-1 ~ 1-4」を行う

3-2 [My Yupiteru設定]にタッチする



3-3 [ID設定]にタッチする



3-4 My YupiteruのIDを入力し[設定]にタッチする



3-5 [パスワード設定]にタッチする



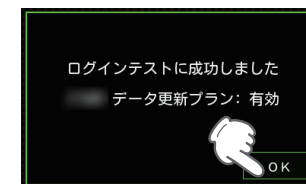
3-6 My Yupiteruのパスワードを入力し[設定]にタッチする



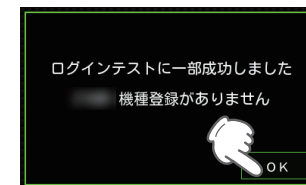
3-7 [ログインテスト]にタッチする



3-8 [OK]にタッチする



<My Yupiteru 有料会員の場合>



<My Yupiteru 有料会員ではない場合>

※ 失敗した場合は、My YupiteruのIDとパスワードを確認し、再度ログインテストを行ってください。

データのダウンロードについて

※ あらかじめ無線LAN (WLAN) 接続の準備を行ってください。(☛ P.167)

1. 自動でデータをダウンロードする

あらかじめダウンロードする項目を設定しておくことで、WLAN接続が確立されていれば電源ONのたびに、ダウンロードサーバーに最新のデータの有無を確認し、最新のデータがあればダウンロードを行います。

※ 接続が確立されていれば、最初のデータ確認から約2時間ごとに自動的にダウンロードサーバーに最新データの有無を確認し、最新のデータがあればダウンロードします。

※ 実写データは容量が大きいため自動ダウンロードはできません。実写データをダウンロードする場合は手動で行ってください。(☛ P.172)

1-1 待受画面にタッチする



1-2 [設定]にタッチする



1-3 [外部機器]にタッチする



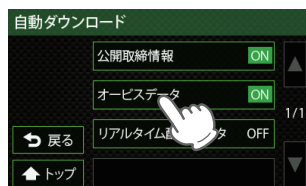
1-4 [WLAN]にタッチする



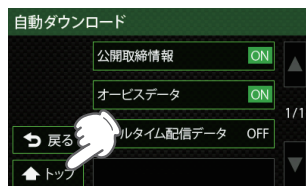
1-5 [自動ダウンロード]にタッチする



1-6 自動ダウンロードしたい項目にタッチして[ON]にする



1-7 [トップ]にタッチする

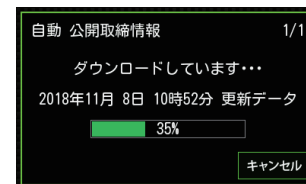


待受画面を表示します。

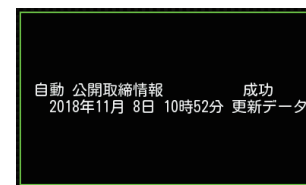
1-8 走行する



最新のデータがある場合、自動でダウンロード画面に移行します。



『ダウンロードを開始します』と音声でお知らせします。



『ダウンロードを終了しました』と音声でお知らせします。

※ ダウンロード終了後は自動で待受画面に戻ります。



2. 手動でデータをダウンロードする

※ 実写データはデータ量が大きいので、ダウンロードに時間がかかります。
※ 実写データは手動でのみダウンロードが可能です。

2-1 待受画面にタッチする



2-2 [設定]にタッチする



2-3 [外部機器]にタッチする



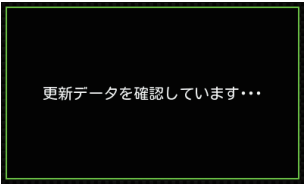
2-4 [WLAN]にタッチする



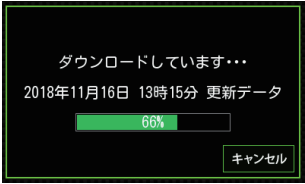
2-5 [手動ダウンロード]にタッチする



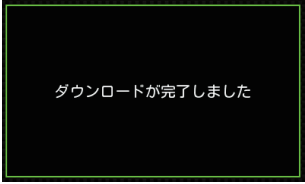
2-6 ダウンロードしたい項目にタッチする



最新のデータがある場合、自動でダウンロード画面に移行します。



『ダウンロードを開始します』と音声でお知らせします。



『ダウンロードを終了しました』と音声でお知らせします。

※ ダウンロード終了後は自動で前の画面に戻ります。

■ ダウンロード項目

項 目	ダウンロード制限	手動 ^{※1} (P.154)	自動 ^{※2} (P.154)
公開取締情報	制限なし	○	○
オービスデータ	My Yupiteru 有料会員のみ (ご利用機種でのityクラブの加入も必要です。)	○	○
実写データ	My Yupiteru 有料会員のみ (ご利用機種でのityクラブの加入も必要です。)	○	—
リアルタイム配信データ	制限なし	○	○
WLAN経由の投稿	My_Yupiteru会員	○	—

※ 1 : My Yupiteru IDとパスワードが設定されていない場合は、オービスデータ、実写データはダウンロードできません。

※ 2 : My Yupiteru IDとパスワードが設定されていない場合は、オービスデータはダウンロードできません。

Google カレンダーの準備

Google アカウント、Google パスワード、Google カレンダー ID を入力することで月間記録データを Google カレンダーに登録できます。

パソコンや端末(スマートフォンなど)を使用して Google カレンダー設定を行ってください。

① Google カレンダーを作成する

② Google カレンダーセキュリティを設定する (P.175)

③ Google カレンダー設定をする (P.176)

※ 別売品の OBDII アダプターと無線 LAN 機能付 SD カード (OP-WLSD16) が必要になります。別途ご購入ください。

※ あらかじめ無線 LAN (WLAN) 接続の準備を行ってください。 (P.167)

1. Google カレンダーを作成する

※ あらかじめお使いの Google カレンダーを使用する場合は新しくカレンダーを作成する必要はありません。
P.175「Google カレンダーセキュリティを設定する」へ進んでください。

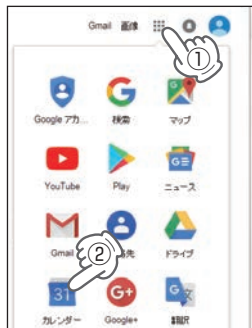
例：パソコンで設定する場合

1-1 Google にログインする



パスワードを入力し、Google にログインしてください。

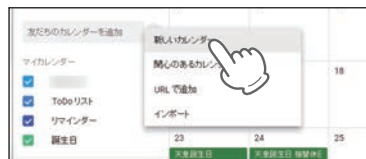
1-2 (Google アプリ) をクリックして [カレンダー] をクリックする



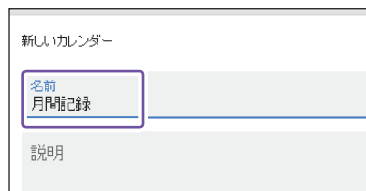
1-3 左側のマイカレンダーの上にある+(他のカレンダーを追加)をクリックする



1-4 [新しいカレンダー] をクリックする



1-5 カレンダーの名前を入力する

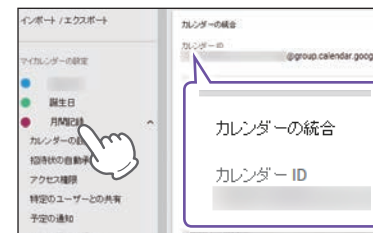


1-6 [カレンダーを作成] をクリックする



新しいカレンダーが作成されます。

1-7 カレンダー ID を確認しメモする



作成したカレンダーをクリックして「カレンダーの結合」の下にあるカレンダー ID を確認し、メモしてください。

※ 本機の登録で必要になります。必ずメモしてください。

2. Google カレンダーセキュリティを設定する

例：パソコンで設定する場合

2-1 Google にログインする



パスワードを入力し、Google にログインしてください。

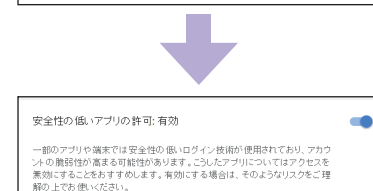
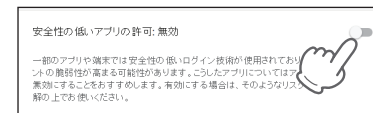
2-2 (Google アプリ) をクリックして [Google アカウント] をクリックする



2-3 [アカウントにアクセスできるアプリ] をクリックする



2-4 安全性の低いアプリの許可のスイッチをクリックし [有効] にする



※ 無効ではログインテストが成功しません。

3. Google カレンダー設定をする

3-1 待受画面にタッチする



3-2 [設定]にタッチする



3-3 [外部機器]にタッチする



3-4 [WLAN]にタッチする



3-5 [Googleカレンダー設定]にタッチする



3-6 [アカウント設定]にタッチする



3-7 Googleアカウントを入力し[設定]にタッチする



※ @マーク以降も入力してください。
※ 入力したGoogleアカウントはカレンダーID設定に反映されます。

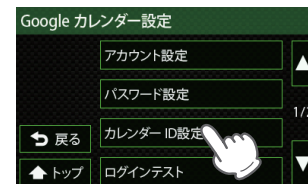
3-8 [パスワード設定]にタッチする



3-9 Googleパスワードを入力し[設定]にタッチする



3-10 [カレンダーID設定]にタッチする

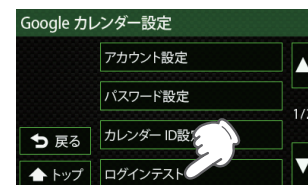


3-11 カレンダーIDを入力し[設定]にタッチする

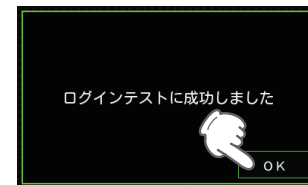


☞ P.175 手順「1-4」でメモしたカレンダーIDを入力してください。
※ 初めからあるカレンダーIDを使用する場合は、GoogleアカウントがカレンダーIDになります。@マーク以降も入力されているか確認してください。

3-12 [ログインテスト]にタッチする



3-13 [OK]にタッチする



※ 失敗した場合は、画面表示を確認し、再度ログインテストを行ってください。

ログインに失敗しました
ネットワークに接続できません

カレンダーがありません
カレンダーIDを確認して下さい

ログインに失敗しました
IDとパスワードを確認して下さい

端末からGoogleカレンダー設定を行うこともできます。

本機と端末(スマートフォンなど)がテザリングで接続されている、または同じ無線LAN親機でネットワークに接続されている場合にQRコードを読み込むことで端末からGoogleカレンダー設定を行うことができます。

※ 設定できる項目は、[アカウント設定][パスワード設定][カレンダーID設定]です。

・QRコード表示手順

- ① ☞ P.176 手順「3-1~3-5」を行う
- ② [端末から設定]にタッチする



Google カレンダーへ登録する

※ あらかじめ Google カレンダーの準備を行ってください。(P.174)

1. 自動で Google カレンダーに月間記録データを登録する

1-1 待受画面にタッチする



1-2 [設定]にタッチする



1-3 [外部機器]にタッチする



1-4 [WLAN]にタッチする



1-5 [Google カレンダー設定]にタッチする



1-6 [カレンダー自動]にタッチし、ONにする



※ ネットワークに接続すると、画面が自動で切り替わり登録を開始します。

2. 手動で Google カレンダーに月間記録データを登録する

2-1 待受画面にタッチする



2-2 [設定]にタッチする



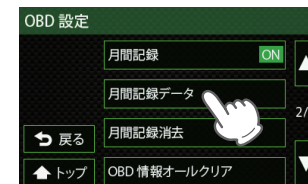
2-3 [外部機器]にタッチする



2-4 [OBD]にタッチする



2-5 [月間記録データ]にタッチする



2-6 [Google カレンダー]にタッチする



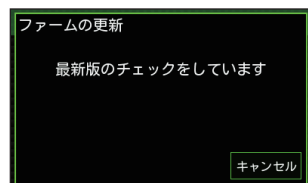
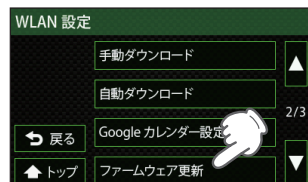
ファームウェアの更新について

※ ファームウェアの更新中は電源OFFしないでください。

1. ファームウェアを更新する

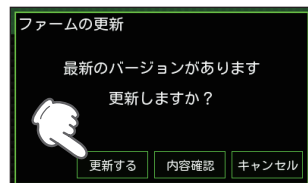
1-1 P.178手順「1-1 ～ 1-4」を行う

1-2 [ファームウェア更新]にタッチする

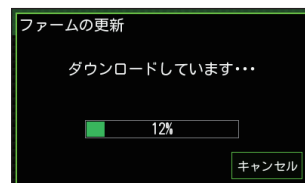


バージョン更新の有無を確認します。
※ 接続に失敗した場合は、「ネットワークに接続していません」と表示されます。接続を確認し、再度[ファームウェア更新]にタッチしてください。
※ 本機のバージョンが最新の場合は、「すでに最新です」と表示されます。

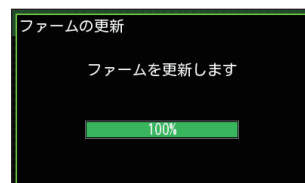
1-3 [更新する]にタッチする



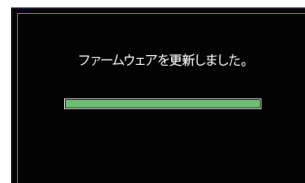
※ [内容確認]にタッチすると、ファームウェアの更新内容を確認できます。



データが確認され、ファームウェアのダウンロードが始まります。



ファームウェアの解凍が終了すると自動で再起動します。



データがチェックされ、ファームウェアが更新されます。

1-4 バージョンを確認する

☛ P.144「バージョン情報」でプログラム(ソフトウェアのバージョン)を確認してください。
※ ファームウェアの更新に失敗した場合は再度、手順「1-3」から行ってください。

専用ビューアソフトについて

カメラユニットで録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフト「PCViewer DRY TypeE」をインストールすることにより、Google Mapsと連動させて表示することができます。

※ 自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 準備する

弊社ホームページより専用ビューアソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。

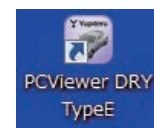
※ インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)

※ 誤って専用ビューアソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ビューアソフトをダウンロードしてください。

※ WindowsのアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、専用ビューアソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 専用ビューアソフトを起動する

2-1 [PCViewer DRY TypeE]アイコンをダブルクリックする

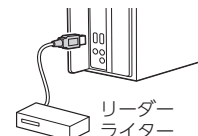


専用ビューアソフトが起動します。

※ 専用ビューアソフトをインストールする際、デスクトップ上にアイコンを作成できます。

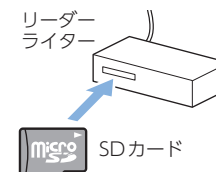
3. 録画ファイルを再生する

3-1 リーダーライターをパソコンに接続する



※ SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

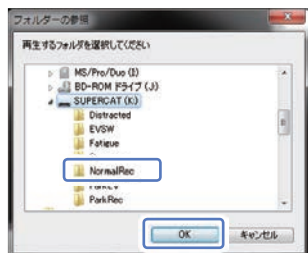
3-2 SDカードをリーダーライターに接続する



3-3 (フォルダを再生リストに読込)をクリックする



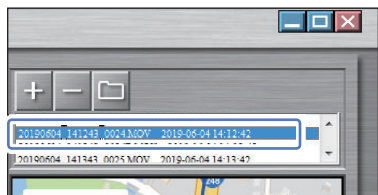
3-4 接続したSDカードのフォルダを選択し、[OK]をクリックする



- ・フォルダ名について
 常時録画：NormalRec
 Gセンサー記録：Gsensor
 ワンタッチ記録：EVS/W
 DMSわき見記録：Distracted
 DMS居眠り記録：Fatigue
 駐車監視録画：ParkRec
 駐車監視イベント記録：ParkEV

選択したフォルダの録画ファイルを読み込みます。

3-5 録画ファイルをダブルクリックする



選択した録画ファイルを再生します。

※ リアカメラの映像も自動で表示されます。(別ウィンドウ表示)

4. 専用ビューアソフトを終了する

4-1 専用ビューアソフト右上の [X] をクリックする



専用ビューアソフトが終了します。

※ リアカメラの別ウィンドウ [X] をクリックでも終了します。

専用ビューアソフト

専用ビューアソフトでは、映像の再生や自車位置、Gセンサーグラフ等を表示できます。

※ インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)

※ 自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 専用ビューアソフトの画面について



<標準表示(フロントカメラ)>



<リアカメラ>

※ 録画ファイル再生時に自動で表示されます。(別ウィンドウ表示)



<全画面表示(フロントカメラ)>

インターネットに接続されていない場合、地図 (Google Maps) は表示されません。



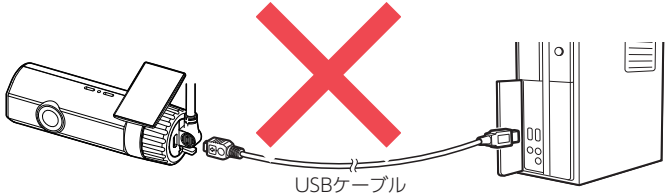
No.	表示名	説 明	
①	バージョン	専用ビューアソフトのバージョンを表示します。	
②	表示エリア	選択した録画ファイルの映像を表示します。	
③	タイムライン	クリック位置から再生できます。	
④	ファイル コントロール	 1ファイルを開く	録画ファイルを1ファイル開いて再生します。 ※「1ファイルを開く」を行っても、再生リストには追加されません。
		 停止	再生中の録画ファイルを停止します。
		 再生 / 一時停止	録画ファイルを再生 / 一時停止します。 ※再生リストに複数の録画ファイルがある場合、連続して再生します。
		 ウィンドウ サイズ切替	映像の全画面表示 / 標準表示を切り替えます。
		 静止画変換	再生中、一時停止中の映像から静止画(JPEGファイル)に変換して保存します。
		 1フレーム 再生	クリック毎に1フレーム進めた映像を表示します。
⑤	Gセンサーグラフ	録画ファイルに埋め込まれているGセンサーデータをX軸、Y軸、Z軸でグラフ表示します。	
⑥	プログラム	 最小化	ウィンドウを最小化します。
		 最大化 / 元に戻す	ウィンドウを最大化 / 元に戻します。
		 閉じる	ソフトウェアを終了します。
⑦	再生リストの操作	 ファイルを再生リストへ追加	再生リストに1ファイル追加します。
		 ファイルを再生リストから削除	再生リストから1ファイル削除します。 ※再生リストから削除してもSDカード内の録画ファイルは削除されません。
		 フォルダを再生リストに読込	再生リストに、フォルダ単位で録画ファイルを読み込みます。
⑧	再生リスト	録画ファイルのファイル名と録画終了日時(年月日と時分秒)を表示します。 ※ファイル名の詳細は P.185を参照ください。	
⑨	地図表示	読み込まれた映像はGoogle Mapsに連動して自車位置が移動します。 ※インターネットに接続されていない場合、地図(Google Maps)は表示されません。	
⑩	走行速度表示	GPSで記録した走行速度を表示します。 ※GPSデータがない場合は変化しません。	
⑪	ファイル情報	表示している画面の緯度・経度・高度・加速度(X・Y・Z)を表示します。	

録画ファイルの読み出しについて

カメラユニットで録画した映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS : Microsoft Windows 10、8、7
CPU : Core2Duo相当、2.0GHz以上
メモリ : 2GB 以上

(2019年5月現在)



※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。
※本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。
本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。
※推奨環境の全てのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
※CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のファイルが破損することがあります。

■ ファイル名について

ファイル番号は、記録した順に本機で自動設定されます。

例 20190621 _ 123456 _ 0001R . MOV — 動画

記録日(年月日) 記録時間(時分秒) ファイル番号
(リアカメラの映像には「R」が付きます。)

■ フォルダ構造について

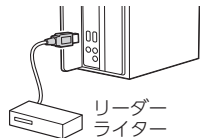
各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。

SDカード

- NormalRec(常時録画) ——— 20190621_123456_0001.MOV
- Gsensor(Gセンサー記録) ——— 20190621_133456_0002.MOV
- EVSW(ワンタッチ記録) ——— 20190621_143456_0003.MOV
- Distracted(DMSわき見記録) ——— 20190621_143456_0004.MOV
- Fatigue(DMS居眠り記録) ——— 20190621_143456_0005.MOV
- ParkRec(駐車監視録画) ——— 20190621_143456_0006.MOV
- ParkEV(駐車監視イベント記録) ——— 20190621_143456_0007.MOV

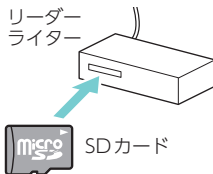
1. 専用ビューアソフトを使用せずに録画ファイルを再生する

1-1 リーダーライターをパソコンに接続する

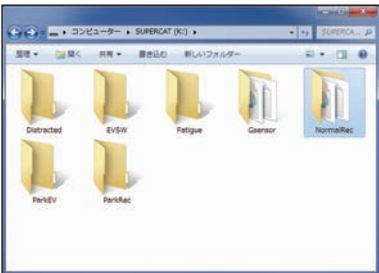


※ SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

1-2 SDカードをリーダーライターに接続する



1-3 SDカードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く



- ・フォルダ名について
常時録画：NormalRec
Gセンサー記録：Gsensor
ワンタッチ記録：EVSW
DMSわき見記録：Distracted
DMS居眠り記録：Fatigue
駐車監視録画：ParkRec
駐車監視イベント記録：ParkEV
※ イベント記録がない場合、イベント記録のフォルダは生成されません。

1-4 録画ファイルをダブルクリックする

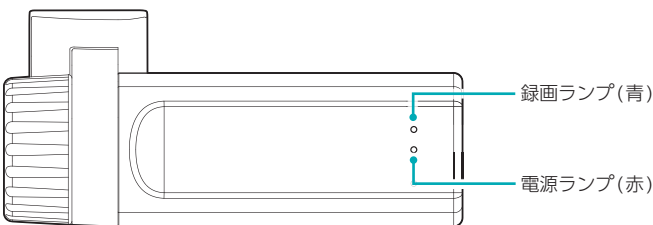


- ・「.nmea」ファイルについて
GPSの位置情報やGセンサー情報などが記録されているファイルです。削除すると、専用ビューアソフトで走行速度などが表示されなくなります。

Windows 標準の Windows Media Player で再生することができます。

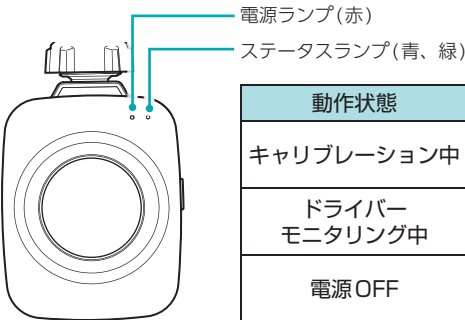
動作一覧

■ カメラユニット



動作状態	ランプの状態		音	参照 ページ
	録画ランプ (青) / 電源ランプ (赤)			
録画準備中 / 録画停止中	(青)  : 消灯 (赤)  : 点灯		—	—
常時録画中	(青)  : 点灯 (赤)  : 点灯		—	 P.33
駐車監視録画中	(青)  : 遅点滅 (赤)  : 点灯		—	 P.33
イベント記録中	(青)  : 早点滅 (赤)  : 点灯		『ピッ』	 P.34
異常時	(青)  : 消灯 (赤)  : 早点滅		 P.188	
電源 OFF	(青)  : 消灯 (赤)  : 消灯		—	

■ DMSユニット

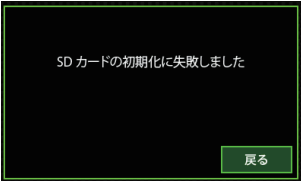


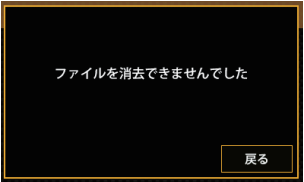
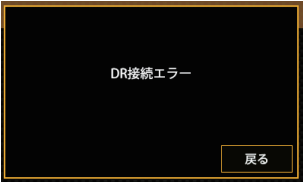
動作状態	ランプの状態	
キャリブレーション中	電源ランプ (赤)	
	ステータスランプ (青)	
ドライバーモニタリング中	電源ランプ (赤)	
	ステータスランプ (緑)	
電源 OFF	電源ランプ (消灯)	
	ステータスランプ (消灯)	

こんなときは

ディスプレイユニットやカメラユニットに異常などがあった場合に音/画面でお知らせします。

※ 本機でSDカードフォーマットを行っても、SDカードエラーが頻繁に起こる場合は、SDカードの寿命の可能性があります。新しいSDカードに交換してください。

ディスプレイユニット	音	対処方法
 SDカードを挿入してください (SDカードを挿入してください)	♪『キンコン、キンコン、キンコン』	☐ カメラユニット用SDカードが正しく挿入されていますか。 カメラユニット用SDカードが正しく挿入されていないときなどは録画を開始できません。車両のエンジンをOFFし、カメラユニット用SDカードを抜き取り、再度正しく挿入してください。(P.87)
 SDカードエラー (SDカードエラー)	♪『キンコン、キンコン、キンコン』	☐ カメラユニット用SDカードが正しく挿入されていますか。 ☐ 本機でカメラユニット用SDカードをフォーマットしてください。(P.15) ※ フォーマットを行うと保護したファイルも全て削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから本機でフォーマットしてください。
 SDカードがいっぱいです (SDカードがいっぱいです)  イベント領域がいっぱいです (イベント領域がいっぱいです)	♪『キンコン、キンコン、キンコン』	☐ 上書きモードが「上書き禁止」または「常時録画上書き」になっていませんか。(P.152) ☐ 録画ファイルを削除してください。(P.108) ※ いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。 ☐ 保護したファイルでカメラユニット用SDカードがいっぱいになっていませんか。 保護したファイルは上書きできません。保護を解除するか、カメラユニット用SDカードをフォーマットしてしてください。(P.15) ※ いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。
 ドライブレコーダー異常 (ドライブレコーダー異常)	♪『キンコン、キンコン、キンコン』	☐ カメラユニットの動作温度範囲を超えています。しばらく時間をおいて動作温度範囲内に戻ってからご使用ください。
 (SDカードの初期化に失敗しました)	♪『ピロッ』	☐ カメラユニット用SDカードの容量は下記の対応範囲内ですか。 記録媒体：microSDHCカード 容量：8~32GB SDカードスピードクラス：Class10以上 ☐ カメラユニット用SDカードが正しく挿入されていますか。 ☐ カメラユニット用SDカードをパソコンなどの機器に接続してSDカードが認識できるか確認してください。 認識できない場合は、本機でカメラユニット用SDカードをフォーマットしてください。(P.15)

ディスプレイユニット	音	対処方法
 (ファイルを消去できませんでした)	♪『ピロッ』	☐ パソコンなどで録画ファイルを削除してください。 ☐ 本機でカメラユニット用SDカードをフォーマットしてください。(👉 P.15) ※ フォーマットを行うと保護したファイルも全て削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから本機でフォーマットしてください。
 (DR接続エラー)	♪『キンコーン、キンコーン、キンコーン』	☐ カメラユニットケーブルが外れていないか確認してください。
 (SDカードを挿入してください)	—	☐ ディスプレイユニット用SDカードが挿入されているか確認してください。 ディスプレイユニット用SDカードが挿入されていないと使用することができません。 また、データの破損等は有償での交換となります。弊社お客様ご相談センターまでご連絡ください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

電源がONにならない

- ☐ ディスプレイユニット背面の電源スイッチがONになっていますか。
- ☐ 電源直結コードが外れていませんか。
- ☐ 電源直結コードのヒューズが切れていないか確認してください。
ヒューズホルダーを開け、ヒューズを取り出します。(● P.78)
- ☐ 付属のディスプレイユニット用SDカード(SDカードアダプター /microSDカード)を装着していますか、または抜けかけていませんか。
ディスプレイユニットは付属のディスプレイユニット用SDカード(SDカードアダプター /microSDカード)を装着していないと起動しません。
- ☐ 初めてOBDIIアダプターを車両に取り付けていませんか。
初めて起動する場合、起動に数分かかることがあります。

電源がOFFにならない(駐車監視録画「OFF」の場合)

- ☐ OBDIIアダプターを車両に取り付けていませんか。
エンジンをOFFしてから本機が電源OFFするまで、数秒から数十秒かかります。OBDIIアダプターで接続した場合は、本体の電源スイッチで電源OFFしないでください。

電源がOFFにならない(駐車監視録画「ON」の場合)

- ☐ 車両のエンジンOFF後、駐車監視録画になります。
強制的に電源OFFする場合は、ディスプレイユニット背面の電源スイッチをOFFにしてください。

OBDIIアダプターを接続中に突然電源OFFになった

- ☐ OBDIIアダプターのコネクターが外れていないか確認してください。
車両の振動等によってコネクターが緩むことがあります。

画面が常に暗い

- ☐ フレックスディマーの設定で[照度センサー+衛星情報]に設定すると、設置場所によっては常にフレックスディマーが動作する場合があります。その場合は、取付場所を変更するか設定を[衛星情報]にしてご使用ください。

何も表示しない

- ☐ 待受画面が[OFF]ではありませんか。
待受画面にタッチして、[待受変更]にタッチし、待受画面を変更してください。

レーダー警報しない

- ☐ 電源ONになっていますか。
- ☐ 取締レーダー波が発射されていませんか。
計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型や、取締準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締レーダー波が発射されていないことがあります。
- ☐ マイキャンセルエリア登録した場所ではありませんか。
- ☐ アイキャンセルしていませんか。
- ☐ レーダー受信感度が[AAC/ASS]または[AAC/SE]の場合、時速30km/h未満のときは警報しません。

レーザー警報しない

- ☐ アンテナユニットのレーザー受光部付近に障害物はありませんか。
アンテナユニットのレーザー受光部が隠れていると、レーザー光を受けることができず警報できません。
- ☐ アンテナユニットのレーザー受光部が進行方向を向いていますか。
進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。(● P.138)
- ☐ レーザー受信感度が[AAC有効]の場合、時速30km/h未満のときは警報しません。
- ☐ 一部の車種に採用されているUV、IRカットガラスのなかには、レーザー光の透過率が低く取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。
- ☐ レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの周辺では取締レーザー光の探知距離が短くなる、または受信できない場合があります。

ひんぱんにレーザー警報する

- ☐ アンテナユニットのレーザー受光部が進行方向を向いていますか。
進行方向以外に向けた場合、誤警報や警報しないことがあります。(● P.138)
- ☐ レーザー受信感度を[AAC有効]にしてください。(● P.148)
時速30km/h未満のときは警報しません。
- ☐ レーザー式車両検知器/自動車用先進運転支援システムの周辺では受信する場合があります。

GPS警報しない

- ☐ GPS測位していましたか。
- ☐ 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。

GPS測位しない

- ☐ アンテナユニットのコードが外れていませんか。

速度表示が車両の速度計と異なる

- ☐ 車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
※ OBDIIアダプター接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。
※ 補正機能はありません。

地図がズレる

- ☐ GPS測位していましたか。障害物や遮へい物の無い、視界の良い場所へ移動してみてください。
- ☐ マーク・名称が重なって表示されることがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。

取締もしていないのに警報機能がはたらく

- ☐ 取締レーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。

取締レーダー波と同じ電波を使用している主な機器

マイクロ波のドップラー式自動ドア / 防犯センサー / 自動販売機の人感センサー / 自動車用先進運転支援システム / 信号機の近くに設置されている車両通過計測器 / NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部 / 気象用レーダー / 航空レーダーの一部 / 他のレーダー探知機の一部 / まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。

一般道を走行中に高速道路のターゲットをGPS警報する

- ☐ 道路選択の設定を[オール]でご使用の場合は、一般道と高速道の両方のターゲットを警報します。(● P.156)
- ☐ 一般道と高速道が並行していたり、交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道 / 高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。
- ☐ ハイウェイオアシスは、[一般道]に設定された場合もGPS告知されます。

ひんぱんに無線警報する

- ☐ 放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車両やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。

取締現場なのに350.1MHzを受信しない

- ☐ 取締無線を[ON]に設定していましたか。
- ☐ 取締現場での連絡が無線方式で行われていましたか。
連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。

警報の途中で警報音が小さくなる

- ☐ レーダー波 / レーザー光の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。
(● P.133「オートクワイアットについて」)

誤警報がキャンセルされない

- ☐ GPS測位していましたか。
- ☐ 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。
- ☐ 取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。

音が出ない

- ☐ 音量[0]になっていませんか。
待受画面にタッチして、[音量+]にタッチして音量を調整してください。

映像が記録できない

- ☐ カメラユニット用SDカードが正しく挿入されていますか。
- ☐ 自動録画開始の設定が「ON」になっていますか。(● P.152)
[OFF]の場合、自動で録画を開始しません。[ON]にするか、ジャンプウィンドウの[録画開始]にタッチして録画を開始してください。
- ☐ 手動で録画を停止していませんか。
ジャンプウィンドウの[録画停止]にタッチして録画を停止した場合、自動録画開始の設定がONで待受画面を表示しても自動で録画を開始しません。ジャンプウィンドウの[録画開始]にタッチして録画を開始してください。
- ☐ 設定変更や録画ファイルを再生していませんか。
設定時 / 再生時は自動で録画停止になるためその際は録画をすることはできません。
- ☐ 保護したファイルでカメラユニット用SDカードがいっぱいになっていませんか。
保護したファイルは上書きできません。保護を解除するか、カメラユニット用SDカードをフォーマットすることで録画ファイルを全て削除することができます。
保護したファイルには、ファイル選択画面上で  アイコンを表示します。(● P.107)

イベント記録ファイルがない

- ☐ イベント記録中に電源OFFしていませんか
イベント記録中に電源OFFした場合は、見えないファイルや壊れた状態のファイルとなる場合があります。
- ☐ 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は常時録画の映像をご確認ください。(● P.33)

カメラユニット用のSDカードに録画ファイルが保存されない

- ☐ 録画ファイルのバックアップ等を行い、本機でSDカードをフォーマットしてください。(● P.15)
- ☐ SDカードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。
付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。(● P.15)

専用ビューアソフトで地図や走行速度、加速度が表示されない

- ☐ 「.nmea」ファイルを削除していませんか。
録画ファイルと同じフォルダにある「.nmea」ファイル内に情報が保存されています。削除しないようにしてください。
- ☐ インターネットに接続されていますか。
インターネットに接続されていない場合、地図(Google Maps)は表示されません。
- ☐ GPS測位していましたか。
録画ファイルにGPSデータがない場合、地図(Google Maps)は表示されません。

OBDIIアダプター接続時に表示される待受画面の一部が表示されない

- ☐ 車種によって、待受画面の一部の項目が表示されない場合があります。(車種別の適応については、販売店または弊社ホームページでご確認ください。)

OBDIIアダプター接続時にスロットル開度が、アイドリング中でも0%にならない

- ☐ 車種によって、「スロットル開度」はエンジンがアイドリング状態でも表示が0%にならないことがあります。

OBDIIアダプター接続時に待受画面の項目の内容が、車両のメーターと異なる

- ☐ 車種によって、表示する内容は純正メーターの数値やタイミングと異なる場合があります。

Google カレンダー設定ができない

- ☐ 別売品のOBDIIアダプターを接続していますか。
Google カレンダー設定をする場合、別売品のOBDIIアダプター(● P.23)が必要になります。

Google カレンダー設定のログインテストに失敗する

- ☐ Google のセキュリティの「安全性の低いアプリの許可」の設定が[無効]になっていませんか。(● P.175)

無線LAN 接続に失敗する

- ☐ アクセスポイントのSSID名に「ひらがな」が含まれていませんか。
SSID名に「ひらがな」が含まれている場合、文字化けして接続できない場合があります。「ひらがな」を削除し、再度無線LAN 接続を行ってください。

DMS ユニット(わき見・居眠り運転警報器)が警告しない

- ☐ 運転者が顔検知範囲内にいますか。
- ☐ キャリブレーションをしましたか。
キャリブレーションを行っていない場合警報しません。
- ☐ 片目だけ閉じていませんか。(● P.45)
居眠り警報は両目を閉じている状態を検知します。
- ☐ メガネやサングラスをかけていませんか。
近赤外線カットが強いメガネをかけている場合や、特殊なコーティングのメガネやサングラスをかけている場合は警報できない場合があります。
- ☐ マスク、眼帯などをしていませんか。
目、鼻、口のいずれかが常に隠れていると警報できません。
- ☐ 本体のカメラに結露はありませんか。
本体のカメラに結露があるとキャリブレーションできない場合があります。水滴が付いた場合は拭き取ってください。
- ☐ 1 台の車両を複数人で使用していませんか。
運転者が代わる場合はその都度本体の向きを調整し、キャリブレーションを行ってください。(● P.44)
- ☐ 駐停車中、または約10km/h以下で走行中ではありませんか。
駐停車中、または約10km/h以下での走行中は、本機のフィルタリング機能がはたらき警告を行いません。
- ☐ ケーブルが外れていませんか。

DMSユニット(わき見・居眠り運転警報器)の誤報が多い

- ☐ キャリブレーション範囲内に本体を取り付けていますか。
- ☐ 笑っていませんか。
笑っているときなど、目が小さくなっているのを検知してしまう場合があります。
- ☐ 右左折時や駐車時による顔の動きを検知し、警告する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ☐ メガネやサングラスをかけていませんか。
近赤外線カットが強いメガネをかけている場合や、特殊なコーティングのメガネやサングラスをかけている場合は誤報の原因となる場合があります。
- ☐ 1台の車両を複数人で使用していませんか。
運転者が代わる場合はその都度本体の向きを調整し、キャリブレーションを行ってください。
(☛ P.44)

地図データ

背景地図(Top,Middle,Base)

- ・この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会(測量法第44条に基づく成果使用承認)[2018年3月発行データ使用]
- ・©2018 INCREMENT P CORPORATION

詳細背景地図(City)

- ・この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会(測量法第44条に基づく成果使用承認)[2018年3月発行データ使用]
- ・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日)
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分1国土基本図を使用した。(承認番号 平26情使、第74号-55号)
- ・このデータは、国土地理院の技術資料C1-No.445「小笠原諸島西之島周辺の正射画像(平成26年12月10日撮影)」を利用して作成したものである。
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用した。(承認番号 平27情使、第199号-55号)
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平27情使、第308号-55号)
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の応急復旧対策基図を使用した。(承認番号 平28情使、第1121号-55号)
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平28情使、第1122号-55号)
- ・上記以外の本地図データの権利関係については、下記ページをご確認ください。
URL : http://www.incrementp.co.jp/aboutmap/2018_2.pdf
- ・©2018 INCREMENT P CORPORATION

道路ネットワーク

- ・この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会(測量法第44条に基づく成果使用承認)[2018年3月発行データ使用]
- ・©2018 INCREMENT P CORPORATION

仕様

電源電圧	DC12V(マイナスアース車専用)
消費電流	待機時：650mA(初期値)、最大：780mA 駐車監視時：230mA
受信方式	GPS部：32チャンネル/パラレル受信方式 レーダー部：スweepオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式
測位更新時間	最短0.5秒
表示部	液晶ディスプレイワイド3.0インチ
受信周波数	GPS部：1.6GHz帯 レーダー部：Xバンド/ Kバンド UHF部：336～470MHz帯 VHF部：154～163MHz帯
撮影素子※1	200万画素カラー CMOS （STARVIS™ 技術搭載※3）
レンズ画角※1	対角157°
最大記録画角※1※2	対角157°（127°（水平）、66°（垂直））
記録解像度	最大200万画素 1080P HD(1920×1080)／720P(1280×720)
録画ファイル構成	1分単位、30分単位※4
フレームレート	30コマ/秒、15コマ/秒、1コマ/秒※4
映像ファイル形式	MOV
記録映像再生方法	・専用ビューアソフト※5(弊社ホームページよりダウンロードできます。) ・Windows標準のWindows Media Player※5
カメラユニット用記録媒体	microSDカード(16GB付属) 8GB～32GB(Class10以上)
キャリブレーション範囲(DMSユニットから見て)	上下：±15℃ 左右：±15℃
動作温度範囲	ディスプレイユニット：－20℃～＋85℃(UHF/VHF部：－10℃～＋60℃) カメラユニット：0℃～＋60℃ DMSユニット：－10℃～＋60℃

※1：フロントカメラユニット、リアカメラユニットともに。
※2：解像度により記録される視野角が変化します。超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。
※3：STARVIS(スタービス)は、監視カメラ用途CMOSイメージセンサ向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニー株式会社の裏面照射型画素技術です。
※4：駐車監視録画中のみ。
※5：Microsoft Windows10、8、7に対応。

外形寸法	ディスプレイユニット：97(幅)×53(高さ)×14(奥行) mm(突起部除く)
	アンテナユニット：84(幅)×21(高さ)×49(奥行) mm(突起部除く)
	ジャンクションユニット：110(幅)×18(高さ)×50(奥行) mm(突起部除く)
	フロントカメラユニット：104(幅)×35(直径) mm(突起部除く) ※取付ブラケット(テープ貼付)装着時50(高さ)mm(窓ガラス25°想定の場合)
	リアカメラユニット：57(幅)×30(直径) mm(突起部除く) ※取付ブラケット(テープ貼付)装着時39(高さ)mm(窓ガラス25°想定の場合)
重量	DMSユニット：51(幅)×68(高さ)×32(奥行)(突起部除く)
	ディスプレイユニット：約133g(接続ケーブル、SDカード含む)
	アンテナユニット：約128g(接続ケーブル含む)
	ジャンクションユニット：約70g
	フロントカメラユニット：約73g(microSDカード含む)
	リアカメラユニット：約30g DMSユニット：約45g

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTMや®などの記号を記載しない場合があります。

別売品：マルチバッテリー(OP-MB4000)	
入力電圧	DC12V(最大6A)
出力電圧	出力端子B：12V(1A)
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
内蔵電池	ニッケル水素電池 12V/4,000mAh
動作温度範囲	0～45℃
外形寸法	144(W)×33(H)×131(D) mm(突起部除く)
本体重量	約950g(内蔵電池含む)

・オープンソースソフトウェア
zlib
本製品はZIPファイルのデコードに「zlib」を使用しています。

・ゾーン30のデータについて
本機で使用している交通規制データは、公益財団法人 日本道路交通情報センター(JARTIC)の交通規制情報を
使用しています。

本機で使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター(JARTIC)の交通規制情報を、株式会社トヨタマップマスターが加工して作成したものを使用しています。

カメラユニット用SDカード対応一覧表

※本機と付属品以外のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

⚠ 注意

容量が大きいmicroSDカードを使用した場合、ファイル数の増加により本機の動作が遅くなることがあります。

記録媒体	microSDHCカード
容量	8～32GB
SDスピードクラス	Class 10以上

※スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

microSD カード容量	F1080P HD R1080P HD 30FPS	F1080P HD R1080P HD 15FPS	F1080P HD R720P 30FPS(初期値)
32GB	約140分	約220分	約160分
16GB(付属品)	約70分	約110分	約80分
8GB	約35分	約55分	約40分

microSD カード容量	F1080P HD R720P 15FPS	F720P R720P 30FPS	F720P R720P 15FPS
32GB	約240分	約180分	約260分
16GB(付属品)	約120分	約90分	約130分
8GB	約60分	約45分	約65分

■ 駐車監視録画時^{※1}

●録画コマ数：1FPS(1コマ/秒)固定

microSD カード容量	F1080P HD R1080P HD	F1080P HD R720P	F720P R720P
32GB	約70時間	約80時間	約90時間
16GB(付属品)	約35時間	約40時間	約45時間
8GB	約17.5時間	約20時間	約22.5時間

※1：録画コマ数による録画時間の変化はありません。

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。

※録画時間は、常時録画/駐車監視録画/イベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録、DMSわき見記録、DMS居眠り記録)/駐車監視イベント記録の全ての録画時間の合計です。お使用の状況、被写体や周囲環境などの要因により録画可能時間は変化します。

2. イベント記録の最大記録ファイル数

microSD カード容量	※ビデオ解像度によるファイル 数の変化はありません。
32GB	64
16GB(付属品)	32
8GB	16

※最大記録ファイル数は、Gセンサー記録/ワンタッチ記録/DMSわき見記録/DMS居眠り記録/駐車監視イベント記録を合わせたファイル数です。